

# JFA news

## サッカーが好きだから 生涯現役

金田喜稔 JFAシニアサッカーアンバサダー

活動紹介

～東京都北区サッカー協会、FC船橋、町田サッカー協会 / 南大谷サッカークラブ

サッカーがある日常

～シニアチームアンケート

12 NO.452  
2021.  
情報号



# ADIDAS LEGENDS PACK

## CONTENTS

### 特集

# サッカーが好きだから 生涯現役

004 **金田喜稔** JFAシニアサッカーアンバサダー

### 活動紹介

東京都北区サッカー協会

FC船橋

町田サッカー協会 / 南大谷サッカークラブ

### 010 サッカーがある日常

～シニアチームアンケート

### 【特別企画】

024 **ブルーノ・ガルシア** フットサル日本代表前監督  
インタビュー

028 **Jエリートリーグ**における選手育成と強化

070 **池田太** なでしこジャパン監督  
インタビュー

### 【日本代表】

066 **アジア最終予選 (Road to Qatar)**

SAMURAI BLUE vs ベトナム代表

SAMURAI BLUE vs オマーン代表

### 068 国際親善試合

なでしこジャパン vs アイスランド女子代表

なでしこジャパン vs オランダ女子代表

### 【連載】

058 **日本全国FAコーチ巡り**

島根県サッカー協会

「人口が少ない県だからこそ、みんなを大事にしたい」

隔月連載 **フットボールにできること**

060 「地域とともに、一人ひとりが輝く社会へ  
～マイナビ仙台レディースのWE ACTION DAY」

061 隔月連載 **サッカー心育論**

中山雅雄

「見えない変化」

062 隔月連載 **日本サッカータイムスリップ**

「天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会の変遷(5)」

064 **いつも心にリスペクト**

大住良之

「リスペクトにあふれた引退会見」

※本誌の記事・写真・図表などの無断転用を禁じます。

表紙・目次および本誌内のクレジットの記載のない写真

©JFA、©JFA/PR、©J.LEAGUE、©WE LEAGUE、©F.LEAGUE、©Walrix

### ◎ JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、  
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

### ◎ JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、  
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、  
人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには  
世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

### ◎ JFAのバリュー

**エンジョイ**◎スポーツの楽しさと喜びを原点とすること  
**プレーヤーズファースト**◎選手にとっての最善を考えること  
**フェア**◎オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと  
**チャレンジ**◎成長への高い志と情熱で挑戦を続けること  
**リスペクト**◎関わりのあるすべてを大切に思うこと

### 【REPORT】

017 コロナ禍における日本代表戦開催

021 FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021～審判の報告

022 FIFAフットサルワールドカップリトアニア2021～審判の報告

### 【大会・試合】

013 JFA 第20回全日本O-50サッカー大会

014 JFA 第9回全日本O-40サッカー大会

026 AFCチャンピオンズリーグ2021

072 2021明治安田生命J1リーグ

073 2021明治安田生命J2リーグ

074 2021明治安田生命J3リーグ

075 第23回日本フットボールリーグ

076 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2021

077 2021ブレナスなでしこリーグ1部

078 2021ブレナスなでしこリーグ2部

079 皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会 開幕

016 日本サッカーミュージアム

032 月刊レポート～JFAリリースインフォメーション&活動報告

036 会議レポート

042 DATA BOX

054 日本サッカー後援会2022年度の会員を募集中

055 蹴球通信

065 サッカーファミリー広場

080 次号予告





dunhill



## [特集] サッカーが好きだから 生涯現役



# もう一度、ピッチへ

働き方改革によって余暇の時間をスポーツに充てたり、

リモートワークなどによる運動不足の解消に運動を始めた人も少なくないだろう。

アフターコロナでのスポーツの需要回復の拡大も予想されている。

日本サッカー協会(JFA)の選手登録数を見ると、2000年にシニアの登録を開始して以降、競技人口は年々増えている。

一度はサッカーから離れても、再び始める人が多いことが分かる。

サッカーは生涯を通して楽しめるものだ。そこには「する」楽しさ、「観る」面白さ、「支える」喜びがある。

今回はシニア年代にスポットを当て、生涯スポーツとしてのサッカーの楽しみ方や続け方について考えてみたい。

今年9月にJFAシニアサッカーアンバサダーに就任した金田喜稔さんにインタビューをするほか、東京都北区サッカー協会、FC船橋、町田市サッカー協会／南大谷サッカークラブの取り組みを紹介。

また、JFA 第20回全日本O-50サッカー大会とJFA 第9回 全日本 O-40 サッカー大会の出場チームの選手たちにアンケートを実施し、サッカーを続ける理由やその魅力について聞いた。

# 金田喜稔

JFAシニアサッカーアンバサダー

Interview



## 今からでももうまくなる 一緒にサッカーを 楽しみましょう

日本サッカー協会（JFA）は今年9月、生涯スポーツとしてのシニアサッカーをさらに普及し、発展させていくことを目的に「JFAシニアサッカーアンバサダー」を新設した。初代アンバサダーに就任した金田喜稔氏にシニアサッカーの楽しみ方や今後の展望について話を聞いた。

○オンライン取材日：2021年11月11日

### サッカーへの情熱 それが活動の原動力

——金田さんが会長を務める  
日本サッカー名蹴会（※）は昨

年、「名蹴会 大人のサッカー  
クリニック」をスタートしました。  
金田 新型コロナウィルス感染  
拡大の影響です。活動が制限さ  
れる中で、まず、サッカーにつな

がる体の使い方やボールの扱い方など室内でできる動きの動画を名蹴会のホームページにアップしました。その後、屋外にあるフットサル場を有効活用しようということ、35歳以上であれば年齢、性別を問わないという形でクリニックを始めました。20〜30人であればピッチ内でも一定の距離を取ることが出来ます。今では全国10カ所ほどに活動範囲が広がっています。オフアームも増えています。学生時代にサッカーをやっていたけれど、仕事や家庭などいろいろな事情でプレーが続けられなくなってしまった人がすごく多い。そういった人たちが、最新のウェアやシューズを身に付けて、サッカーへの情熱を取り戻したい、と。そのモチベーションが活動継続の原動力になっています。

※日本サッカー界ならびに日本のさらなる発展への寄与を目的に2010年9月27日に発足。「国際Aマッチ50試合以上出場」「日本サッカーリーグとJリーグ発足前の海外リーグで合計200試合以上出場」「Jリーグ（J1）と海外1部リーグ（FIFAランキング50位以内の国）で合計400試合以上出場」が会員選出の条件。

——サッカー初心者に参加することもありますが。  
金田 ありますよ。そういった

人たちにもサッカーがうまくなっ  
てほしいと思いますが、基本的に  
は体と頭を同時に使うトレーニング  
に重きを置いています。年齢を  
重ねると、考えるのと同時に動く  
ということが難しくなりますか  
ら。でも、どんな人でも全く運動  
ができないということはありません  
。それに、サッカーやスポーツ  
をやっていた人たちは上達する過  
程を知っていますので、初心者  
が参加しても周りの参加者がバツ  
サポートしてくれます。僕が口出  
しする必要なんてないくらい見事  
に助けてくれます。これは本当に  
素晴らしいことです。

——参加者は、年齢、性別はも  
ちろん、競技レベルやフィジカ  
ルの状態も異なると思いますが、  
指導内容もそれぞれ異なるので  
しょうか。

金田 トレーニングメニューは同  
じで、それぞれ自分のペースで取  
り組んでもらうようにしていま  
す。その中で少しだけ指導を変  
えていく。年配の人や久しぶり  
に体を動かす人にはスピードは  
求めず、正確にプレーすること  
を意識してもらおう。できる人に  
は速さを求めたり、もう少し高  
度な動作や判断を求めたりしま  
すね。ゲームでは、年齢、性別  
などバランスよくチームを構成し

——参加者からはどのような感  
想が寄せられますか。

金田 楽しかった、と。体はも  
ちろん、頭が疲れたという声も多  
いですよ。楽しかったと感じられ  
るのは、できるようになってきた  
ということだと思います。です  
から、1回のイベントとして終わ  
らせるのではなく、3週間に1回  
くらいのペースで、同じ場所  
で継続していくことが大事だと思  
います。続けることで上達し、少  
しハードルの上がったトレーニング  
メニューもできるようになる。自  
信になりますし、どんどん楽し  
くなっていきますよね。また、ク  
リニックが3回、4回と続くうち  
に、食事に行きましよう、となる。  
実際に緊急事態宣言の発令前や  
終了後に何度か参加者の皆さん  
と食事に行きました。そこでは、  
サッカーの話もしますが、昔話や  
趣味などいろいろな話題で盛り上  
がるんです。こういう交流が各地  
で自然発生的にできてくることな  
って、選手時代には考えもしま  
せんでした。

——サッカーを軸にして新たな  
コミュニティが広がっていると。  
金田 その通りです。クリニッ  
クには、開催するサッカー場や

フットサル場の近隣の人たちが集まるので、参加者はまずお互いが近い地域に住んでいると認識します。参加回数を重ねるうちに話をするようになり、連絡先を交換するようになると。日本は自然災害の多い国です。大げさな話かもしれませんが、いざというときに連絡先を交換した人のことを気かけ、連絡をする。それが助け合いになるかもしれない。もしかしたらサッカーから始まったネットワークが地域に役立つのではないかと、昨年から感じるようになりました。

**サッカー界から離れずとどまれる仕組みを**

——金田さんは今年9月にJFAシニアサッカーアンバサダーに就任され、11月にはJFA第9回全日本O-40サッカー大会を観察されました。  
**金田** 全国の代表チームが集まる大会なのでレベルが高く、激しいゲームが展開されていました。試合以外でも素晴らしい光景を目にしました。準決勝の試合後、負けたチームが勝ったチームに「試合中に文句を言い過ぎました、すみませんでした。決勝も頑張ってください」と言っていたんです。負けても勝者に敬意を

払い、たたえる振る舞いができる選手のことをグッドルーザーと言いますが、こういう態度や行動をチームの地元でも続けてもらい、子どもたちの手本になってほしいと思います。

——JFAのシニア選手登録数も増えています。今後ますますシニアサッカーが盛んになっていく中で、シニアサッカーが日本サッカー界にどのような影響を与えると考えますか。

**金田** サッカー界はこれまで裾野を広げる努力をしてきました。広い裾野から中学、高校、大学と競争していったら、トップ・オブ・トップがプロになります。その中のみならず数人が日本代表になる。日本代表を強化していくためには、底辺の裾野を広げて二等辺三角形をどんどん大きくしていく必要があります。でも、同じように大事なことは、広がった裾野を支える人たちがいかにサッカー界から離れず、とどまれる仕組みをつくれるかということ。今は、頂点の部分が鋭角の二等辺三角形だとしても、広がった裾野から出る2辺を直角の方向に向けて台形にするといったことも大事なことですし、これから求められていくことだと思えます。サッカーが続けられれば、JFAが開催する大

会やイベントにも参加したいと思うようになるはずですから、登録者数もさらに増えていくのではないのでしょうか。

——シニアサッカーに携わるようになって新たに覚えてきたものや感じたことはありませんか。

**金田** 新型コロナウイルスだけでなく、いろいろなウイルスに対抗できる体づくりが重要です。人間は、基礎体温が上がれば免疫力も向上すると言われています。基礎体温の大本になるのは筋肉量です。体全体の約7割の筋肉は下半身に集まっていますから、走ったりボールを蹴ったりするサッカーを継続的に行えば、筋肉がつきやすくなります。マスクや消毒も大事ですが、食事や運動で

免疫力を上げることも大切です。そのためにも、サッカーを楽しみたい、うまくなりたいたいという人たちに對して入口を広くし、誰でも参加しやすい環境をつくるのが大切だと思います。やらなきゃいけないという義務感を持つてしまうと長く続けられませんが、やはり楽しんで、一度離れてもまたすぐに戻れる環境がなくてはならないと思います。

——シニアサッカーアンバサダーという立場で、今後どのようなことをやっていきたいと考えていますか。

**金田** JFAは現在、O-40からO-70まで四つのカテゴリーでシニアの全国大会を開催していて、いずれもアマチュアの年代別トップを決める大会です。当然、出場している選手のレベルも高い。ただ、レベルが高いが故に、その選手たちが年齢やカテゴリーが上がってもそのまま全国大会に出続けることになるんです。ですから、それより少し下の競技レベルの人や、シニア世代になって再開した人や初心者も参加できるカテゴリーの全国大会をつくれたらと考えています。

また、日本代表のOB・OGを全国に派遣して指導に当たってもらったり、自身の経験を伝

えたり、一緒に試合をしたりしたいですね、大人を相手に。子どもだけでなく、大人の裾野も広げていきたい。田嶋(幸三)会長は同学年で旧知の仲ですので、こういうことをざっくばらんに話しています。

——最後に、シニア世代の選手や関係者にメッセージをお願いします。

**金田** 今からでもうまくなれる、ということを発信し続けたいと思います。少しでもうまくなって良いプレーがしたい、シュートを決めたい、相手からボールを奪いたい、そういうモチベーションを持ち続けてください。それが結果的にサッカーを楽しむこと、生涯スポーツとして続けられること、免疫力の向上、健康寿命の促進などいろいろなことにつながっていきます。そういう信念を持って、一緒にサッカーを楽しんでいきましょう。



レベルに応じた異なるカテゴリーの全国大会をつくりたいと金田氏は話す。写真はJFA第9回全日本O-40サッカー大会決勝

**<プロフィール>**  
**金田喜稔**JFAシニアアドバイザー  
 1958年、広島県生まれ。中央大学2年時に日本代表に選出。大学卒業後は、日産自動車株式会社サッカー部(横浜F・マリノスの前身)でプレー。日本代表ではペレ、フランツ・ベッケンバウアー、ディエゴ・マラドーナ、ヨハン・クライフなど世界のスタープレーヤーと対戦した経歴を持つ。国際Aマッチ58試合出場。選手引退後は、サッカー教室を開催したり、解説者を務めるなど、サッカーの指導・普及活動にあたる。

# シニア世代はサッカー発展の鍵 カテゴリーを超えて サッカーを楽しめる環境を

東京都北区サッカー協会は、日本サッカー協会（JFA）のグラスルーツ推進・賛同パートナーとして、サッカー競技の普及・発展を通じて区民の心身の健康と明るく豊かな生活の形成を推し進めている。その中でシニア委員会は、生涯スポーツとしてのサッカーを発展させるべくさまざまな事業を展開している。その活動方針や取り組みについて紹介する。

## 北区シニアの在り方は協会の原点にあり

北区サッカー協会は、1961年に区内の実業団チームと教職員チームによる親善試合が始まった



北区シルバーサッカー大会では、北区と新宿区のママさんチームによるエキシビジョンマッチを開催（写真は昨年9月の第10回大会より）

ことを契機に、翌62年に設立された（※）。北区では、サッカーに情熱を持った小学校の教師や実業団プレーヤーが小学生にサッカーを伝え、手弁当でその活動を支えてきた歴史がある。そうした歩みは北区協会に深く根付いており、「大人が子どもたちにサッカーを教えて広め、その活動を支援する。これが北区協会の全ての活動の意義であり、原点“になっっている」と、北区協会シニア委員会の小椋昭一委員長（総務理事）は力説する。シニア世代にとってもそれは同じだ。

67年に区内3校で始まった対抗戦「第1回北区小学校サッカー大会」（現、北区少年少女サッカー大会）も途絶えることなく、今年で55回目の開催を迎えた。北区協会はこの大会を最も手厚く支援すべき事業に位置付けており、働く世代やシニア世代には審判員として大会運営に当たることを義務づけるなど、総力を挙げて運営に当たっている（北区協会は主管）。小椋委員長は「少年少女大会のサポートを通して、シニア世代をはじめ区内全てのサッカー選手に協会の活動意義を共有し、学んでもらっている」と、その意図を説明する。

## 年代・性別問わず楽しめるシニアリーグの独自ルール

こうした北区協会の確固たる信念により、シニア委員会の事業もその世代のプレー環境の整備だけにとどまらない。選手の活動の場を広げながら、年代やカテゴリーを超えて区内サッカーファミリーの活動を支援する役割を果たしている。

※2019年4月1日より一般社団法人東京都北区サッカー協会として活動

シニアのカテゴリーは、シニア委員会が中心となって事業を展開している。プレー環境においては、98年に14チームでリーグ戦をスタートさせて以降、年代に応じてリーグ戦を整備してきた。20代が中心となる社会人リーグでプレーするには体力的に厳しいとし

て、北区協会は男女とも37歳以上をシニアと定め、それぞれの技量や体力に合わせてサッカーを楽しむようリーグ戦を実施している（表1参照）。現在は0-40（マスターリーグ）、0-50（シニアリーグ）、0-60（エンジェルリーグ）の3カテゴリーに計48チーム、約1600人の選手が登録。女性の参加も促しており、0-60では37歳以上の女性も参加可能とし、0-60には男女混合チームの参加も認めている。

原則としてリーグ戦は土日の18〜21時に実施（コロナ禍時は18〜20時）。これは、土日に仕事をしている選手も夜間であれば参加しやすいからだ。ナイター照明の費用負担もあることから、昼間は若い世代にグラウンドを使用してもいい、金銭的な負担をなるべくかけない配慮もしている。しかし、コロナ禍では夜間にグラウンドの使用制限が発生し、時間と場所の確保が難しいことから、通常は総当たりリーグのところを2ブロックに分けて実施するなど大会方式を変えて行っている。

また、独自のルールを設けて選手がよりサッカーを楽しめるよう工夫している点も北区のシニアリーグの特徴だ（表2参照）。一つは、レンタル選手制度。シニア世代では仕事や家庭の事情からその日の試合に出場できない、またはキックオフ時間に間に合わない選手も少なくない。そのため、人数がそろわない場合には他のチームから選手を3人まで補充することが可能。「勝負にこだわる人もいるが、選手にとっては試合でプレーできる喜びの方が大きい」と小椋委員長。全てのチームや選手にとって常に試合ができるための措置であることから、どのチームも柔軟に対応している。

二つ目は選手交代制で、後半の30分を連続してプレーで

### ■表1 シニアの各種大会

#### ●シニアリーグ

- ・マスターリーグ（0-40）：  
37歳以上の選手/  
15チーム、2部制、試合時間60分
- ・シニアリーグ（0-50）：  
47歳以上の選手/  
25チーム、2部制、試合時間60分
- ・エンジェルリーグ（0-60）：  
57歳以上の選手、37歳以上の女子選手/  
8チーム、試合時間60分
- ・ブラチナリーグ（0-65）：  
65歳以上の選手、37歳以上の女子選手/  
4チーム（準公式）

#### ●その他の主な大会

- ・北区シルバーサッカー大会  
（北区役所主催）：  
関東近県チームを招待
- ・地域交流シニアサッカー大会  
（北区体育協会主催）：  
北区の隣接区チームを招待



■表2 シニアリーグの特徴とローカルルール

(1) レンタル選手制度

自チーム登録選手とは別に同じリーグに参加する他チームから最大3名まで選手を借りて試合に出場することができる。

(2) 選手再交代制の採用

選手交代の数は制限しない。なおかつ、交代した競技者が同一試合に再び出場することができる。

(3) スライディングタックル禁止

選手の安全を確保する観点からスライディングタックルは禁止。

きない選手もいるために設けられた。一度交代してベンチに引き上げても、休憩してまた試合に出場できる。体力の低下を理由に競技から離れてしまうことなく、生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでもらうためにつくったルールだ。そして三つ目は、選手の安全を守るためにスライディングタックルを禁止していること。現在はGKの安全を守るため、GKへの接触に関する新規ルールもシニア委員会で検討中だという。

さらに今年度は、65歳以上（いわゆる正規年金受給資格の高齢者）のプラチナリーグも新設した。まだ試験的な運用ではあるが、小椋委員長は「40、50代は競技性を求める人が多いが、60歳を超えると、生涯スポーツとして長くサッカーを楽しむみたいという志向に変

わってくる。そうした人たちが実力差によるストレスや接触プレーなどへの不安を感じることなく楽しめるリーグにしたい」と話す。実際に、エンジェルリーグに所属する複数の選手からもそれを要望する声が上がっていた。65歳以上のシニアチーム、37歳以上のママさんチーム、男女混合チームの計4チームでスタートしたところ、反響は大きい。「65歳に達してない人にも『参加したい』と思ってもらうことができている。ゆくゆくは公式リーグになるだろうが、試合時間やルールなどを試行錯誤の上で一番良い方法を選びたい。ママさんたちにもどんどん入ってきてもらい、エンジョイレベルだったらやつてもいいかなと参加してくれる人も増えてくれたら」と、小椋委員長は期待する。

他カテゴリーとの交流  
広がるシニアの活躍の場

シニア委員会は、シニアリーグのほかにも女性が活動できる場を広げている。例えば、北区主催の「北区シルバースタッカー大会」では、女性審判員を養成する場として女性審判員も笛を吹く。また、シニアの試合の合間に時間をつくり、新宿区サッカー協会と連携して北区と新宿区のママさんチームによるエキシビションマツ



毎週水曜日の午後には赤羽水曜会として60歳以上のシニアと女子選手の交流が進んでいる

チを実施している。シニアの選手にとっても女性の活躍が刺激になっている。今年9月25日には、コロナ禍でプレー機会が減っていた関東フットサルリーグ所属のフットサル女子選手から「屋外で11人制のサッカーをやってみよう」という声がシニア委員会に届き、これを受けてフットサル女子とシニア世代による交流戦を開催した。参加したのはシニア委員会の呼びかけで集まったシニアリーグの所属選手（最高齢は77歳）とママさんプレーヤー（30代後半〜60代）、そして、その子どもたち、孫たち（15歳男子、20歳女子）。幅広い世代の選

手が集結した交流会は3時間にわたって行われ、充実した時間になったようだ。フットサル女子選手の多くがサッカー経験者だったこともあり、「シニアの選手たちは『女子はこんなにもうまいのか!』と驚きつつ、とても楽しんでた。フットサルの女子選手からも『今度は一緒にフットサルをしましょう』と誘ってもらうなど非常に良い流れになった」と、小椋委員長は顔をほころばせる。

区内のサッカーファミリーの声をシニア委員会が拾って手助けするのは、前述した北区協会の原点に基づくものだ。シニア委員会の副委員長も兼任している山田和範会長は、こうしたシニア世代の活動意義について「子どもたちは自分の祖父やシニア世代の人たち

10月9日には、女子中学生とシニア世代の交流戦も開催した。これもコロナ禍の影響で校庭が使用できず、練習や試合もできないという話をチーム代表者から聞き、実施にこぎつけた。こうした活動以外にも、ママさんチームの試合機会を創出したり、近隣の新宿区などと連携してシニアの交流を図ったり、知的障害者サッカー教室への参加をシニア選手やママさんに呼びかけるなど、幅広く事業を展開している。

と一緒にサッカーをプレーしたり、活動を支援してもらう中で、サッカーは生涯を通してずっと楽しめるスポーツなんだと認識できる。それは大きい」と話す。シニアリーグの選手登録数は増え続けており、シニアが活動できる場、活躍できる場もたくさんある。例えば、現在、教員（特に小学校、中学校）の働き方改革が進められているが、シニア世代には指導者や審判員としての経験が豊富な人もおり、そうした人材を派遣できれば社会問題の解決やサッカーの普及にも貢献することができるだろう。「各カテゴリーの声を拾い、各委員会と情報共有し、連携を強化しながら、シニアだからこそできる活動支援を今後も継続していきたい」と小椋委員長は力を込める。



今年9月にはフットサル女子選手との交流会を開催。幅広い世代の選手が集まり、サッカーを楽しみながら親睦を深めた

活動紹介 FC船橋

# 年齢を重ねても 本気でサッカーと 向き合う

11月に開催されたJFA第9回全日本O-40サッカー大会で初優勝を成し遂げたFC船橋。現在のO-50チームの選手が立ち上げたシニア部では、後輩たちにも真剣にサッカーに取り組み姿勢が受け継がれている。FC船橋40で代表を務める永木勤さんと、副キャプテンで、来季から代表に就く石原泰彦さんに話を聞いた。

## それぞれの役割で活躍

千葉県船橋市を拠点に活動しているFC船橋は、2008年に



JFA全日本O-40サッカー大会で初優勝を果たした

O-50とO-55は合わせて50人ほど。主に週末の夜に船橋市内のグラウンドを借り、合同でトレーニングを行っている。O-40の代表を務める永木勤さんは「50代のメンバーの方がエネルギーが豊富で、毎回20人以上が参加しています。40代は15人前後です」と練習の様子を語る。時にはO-40対O-50でトレーニングマッチをすることもあるといふ。

チームに加入するための条件は特に設けていないというが、「与えられた役割をしっかりやってくれる人」(永木さん)であれば歓迎している。代表や監督、キャプテン、副キャプテンに加え、グラウンド確保、保険関係、審判、練習担当など、さまざまな受け持ちがある。コロナ禍の今は検温や健康管理の担当者もいるという。

トレーニングの内容は練習担当が代表やキャプテンと話し合っ決めていく。基礎練習から始まり、試合での課題を修正するメニューや、休み明けは体を動かすために走るのトレーニングをしたり、最後はゲームをしたりと本格的だ。O-40の副キャプテンを務める石原泰彦さんは「以前は日本一になりたいという目標の中、全国までの道のりを模索しながらやってきました」と言うが、現在のそうした努力が全国制覇につながったのは間違いない。



FC船橋の練習風景

## 真剣に向き合い誰もが幸せに

永木さんはシニアサッカーの魅力が「この年齢になっても真剣勝負ができる」と語り、「40代になっても日本一を目指せるものってなかなかないと思うんです。そこを目指し、仲間と喜びを分かち合うというのは続けないとできないことなので、そこが一番の魅力です」と続けた。石原さんは「体を動かしたいという気持ちで参加したチームは千葉県でも屈指の強豪で、入部初年度に千葉県開催の全国大会に出場しました。以降も毎週の練習に参加し、無我夢中でボールを追いかけていたらどんどん結果が付いてきました」と現状に驚きつつ、「学生時代のキャリアは、県大会優勝や日本一とは関係のないところで終わっていましたが、今回の大会では元プロ選手がいるチームや、有名校のOBが中心になって

できたチームと戦って勝つことができ、やりがいを感じました」と充実感を漂わせる。日本一になった後には、愛娘が学校で「パパ自慢」をしてくれたそうで、「いろいろな人にハッピーを届けられているのだとしたら、素敵なことだと思います」と相手を崩した。

永木さん、石原さんとも、全国大会連覇を目標に掲げている。その一方で、50代に突入した後もO-50のチームでサッカーを続け、O-50大会でも日本一を目指したいと語る。トレーニングを共にしている50代のメンバーからは多くの刺激を受けており、「彼らのように長くサッカーをやりたい」という思いが年齢を重ねることに強くなっている。50代になっても節制をし、トレーナーの元に通ってプレーできるコンディショニングの維持に努める先人たちの姿は見習うべきもので、それを後輩たちに伝え、シニアサッカーの文化を継承していくのも自分たちの役目だと考えているようだ。



「尊敬する先輩たち」(石原さん)であるO-50チームも全国大会で躍動した

活動紹介 町田サッカー協会／南大谷サッカークラブ

# 気心の知れた仲間たちと 気兼ねなく サッカーを楽しむ

東京都町田市では、子どもの頃にプレーしていたクラブの仲間たちが出身クラブを中心に再集結してシニアサッカーを始める例が多いという。町田サッカー協会理事長を務め、自身も地元シニアチームの南大谷サッカークラブでプレーしていた岸本直也さんに話を聞いた。

## 少年チームからシニアへ

「少年サッカーのまち」として知られる東京都町田市。小学校教諭が中心となって小学生にサッカーを教え、やがて町田市の小学生選抜チーム「FC町田」が結成されると全日本少年サッカー大会（現、JFA 全日本U-12サッカー選手権大会）で優勝するなど、町田サッカーは成長を遂げていった。J2のFC町田ゼルビアもこのFC町田のトップチームを前身とするチームだ。現在はシニアでも、FC町田としてO-40、O-50、O-60で選抜チームを結成し、東京都リーグなどに参加している。



町田ではシニアリーグのほか、MFAカップも実施  
(写真は12月12日MFAカップ決勝の様子)

町田ではシニアリーグのほか、MFAカップも実施（写真は12月12日MFAカップ決勝の様子）



町田協会理事長を務める傍ら、南大谷キャッツで小学生を指導する岸本さん

「ケースが多い」と、町田協会理事長を務める岸本直也さんは話す。

「8チームによるO-50リーグ、トーナメント戦の「MFAカップ」を開催。2022年からは新たにO-60のリーグ戦もスタートする予定だ。「町田では子どもの頃に共にサッカーをしていた人たちが、大人になってまた一緒にサッカーを

するケースが多い」と、町田協会理事長を務める岸本直也さんは話す。

岸本さんが現在、小学生を指導する南大谷キャッツサッカークラブもその一つ。南大谷キャッツは現在、小学生チームと社会人チームがあるが、そこから派生した南大谷サッカークラブはO-40リーグに参加するシニアチームだ。「サッカーをやったことがないお父さんたちが息子とボールを蹴るために『育成会』を発足してサッカーを始め、それがシニア部となり、やがてクラブとして活動するようになったんです」と岸本さんは説明する。

町田では他のクラブも同様に、育成会から社会人チーム、シニアチームへ発展することが多い。

### 受け継がれる伝統と絆

一方、多くのクラブには、OBが出身クラブに関わり続けるという伝統もある。そのため、小学生チームの半分近くの指導者はOBコーチだ。南大谷キャッツでも大学生になったOBが小学生を指導するという伝統が代々受け継がれている。

そんなOBたちも年齢を重ねて40代に差し掛かると、シニアチームでプレーするようになる。初心者のお父さん選手ばかりだったところに南大谷キャッツで育ったOBが続々と加わり、チームの在り方も徐々に変わっていった。サッカーのレベルが上がると試合の出場機会も減ってしまいそうだが「創設期のメンバーは『南大谷サッカークラブらしくなると、息子たちも将来入るんだろうな』と、OBたちが入ってくるのをすごく喜んでくれたんです。それがとてもうれしかった」と、岸本さんは変革期を振り返る。小学生チームの試合の審判を買って出たり、練習に顔を出したりとクラブに深く関わり活動をサポートするメンバーは多い。

O-40のリーグ戦に参加する14



南大谷サッカークラブは今年、MFAカップ決勝へ進出。惜しくも準優勝となった

チームの多くも、南大谷のようにOBを中心に編成されたチームだという。「皆さんは子どもの頃から町田で対戦してきたチーム同士なので顔見知りで仲間意識も強い。自分たちもサッカーを楽しみながら、OBとして後進の育成にも協力してくれている。協会としてもシニアは大きな支え」と岸本さん。シニアサッカーは「町田にとつての財産」と言う。

南大谷サッカークラブは今年、創立45周年を迎えた。O-40チームに所属する選手の年齢も上がってきている。「50周年を迎える頃にはO-50のチームも編成できると思います。みんなが戻ってくる場所として活動し続けたいですね」（岸本さん）。町田市は「少年サッカーのまち」として、さらには「生涯スポーツとしてサッカーを楽しむまち」として進化しつつある。

# サッカーがある日常

JFA 第9回全日本O-40サッカー大会  
JFA 第20回全日本O-50サッカー大会

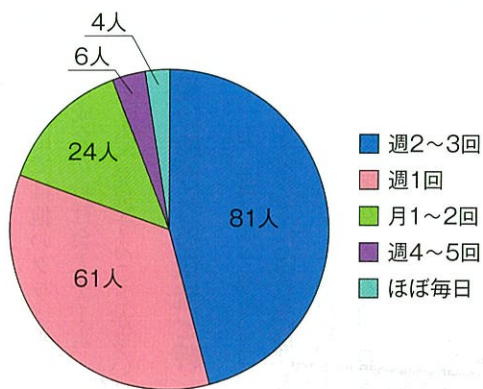
## 参加チームアンケート

11月に開催された「JFA 第9回全日本O-40サッカー大会」  
「JFA 第20回全日本O-50サッカー大会」に参加した  
各チームの皆さんにアンケートを実施し、  
これまでのサッカー歴やサッカーへの思いなどについて聞きました。

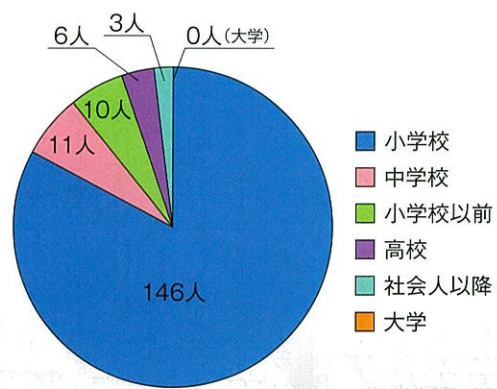
有効回答数：176人



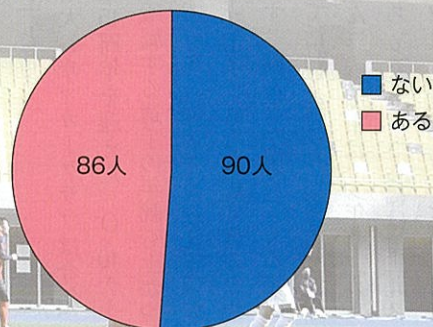
**Q2** どのくらいの頻度でボールを蹴っていますか？



**Q1** サッカーを始めた年代は？



**Q3-1** サッカーから離れた時期はありますか？



## Q 3-2 サッカーから離れた理由と復歸した経緯を教えてください

- ・大学受験のため (57 歳 / 栃木教員マスターズ)
- ・転校した中学校にサッカー部がなかった (56 歳 / 広島フォーティーズ)
- ・離れたのは子どもたちの指導をメインにしたから。復歸したのはもともとプレーする方が好きだったから (55 歳 / 栃木教員マスターズ)
- ・学校を卒業して離れて、個人参加の集まりから復歸 (53 歳 / 四十雀クラブ東京 50)
- ・高校時代、足首の大けががきっかけで 10 年ほど離れる。会社の昼休みに遊び程度で再び蹴り始め、現在に至る (53 歳 / ニコルス FC シニア)
- ・引越して機会がなかった。復歸は友人に誘われて (53 歳 / 広島フォーティーズ)
- ・結婚・育児サポートで一時離れ、子どもがサッカーを始めた時期に復歸 (53 歳 / ニコルス FC シニア)
- ・高校時代で燃え尽きたため引退したが、39 歳の時に高校時代の同級生が「もう一度やろう」と声をかけてくれて復歸を決意 (52 歳 / 富一ふじの会)
- ・けがと体力低下により引退した。シニアの 카테고리を知り、年齢に合ったサッカーができる環境に出会えた (52 歳 / FC 船橋)
- ・30 ~ 39 歳の時期に結婚と体力の衰え、目標がないことから社会人チームを離れた。子どものサッカーをきっかけに、シニアサッカーに参加 (52 歳 / 富一ふじの会)
- ・転勤でサッカーから離れたが、ロシアワールドカップを観てもう一度始めた。最初は楽しいサッカーをするつもりだったが、ガチサッカーチームに入って一瞬後悔。今はチームの意識の高さに誇りを持っている (51 歳 / FC 船橋)



- ・仕事が忙しかったため (51 歳 / 広島フォーティーズ)
- ・高校を卒業し、地元には社会人チームがなかった。その後、またサッカーがやりたくなり、仲間たちとチームを結成した (50 歳 / FC 船橋)
- ・もう一度自分を鍛えるため (50 歳 / 藤枝フットボールクラブ)
- ・シニアになってから誘われたため (49 歳 / 四十雀クラブ東京 50)
- ・けがの治療と転勤で離れた。大学時代の友人がサッカーを続けているのを聞いて戻りたいと思った (49 歳 / 藤枝フットボールクラブ)
- ・チームを立ち上げるので手伝ってくれと誘われたため (47 歳 / 藤枝フットボールクラブ)
- ・大学を卒業したらやめようと思ってやめたが、サッカーがしたくなり復歸した (46 歳 / FC 船橋)
- ・32 歳で引退したがシニア 40 の大会で楽しもうと誘われたため (45 歳 / TONAN CLUB)
- ・仕事が多忙になりフェードアウト。仕事が落ちついたくらいにタイミングよく誘われて復歸 (44 歳 / レアル東京 40)
- ・Jリーグユースに所属していたが、プロ契約が叶わず気持ちが切れてしまった。また、サッカー以外の世界も見たいと思い、大学ではサッカーをやらなかった。復歸した経緯はユース時代の先輩からの誘いが大きい (41 歳 / レアル東京 40)
- ・フットサルへ移行した (40 歳 / FC 船橋)

## Q4 サッカー活動における今後の目標を教えてください

- ・70 歳までボールを蹴っていたい! (59 歳 / FC 船橋)
- ・60 代で全国大会出場する (57 歳 / 藤枝フットボールクラブ)
- ・なるべく長く楽しくプレーを続けること (54 歳 / FC 船橋)
- ・日本サッカーの発展は日本代表チームの成長にある。アンダーカテゴリーの代表はあるが、シニア世代での代表チームがない。年齢に関係なく、夢を持てるように、シニア世代の代表活動を進めていただきたい。その代表招集を目標に励みたい (53 歳 / 栃木教員マスターズ)
- ・ファイナリスト! (日本一) ファイナリストって…どんな気持ちなんだろうかね? ブロンズコレクターの私には想像できません。日本一になるまで、100 歳になっても頑張りたい (53 歳 / ニコルス FC シニア)
- ・生涯現役 (52 歳 / Docon Jack 50)
- ・サッカーを日本の文化に (52 歳 / 四十雀クラブ東京 50)
- ・サッカーを通して体力の向上を図り、トライアスロンに挑戦したい (51 歳 / FC 船橋)
- ・目の前の全国大会を制すること。サッカーをやめた子が、もう一度サッカーをできる環境をつくりたい (51 歳 / 広島フォーティーズ)
- ・全国大会優勝目指して頑張ります! (50 歳 / 富一ふじの会)
- ・やれるところまでやり続けたい (49 歳 / 大分 OB)
- ・全国大会のピッチで活躍したい。生涯プレーヤーとして楽しみ続けたい (48 歳 / 兵庫サッカークラブ)
- ・サッカーをできる環境を整える (45 歳 / FC 船橋)
- ・日本一のサッカーおじさん (44 歳 / 広島フォーティーズ)
- ・全国大会 2 連覇。いまだに 40 の大会で連覇したチームは存在しないので、実現したい (43 歳 / FC 船橋)
- ・日本一。人間的成長 (43 歳 / FC 船橋)
- ・サッカーでお世話になった。恩返しのため何かしらサッカーでお返しができたら良いです (42 歳 / 藤枝フットボールクラブ)
- ・子どものコーチもしているので、1 人でも多くの子どもの楽しさを伝えたい (年齢不明 / ニコルス FC シニア)

## Q5 サッカーを続ける理由、サッカーの魅力を教えてください

・試合を通してボールを蹴ることが楽しい。また、そこには年齢や職業、地位にこだわらない仲間との楽しいコミュニケーションがある (59歳/栃木教員マスターズ)

- ・自分はFWなので点を入れた時の快感を得たいため!それと仲間と楽しい時間が過ごせるため!知り合えない人と知り合えるため! (59歳/FC船橋)
- ・仲間と共にできる喜びと思い通りにできたときのちょっとした感動 (59歳/栃木教員マスターズ)
- ・ゴールする喜びを味わえる (58歳/栃木教員マスターズ)
- ・一緒に頑張れる仲間がいるから続けている。信頼できる仲間とサッカーをしていると、仕事での嫌なことやきついことを忘れさせてくれる (56歳/福岡とびうめシニアサッカークラブ)
- ・どんなスポーツより楽しく、続けることにより健康維持やストレス解消ができる (55歳/藤枝フットボールクラブ)
- ・単純に楽しい、負けて悔しい、勝ってうれしい(54歳/富一ふじの会)

・ただ面白い!奥も深い。結局は大好き! (54歳/広島フォーティーズ)

・理由、理屈などない。サッカーから生きてく上での全てが学べる (54歳/羅針盤倶楽部 NAGOYA)

- ・仲間と健康 (53歳/ニコルスFCシニア)
- ・子どもたちのサッカーに携わり、育成の魅力を感じた。また年齢にかかわらず成長できることを感じている (53歳/栃木教員マスターズ)
- ・サッカーは奥が深く、また、常に進化しており、学ぶことがたくさんある。連係からゴールが決まった時、勝利した時の感動は、何ものにも代えがたい (52歳/福岡とびうめシニアサッカークラブ)

・結局サッカーが一番好きなんですね。喜怒哀楽を仲間と分かち合えるところが魅力 (52歳/富一ふじの会)

- ・生活の一部、ダイエットなど (52歳/Docon Jack 50)

・全てを忘れて、没頭できるスポーツ (52歳/ニコルスFCシニア)

- ・サッカーが好き、ストレス発散。体力維持! (52歳/富一ふじの会)
- ・純粋にサッカーが好きだということ、いくつになっても年代別のカテゴリーで全国大会があり、競技志向のサッカーを続けられることに魅力を感じる (51歳/FC船橋)
- ・昔からの仲間と楽しくサッカーできて楽しい(50歳/富一ふじの会)
- ・やめるきっかけもなく、みんなとボールを蹴ることが魅力 (50歳/ニコルスFCシニア)



- ・今は学生のときみたいに勝ちにこだわらず仲間と楽しくできるのがいい (50歳/富一ふじの会)
- ・自分の限界に挑戦できる!生きるエナジー!仲間と同じ目標に向かって努力していけること! (49歳/藤枝フットボールクラブ)
- ・もはや日常生活の一環となっていてやめる理由がない。一番の魅力はチームメイトとの苦楽の共有 (48歳/兵庫サッカークラブ)
- ・サッカーが好きだから (47歳/FC.西武台)

・ゴールの歓喜がたまらない。チームメイトが好き (45歳/TONAN CLUB)

- ・40歳を過ぎて本気で喜んだり悔しがったりすることは希少で、同じ情熱を持った仲間と目標を共有できることもモチベーションになっている (45歳/リアル東京40)
- ・年を取ってもサッカーはうまくなる。体力は落ちるが、技術力、戦術力など、まだまだ成長できる (42歳/藤枝フットボールクラブ)

・ボールを蹴らないとムズムズするから (42歳/焼肉ここからFC)

・仲間との絆 (40歳/藤枝フットボールクラブ)

- ・サッカーより奥が深いものに出合ったことがないから (40歳/オッサンドーレ札幌40)



0-40と0-50の両大会を視察した金田喜稔JFAシニアアンバサダー(右/JFA競技会委員会の宗政潤一郎シニア大会部会長と)。シニア大会部会とアンバサダーで連携してシニアサッカーの普及と発展に取り組んでいく

## JFA 第20回全日本O-50サッカー大会



### 【大会概要】

11月27日から29日、栃木県宇都宮市で開催。各地域から選出された16チームが4グループに分かれてリーグ戦を行い、各グループ1位チームが決勝ラウンドに進出。4チームによるノックアウト方式で優勝以下3位まで決定する。

## 四十雀クラブ東京50が 無失点で初の栄冠

グループAのニコルスFCシニア(関西1/大阪府)は、地元開催での勝利に燃える栃木教員マスターズ(開催地/栃木県)に2-3で敗れたが、2試合連続で1-0と粘り強く白星を重ね、最下位からの逆転で準決勝進出を果たした。

グループCでもKUMAMOTO肥後シニア(九州2/熊本県)が、2試合連続ドローの後、最終節では首位に立っていた藤枝フットボールクラブ(東海1/静岡県)と対戦し、土壇場での勝利で勝点2差をひっくり返し、首位で通過した。

同じ2引き分けからの決勝ラウンド進出を狙ったのが、グループDのFC船橋50(関東2/千葉県)だ。“兄弟チーム”のO-40チームは、11月上旬の全日本O-40サッカー大会で同じ状況から逆転し、さらには頂点へと突き進んだ。また、その大会で船橋との直接対決で敗れたのが、兵庫サッカークラブ(関西2/兵庫)の40代チームだった。O-50大会では、そこにアルフト安曇野シニア(北信越1/長野)も加わる三つ巴の争いとなり、3チームが最終節を終えて、勝点、得失点差でも並ぶ大接戦。最後は「総得点1差」で兵庫が準決勝に進んだ。

唯一、全勝で準決勝に進出したのは、グループBの四十雀クラブ東京50(関東1/東京都)で、3戦無失点という安定ぶりを見

せていた。

最終日に入ると、選手層の重要性も浮き彫りになる。準決勝、四十雀東京はニコルスから開始5分で先制。これが決勝点となった。効果的な選手交代によって動きにフレッシュさがあった四十雀東京に軍配が上がった。もう一方の準決勝は兵庫が同じく前半の1点を守り、決勝戦に駒を進めた。

四十雀東京と兵庫による決勝でも選手層がものを言った。四十雀東京で後半から1トップに入った白根基裕は、ドリブル突破からPKを獲得。一度は弾かれたPKを箭内良仲が押し込み、これが決勝点となった。キャプテンの箭内は「前回出場時を反省に、1年かけて2チーム制での戦い方をしっかりつくってきた」と話した。若手が先発してベテランが交代出場という策が実り、PKを奪取した白根も「狙い通り」と笑顔。東京都予選から無失点を貫いての初の栄冠をつかんだ。



兵庫サッカークラブはKUMAMOTO肥後シニアとの準決勝を1-0で制し、第12回大会以来の決勝進出を決めた



初戦を落としたニコルスFCシニアだったが、大逆転でグループステージを突破した



開催地代表として大会初出場を果たした栃木教員マスターズ。初戦で大会初勝利を掴んだ



第18回大会の優勝チーム・福岡とびうめシニアサッカークラブは健闘するもグループ2位で大会を後にした

## JFA 第9回全日本O-40サッカー大会



### 【大会概要】

11月6日から8日、藤枝総合運動公園サッカー場ほかで開催。各地域から選出された16チームが4グループに分かれてリーグ戦を行い、各グループ1位チームが決勝ラウンドに進出。4チームによるノックアウト方式で優勝以下3位まで決定する。

## FC船橋が初の全国優勝!

例年、1次ラウンドから厳しい競争が続いているが、今大会も全グループで最後まで首位チームが決まらない混戦となった。

開幕前から厳しい組み合わせの一つと見られていたのが、前回大会3位のFC.西武台（関東1/埼玉）、優勝経験もあり安定した強さを誇る羅針盤倶楽部NAGOYA（東海/愛知）、常連のアルフト安曇野シニア（北信越/長野）がそろったグループDだ。予想通りの激戦となったが、ここで台風の目となったのが大分OB（九州2/大分）だった。2連敗しつつも実力の高さをうかがわせたチームは、最終節で安曇野に4-1と大勝。その結果、羅針盤倶楽部が首位通過を果たした。

グループBも、最後まで気の抜けない展開となった。昨年は連覇を逃すも、優勝した2019年大会と2大会連続で決勝に進出している兵庫サッカークラブ（関西2/兵庫）が最終節を前に2位に勝点2差をつけていたが、FC船橋（関東3/千葉）に0-2で敗戦。激戦の関東地区を勝ち抜いてきた底力を見せたFC船橋が、逆転で準決勝へ進んだ。

同じく関東代表のレアル東京40（関東2/東京）も初の全国大会で2連勝。グループA突破を懸けて藤枝フットボールクラブ（開催地/静岡）との全勝同士の直接対決に臨んだ。互いに点を奪うも決勝点は生まれず、得失点差で上回った藤枝が4強入りを果たした。

グループCは1節ごとに首位が入れ替わる混戦となった。緊張の最終節で大きな役割を果たしたのが、連敗してグループで唯

一敗退が決まっていたオッサンドーレ札幌40（北海道）だ。首位に立っていた出雲パーパス（中国2/島根）を3-0で下す。一方、出雲と勝点で並ぶTONAN CLUB（関西1/奈良）が徳島SFC（四国2/徳島）に勝利を収め、出雲を抜いてグループ首位突破を果たした。

準決勝も厳しい展開となったが、FC船橋と羅針盤倶楽部がそれぞれ決勝へと進んだ。

決勝も接戦となる。羅針盤倶楽部がスピードのある2トップの抜け出しで好機をつくと、FC船橋も後半の選手交代で逆襲を図る。互いに流れをつかもうと奮闘するも、試合はスコアレスのまま90分を終え、決着はPK戦に委ねられた。

最後に笑ったのはFC船橋だった。今大会では、2連続ドローから逆転でグループ突破を果たし、頂点へとたどり着いた。加瀬剛選手は「関東予選でも初戦から2連続で引き分けた後は負けなかった。今回も粘り強いサッカーができた。FC船橋らしい大会だった」と初の全国制覇の喜びをかみ締めた。



5大会ぶりの優勝を目指した羅針盤倶楽部NAGOYAだったが、決勝ではFC船橋の守備を崩すことができなかった



大会初日は各グループ1試合ずつが行われ、1戦目から激しい攻防が繰り広げられた（写真は広島フォートイース対兵庫サッカークラブ）



開催地代表の藤枝フットボールクラブは2大会ぶりのベスト4に進出した



大混戦となった1次ラウンド。前回大会ベスト4のFC.西武台も1勝2敗で敗退が決まった



**molten**  
For the real game

**AFC ASIAN QUALIFIERS™**  
ROAD TO QATAR

OFFICIAL MATCH BALL SUPPLIER

# Run over it. Thru Asia.



# 日本サッカーミュージアム 17+

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15)  
Tel: 050-2018-1990

- 営業時間 火～金曜日 12:00～17:00(最終入場16:30)  
土・日・祝日 10:00～17:00(最終入場16:30)  
特別営業期間 10:00～17:00(最終入場16:30)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)  
年2回のメンテナンス期間
- 入場料 一般大人: 550円、小中学生: 300円、幼児: 無料  
団体(20名様以上)・障がい者の方:  
大人450円、小中学生200円  
※割引については、入場ゲートスタッフまでお問い合わせください。
- URL [https://www.jfa.jp/football\\_museum/](https://www.jfa.jp/football_museum/)

※臨時休館をしている場合もございますので、JFA公式サイトで最新の開館情報をご確認の上ご来館ください。



## ミュージアム収蔵物紹介～サッカーと漫画

日本サッカーミュージアムにはサッカー漫画に関する展示品や収蔵物が数多くある。

ミュージアムに訪れた著名人のサインが刻まれているサインウォールには、『キャプテン翼』の作者である高橋陽一氏や、『ホイッスル!』の作者、樋口大輔氏のサインが掲示されているほか、TBS「SUPER SOCCER」のショーケースには、弱小プロサッカークラブの監督を主人公にした『GIANT KILLING』(作者:ツジトモ/綱本将也)、女子サッカーをテーマとした『さよなら私のクラマー』(作者:新川直司)の書き下ろしイラストなども展示されている。

こうしたサッカー漫画は日本サッカー協会(JFA)主催の全国大会や全国リーグのメインビジュアルにも起用され、ミュージアムには、それらが描かれたポスターやチラシ、大会公式プログラムなどが多数、収蔵されている。

2012年の全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会では、『キャプテン翼』の高橋氏が女子サッカーの応援キャラクターとして書き下ろしたサッカー少女「楓(かえで)」がメインビジュアルに登場し、話題となった。

2015～2017年の天皇杯全日本サッカー選手権大会のメインビジュアルに描かれたのは、『GIANT KILLING』のイラスト。天皇杯の醍醐味の一つでもあるジャイアントキリングと漫画のコンセプトが合致した。

2017年の高円宮杯U-18チャンピオンシップに初登場し、毎年、高円宮杯U-18プレミアリーグを盛り上げてきたのは、ユース年代を題材にしたサッカー漫画『アオアシ』(作者:小林有吾)のキャラクターたち。躍動感あるイラストが大会の盛り上げに一役買っている。

近年のものが多く挙げられるが、ほかにもさまざまな漫画やイラストが日本サッカーを彩ってきた。

歴史をさかのぼると、1936年のベルリンオリンピック時に

は日本代表の活動資金を拠出するため、大日本蹴球協会(現、JFA)は、初のオフィシャルグッズとなるイラスト入りの「手ぬぐい」を制作して販売。作画は時事漫画家の堤寒三氏によるもので、この「手ぬぐい」もミュージアムに展示されている。



1936年ベルリンオリンピック出場の際に制作、販売した「手ぬぐい」

## SAMURAI BLUE、なでしこジャパンのサイン入りユニフォームなどを展示

日本サッカーミュージアム1階エントランスでは現在、11月に行われたSAMURAI BLUE(日本代表)のFIFAワールドカップカタール2022アジア最終予選(Road to Qatar)となでしこジャパン(日本女子代表)の国際親善試合でのサイン入りユニフォームなどを展示している。

※展示終了日は未定。予告なく展示物が変更になる場合あり。



## 年末年始の開館について

日本サッカーミュージアムは、年末の営業を12月27日(月)の臨時開館を含む12月28日(火)までとし、12月29日(水)から2022年1月1日(土祝)までの4日間は休館します。新年は1月2日(日)10時より開館し、1月10日(月祝)まで無休で営業します。

休館期間: 2021年12月29日(水)～2022年1月1日(土祝)

※12月27日(月)、1月3日(月)は12:00-17:00(最終入場は16:30)で臨時開館

## 日本サッカーミュージアムを支援いただいている企業(五十音順) ※2021年12月1日現在

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ  
アスカ美装株式会社  
キリンビール株式会社  
キリンパレージ株式会社  
KDDI株式会社  
広友物産株式会社  
J-GREEN堺・DREAM CAMP

株式会社Jリーグ  
株式会社ジエブ  
株式会社シミズアウト  
株式会社スケール  
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社  
株式会社テレビ東京  
株式会社電通

株式会社電通ライブ  
西鉄旅行株式会社  
株式会社野村総合研究所  
びあ株式会社  
株式会社ビッグ・バーン  
ホテル東京ガーデンパレス  
マッシュコーポレーション株式会社

株式会社マッス  
株式会社ムラヤマ  
株式会社モルテン  
ヤマザキビスケット株式会社  
株式会社ユース・プランニングセンター

# コロナ禍における日本代表戦開催

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、FIFAワールドカップ予選をはじめ、国内での開催を予定していた多くの国際試合が中止延期となったが、今年は、東京オリンピックを含めて数々の国際試合が行われた。

コロナ禍の中でどのように準備運営したのか。日本サッカー協会（JFA）競技運営部の平井徹部長に話を聞いた。

オンライン取材日：2021年11月18日

関係者と何度も協議を重ね、ルールをつくっていった

「JFAは今年1月、日本代表戦運営スタッフ向けに「新型コロナウイルスの影響下における日本代表戦運営ガイドライン」を作成しました。」

平井 昨年はFIFAワールドカップアジア予選や国内での国際親善試合が全て延期、もしくは中止となりました。しかし、再開される日は必ず来ますから、そのための準備としてガイドラインを作成することにし、国際サッカー連盟（FIFA）や欧州サッカー連盟（UEFA）のほか、イングランドやドイツのサッカー協会からガイドラインを取り寄せ、それを参考にしつつJFA独自のものを作りました。

「ガイドラインを作成される中で重要視したのはどのようなことですか。」

平井 来場者、関係者の感染症対策に加え、チームとそれ以外の人の動線をどのように分けるかということです。コロナ禍における国内での国際親善試合をまだ経験していない段階でしたので、分からないことだらけでした。〇〇スタ

JFAで担いました。そこは両協会間の信頼関係です。

「モンゴル戦の準備を進める中で、先行して25日に行われる予定だったミャンマー戦が延期になり、代わって韓国との国際親善試合が組まれました。1年4カ月ぶりの国内での国際親善試合となりましたが、当時は2度目の緊急事態宣言下であり、一刻と状況が変わっていく中でどのように準備を進めたのでしょうか。」

平井 昨年11月にアジアサッカー連盟（AFC）から2次予選を2021年6月までに終えるようにという通達がありました。これを受けて今年1月初旬にスポーツ庁にその旨を伝え、3月のミャンマー戦とモンゴル戦、同じく3月に行われるU-24日本代表の2試合、4月のでしこジャパン（日本女子代表）の2試合の計6試合について開催実現に向けた協議を始めました。ミャンマー代表は結局、国内情勢の悪化で来日できないということで試合は5月に延期になり、その代わりに急ぎ韓国と親善試合を組みましたが、厳しい状況の中でスポーツ庁と協議を重ねながら受け入れのルールなどを定めていきました。

## 安心・安全な環境を 提供できるように 総力戦で臨む

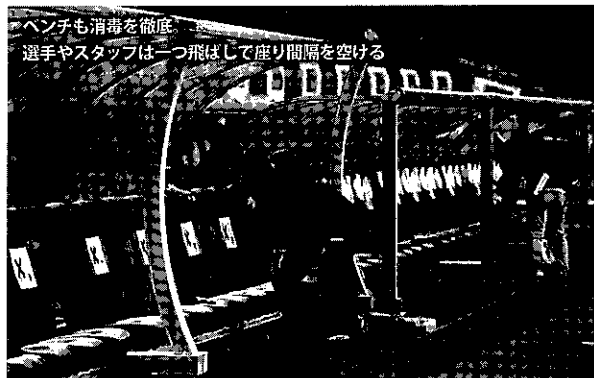


——韓国戦の直前、21日に緊急事態宣言が解かれ、観客動員が1万人まで許可されました。

**平井** 既にJリーグが観客を入れて運営していましたが、来場者への対応はJリーグのプロトコルも参考にしました。さらに、FIFAやAFCからも厳格なプロトコルが出たので、それも加味して準備を進めました。Jリーグと大きく異なるのは、チーム運営です。海外から来日するチームをバブルで包んで入国させて、試合をして、帰国させる。Jリーグの運営にはない部分ですが、スポーツ庁を通じて厚生労働省や内閣官房など関連省庁と調整しながら進めました。来日してすぐに練習、試合となるため、水際対策

を行う日本政府からの厳しい要求もあり、何度も話し合いを重ねながら追加防疫措置のルールをつくって試合開催にこぎ着けました。

——韓国戦後、5月から6月にかけての短期間でサムライブルーは5試合、U-24日本代表とまでして、ジャパンはそれぞれ2試合ずつ、国内での試合が集中しました。サムライブルーが6月3日に対戦する予定だったジャマイカは、一部の欧州クラブ所属選手の出国前の検体採取方法に問題があったとしてチーム全体での来日が遅れました。そのため、試合は中止となり、急きやサムライブルーとU-24日本代表でトレーニングマッチを行うことになりました。



ハンチも消毒を徹底  
選手やスタッフは一つ飛はして座り間隔を空ける

日本代表と試合をしました。

——サムライブルーの6月の試合、アジア2次予選2試合とキリンチャレンジカップ2021は第3回緊急事態宣言下の大阪府、兵庫県での試合となり、残念ながらいずれも無観客となりました。

**平井** われわれをはじめ試合運営に携わる関係者は観客を入れて開催できることを想定、期待しながら準備を進めていきましたが、こればかりはどうにもなりません。政府・自治体の方針と判断に従うしかない。いずれにしても、観客の有無に関係なく試合自体行うことができましたが、昨年から試合を主管してきた都道府県サッカー協会や各種業務に携わる関係者の方々には、準備と延期の繰り返し、有観客から無観客への急な変更などでいろいろご迷惑をおかけしてしまいました。皆さん思うところはあったと思いますが、柔軟に対応してください、感謝の念に堪えません。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

戦は、市立吹田サッカースタジアムでの開催となりました。

**平井** これまで最終予選は埼玉スタジアム2002で戦うことが多かったのですが、東京オリンピック・パラリンピックの影響で9月末までは使用することができませんでした。そこで、チームの希望を受けて市立吹田サッカースタジアム(大阪)で開催することになりました。

——オマーン戦後、「新型コロナウイルスの影響下における日本代表戦運営ガイドライン」の改訂版を作成しました。どの部分を改訂したのでしょうか。

**平井** 東京オリンピックのサッカー競技も、試合を取り仕切るFIFAメンバーをサポートする形でJFAの競技運営部が中心となつて運営しました。オリンピックの運営はわれわれのガイドラインとは少し異なる部分もありました。また、運営してみても、これは過剰だな、ここはもう少し厳しくしなければと思うところもありましたし、AFCからアジア最終予選に向けて事前検査の頻度やゾーニングなどについての指示もあったので、総合的に判断して改訂しました。

玉スタジアムでの開催となり、日本政府が実施するワクチン・検査パッケージの技術実証試験に協力しました。

**平井** スタジアムの形状に合わせてバブル方式における動線分離の対応は変わってきますが、観客向けの感染症対策や密をつくらないオペレーションはどの会場でもほぼ同じです。仰る通りこの試合は、日本政府が実施するワクチン・検査パッケージの技術実証に協力したこともあり、新たな席種として「JFAシート」約5000枚を販売し、観客動員の上限1万人を超えて1万4437人を収容しての開催になりました。一般の入場者とJFAシートの入場者の動線の区別は、日本政府からの指示ではなく、われわれの判断で決めました。一般の来場者とワクチン接種者、PCR検査受検者の入口や観戦場所を分けるのであれば、動線もきっちり分けようという新たな試みでした。

——今回の技術実証の技術的な部分は産業技術総合研究所の協力で進められましたが、JFAはどのような部分で関与したのでしょうか。

**平井** 産総研には、マスクの着用率と騒音発生の有無、CO2濃度の把握の3点を主に調査してもら

**平井** 検体採取方法については、来日するチームに日本入国に必要なやり方を伝えていきます。あとはチームが選手一人一人にそれをきちんと伝えられているかどうか。今回の件では当然、ジャマイカ側のミスということになりますが、われわれももっと詳細に、何度も繰り返し念押ししていればよかったのかもしれない。この件も踏まえて、日本政府はその後、検体の採取方法を変更しました。ジャマイカは数日後に日本政府が求める検体採取方法で検査を受け直して来日し、U-24

——9月にはいよいよアジア最終予選(Road to Qatar)がスタートします。初戦のオマーン

——10月のオーストラリア戦は埼

いました。われわれは、ワクチン・検査証明書の確認についてのオペレーション、一般客とワクチン・検査で入場した観客の動線分けが機能するか、アルコール販売により大声を出す人が出るかどうかなどの確認や、感染者や濃厚接触者発生時の調査への協力といった部分です。試合では毎回アンケートを取っていますが、今回は新たにJFAシートや感染対策の項目も追加しました。安心して観戦できた、政府の技術実証試験に協力する姿勢は評価できるといったポジティブな回答が多く寄せられました。

——技術実証試験を行ったオーストラリア戦後、各方面とどのような話をされたのでしょうか。



ヒッチ上での取材も選手と取材者が十分な距離を取って行う

**平井** 各省市や埼玉県、Jリーグ

やJクラブから多くの人が視察に訪れていましたが、おおむねうまくいっていた、という評価でしょうか。反省点としては、当日は雨が降っていて、ワクチン接種・陰性証明書を取り出すのに手間取ってしまった。また、証明書の確認が済んだ証しとしてお渡しするリストバンドがボタンで留めるタイプだったので、この着用にも少し時間がかかりました。オーストラリア戦の後に行われたJリーグYBCルヴァンカップ決勝ではシールドタイプのリストバンドが採用されるなど、この試合で見た改善点が、その後の試合のスムーズなオペレーションにつながったと思います。

## ルールづくりの全てが オリンピック運営に生きた

——昨年はサムライブルーをはじめ、U-23日本代表、などでジャパンなど多くの代表チームが国内で試合をすることができませんでしたが、今年は数多くの試合が国内で開催されました。特に苦心された点はどこでしょうか。

**平井** ここまで試合運営の話がメインでしたが、チームのバブル運営の方がはるかに大変でした。まずは

入国ルール。各省市と定めたルールの中での検査体制の確立は非常に難しかった。入国した翌日から3日間毎日検査をして陰性確認が取れば試合をしていいという決まりでした。練習をするにも毎朝検体を取って検査し、昼頃に全員の陰性が確認されて午後から、という具合です。

二つ目は、宿泊するホテルのフロア確保。一般の宿泊者とフロアが同じにならないように1フロア丸ごと貸切ります。対戦チームが何人でも来るのかを想定して、貸切るフロア数を見極めていきます。警備員の配置も重要です。チーム関係者が外出しないように、所要所に配置しなければなりません。スポーツ庁との取り決めてエレベーターの専有も義務付けられていましたので、業務用のエレベーターを使用したり、ホテルの従業員の方に案内役として乗っていただいて他の階に停止しないように運用していただいたりと、各ホテルには無理を聞いていただきました。

移動はチャーター機しか認められていませんでしたが、これは日本航空に留意していただきました。あとは、チームに24時間帯同するチームリエゾンオフィサーです。チームリエゾンはチームや選手の世話係ですが、コロナ禍においては、一緒にバブルの中に入ってもらい、陽性者が出てくurasターを起こさない、濃厚接触者を出さない、というの

が大きな役割となりました。ドクターと一緒に検体を取る作業もやってもらいました。従来一人体制だったところを二人、三人に増員しました。また、オリンピックを見越してオリンピックで採用したチームリエゾンを3月以降の代表戦における対戦チームリエゾンとして配置し、バブル運営の事前研修も受けてもらいました。このような対応、ルールづくりの全てがオリンピックの開催やオリンピックでの各競技団体のオペレーションにつながったと思っています。

——1試合開催するための準備や対応、それにかかる労力の大きさがよく分かりました。

**平井** 外部の協力も含め、JFAの総力戦と言っても過言ではありません。現在、競技運営部には20人強のメンバーがいますが、ほぼ全員が関わってきましたし、他の部署からも助っ人に来てもらいました。本当に総力を挙げてこの1年間に行われた各代表戦に対応しました。

——年明けからはアジア最終予選も最終局面に入ります。

**平井** 現在、政府も制限の撤廃に向けて動いています。われわれも100%の観客動員に向けてさら



ホテルの食事会場では全員が手指を消毒した後、テーブル一卓につき一人ずつ、全員が同じ方向を向いて食事する

に感染対策に力を入れていきます。10月のオーストラリア戦では残念ながら大きな声を出してしまったサポーターがいました。故意ではなく代表チームを思うが故の行動ですが、やはりルールは守らなければなりません。安心・安全な環境をファイン・サポーターの皆さまに提供できるように、より一層努めていきます。また、JFA主催の国内競技大会も昨年はそのほとんどが中止になってしまい、今年も中止せざるを得ない大会がいくつかありました。残念な思いをされた方も多かったと思います。満員のスタジアムで代表戦を見るワクワク感と緊張感を多くの皆さんに味わっていただきたいですし、われわれも国内大会を再開できる喜びを感じながら各種大会の運営に当たっていきたく思います。



# JAPAN NATIONAL TEAM

Japan National Team would like to thank its partners for their support.

## SAMURAI BLUE



©JFA / 国際親善試合2021 対韓国代表戦 先発メンバー (2021.3.25)

OFFICIAL PARTNER



# KIRIN

OFFICIAL SUPPLIER



SUPPORTING COMPANIES

# 朝日新聞

# SAISON CARD



# FamilyMart



# au

# MIZUHO

# MS&AD

# TOYO TIRES

## FIFAワールドカップに参加した審判員

FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021 (8月19日～29日) に波多野祐一ビーチサッカー国際審判員が、FIFAフットサルワールドカップリトアニア2021 (9月12日～10月3日) には、小崎知広フットサル国際審判員と松崎康弘FIFAインストラクターが参加した。それぞれに各大会の振り返りや大会で得られた収穫や課題について聞いた。

なお、波多野、小崎両審判員は、11月18日に開催された理事会で、表彰されることが決まった (39ページ参照)。

※取材はいずれもオンラインで実施

FIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021の審判の報告  
波多野祐一  
ビーチサッカー国際審判員念入りな事前準備で  
ルール改正に対応

4月26日に世界各国から48人のワールドカップ審判員候補者が選ばれ、その中に入ったとJFAから連絡をいただきました。5月、6月にオンラインセミナーが4回行われ、7月17日に大会審判員24人の一人として正式に選ばれました。

競技規則が6年ぶりに大幅に改正されてから、初めての大きな大会ということで、7月後半から8月にかけて毎週オンラインセミナーが行われ、各国の審判員と一緒に改正内容などの理解を深

世界のトップレベルを  
肌で感じる事ができた

HATANO Yuichi

めました。8月14日にモスクワに入った後も、15日から18日まで4日間の事前研修を受け、19日からの本番に臨みました。

大会では、グループステージで主審、第2審判、第3審判、タイムキーパー、リザーブ副審を1試合ずつ担当しました。その後、ノックアウトステージの進々決勝では、タイムキーパーとリザーブ副審を務め、3位決定戦ではリザーブ副審を担当しました。

その中で印象に残っているのは、主審を務めたグループステージのタヒチ対スペインの試合です。ビーチサッカーの強豪同士の対戦で、12・8でタヒチが勝利しましたが、ゲームのスピード感やプレーの強度なども含めて「これが世界のトップレベルの試合なんだ」と実感することができました。

今回の競技規則改正では、GKのインプレー中のボール保持に関するルール変更もあつて、各チームの戦術が大きく変わり、今大会ではGKがベナルティエリアを出て、攻撃に参加する機会が多くなりました。それによつて、ピッチ内の主審、第2審判の動き方も変わり、外から監視する第3審判もサポートに

当たるなど、審判チームとして補い合いながら対応しました。今までにない、新しい協力の形でのレフェリングでしたが、事前のセミナーで学んだことを実践できました。

コロナ禍での大会でしたので、FIFAからは宿舍、スタジアム、トレーニング会場以外での活動は控えるよう通達されていました。大会期間中は、マスクの着用や頻繁な手指の消毒など、自分自身で対応可能な感染対策を取って審判活動を行っていました。

収穫と課題を得て  
次の大会を目指す

今回はノックアウトステージを担当する審判員として最後まで残りたいと強く思いながら大会に臨みました。その目標を達成できたことについては、一定の信頼を得られたのではないかと思っています。前回参加したバハマ大会では、緊張のあまり、体が重く感じる場面もありましたが、今大会は、落ち着いて毎試合に臨むことができ、思い通りのポジションに動いて判定するなど、ピッチの上では審判員の役目を全うすることができました。

一方で、ノックアウトステージに残ることはできたものの、そこで笛を吹くことができず、課題も感じました。ある試合でGKの保持と相手のFPが足でボールを突いたのがほぼ同時に起こり、

私は、一瞬の判断でノーファウルとしてFPの得点を認めただけですが、映像で見ると、実際はGKの保持が一瞬先で、得点に関わる判定の重要性について現場のインストラクターから指導を受けました。ほかにも、立ち居振る舞いの毅然さや英語でのコミュニケーションの積極性の面などで自分自身の課題を感じました。

JFAの審判委員会では、ビーチサッカー国際審判員の強化研修を年に数回開催していただき、国内でも審判活動を実践できる機会が増えているので、1試合1試合を大切にしながら技術レベルの向上と課題の克服を目指していきたいと思っています。ビーチサッカー日本代表チームが世界の舞台で活躍しているように、審判員も世界トップレベルの試合を担当できるよう、これからも努力を続けていきます。



© FIFA via Getty Images

波多野審判員(右奥)が主審を務めたグループステージのタヒチ対スペイン

小崎 知広  
フットサル国際審判員

FIFAワールドカップに参加した審判員



**大会屈指の好カードで円滑な試合運営を実現**

これまでフットサルワールドカップの審判員は、各大陸のサッカー連盟が候補者を立てて研修会を行い、FIFAが承認する形でしたが、今大会は最初からFIFAが候補者を選出してトレーニングを行い、そこから正式なメンバーを選任する形でした。候補者には選ばれたのは今年1月で、以降2週間に1回ぐらゐのペースでトレーニングをし、7月に最終メンバーに選ばれました。

集大成となった今大会の  
経験を今後に生かしたい

KOZAKI Tomohiro

リトアニアには9月1日に入り、10日間ほど座学とフィットネストレーニング、今大会から導入されたビデオサポーター(VS)のトレーニングを行いました。担当したのは全部で9試合。主審・第2審判を担当したのはグループステージのベネズエラ対コスタリカ、アルゼンチン対セルビア、ラウンド16のスペイン対チェコ戦で、さらに準々決勝スペイン対ポルトガル、準決勝ブラジル対アルゼンチン、3位決定戦といったビッグゲームで第3審判を務めました。

印象深いのは、第3審判を務めた準決勝ブラジル対アルゼンチンです。イエローカードが8枚も出る熱戦でしたが、スペイン人の主審と第2審判をピッチ外からサポーターし、私からフェウルアピールをして採用されるなど、みんなでビッグゲームをつくり上げることができました。そして、いろいろな方から「ストレスなく試合を見ることができた」と言っていたいただきました。

現地では新型コロナウィルス感染対策として2日ごとに抗原検査を行い、レフェリーチーム全体が陰性であることを確認しながら



に進めました。試合前日は試合に向けてのトレーニングを、試合翌日はリカバリトレーニングをするなど、試合以外の日も何らかのトレーニングをすることが多かったです。

ビデオサポーターは  
ゲームを守る重要な役割

今大会から導入されたVSは、チームチャレンジによって判定が正しいかどうかをその場ですぐに確認し、明らかに間違えていれば判定を変えられるシステムです。チームや選手、観客も含め、その判定を引き起こすことなぐ次のプレーに集中できる効果があり、シンプルながら非常にポジティブなものと感じました。最初はチーム側も慣れておらず、「こんなタイミングで？」というリクエスト(レビューの要求)もありましたが、徐々に順応し、コー

チがリクエストしようとするのをピッチ内の選手たちが「やっても判定は変わらないから」と止めるシーンもありました。そこまでの理解が進めば、本当に大事な局面で、ゲームを守るために使えるようになりたいですね。

また、リザーブアシスタントレフェリーの役割が明確になったことも大きかったと思います。第3審判と分担してベンチとコミュニケーションを取ることができずし、フットサルではGKが頻繁に攻撃参加しますので、その際に反対のゴール付近の視野をカバーすることもできます。VSと併せてピッチ外の副審が主審と第2審判をサポーターできる体制が整ったことは試合運営上非常に大きかったと思います。

個人的には、今大会が国際審判員の集大成となりました。フットボールは選手やコーチ、審判員、観客の皆さんも含め、みんなが楽しむ懐の深い競技だということを学びました。11年にわたる国際審判員の経験は、今後の人生につながると思っています。もちろん今後、若い審判員がワールドカップのような大きな舞台に立ち、力を発揮するためのサポーターはしていきたいと思っています。どのような形になるかは分かりませんが、できる限り協力していきたいと考えています。



FIFAフットサルワールドカッププリトアニア2021の審判の報告

# 松崎 康弘 FIFAフットサル審判インストラクター



大会の1年4カ月前から準備に奔走した

今大会にはFIFAフットサル審判インストラクターとして審判員への指導やサポート全般に関わりました。

今大会に向けた活動は、2020年6月から始まり、FIFAの審判委員会の中に設置されたフットサルエキスパートパネルで毎週、オンライン会議を行い、準備や競技規則の改正のほか、今大会に向けてどのように審判員を選び、教育するか

## 新規導入のビデオサポートを 今後も継続できるように

MATSUZAKI Yasuhiro

ケーションや雰囲気など、把握できる部分がこれまでの大会に比べて大幅に増えました。そのおかげでより緻密な指導ができるようになりました。

フットサルはピッチが小さく、攻守の切り替えがスピーディーで、多くの接触があるなどの特徴があります。そういったサッカーとの違いがより鮮明に分かるようになったことも、カメラの台数が増えた影響だと思っています。

### メリットが大きかったVS 今後は各国導入を促す

VSの導入に加え、審判員も主審、第2審判、第3審判に加えてリザーブアシスタントレフェリー(RAR)という4人目の審判員を導入しました。第3審判やRARがベンチやプレーとは反対側のゴールを見ることにより主審と第2審判のポジションが大きく変わり、それぞれがプレーをより近いところで見られるようになりました。また、スピーディーな展開にも対応できるようにになりましたし、カウンターに対しては第3審判とRARが対応するので、非常にシステムティックになったと思います。

今大会ではVSの導入によってカメラの台数が22台と大幅に増え、事象や判定そのものだけでなく、そこに至るまでのバックグラウンド、選手とのコミュニ

選手や監督はそこで出た判定に対しては納得してくれず。ただ、納得できない部分があるのも事実です。審判員が自分の判定に固執し、不満が爆発することもありました。

主審と第2審判の2人だけで映像を確認するので、サッカーのビデオアシスタントレフェリー(VAR)と比べるとどうしても精度は低くなりますが、仮にカメラの台数が少なくても各国リーグで導入すべきだと思えました。ピッチ近くにモニターを設置、オペレーターの派遣など課題はありますが、映像で確認すれば選手や監督への納得感もたやすくなりますし、フットサル環境のより良い整備のためにもワールドカップだけのシステムにしないことが重要だと思います。



# ブルーノ・ガルシア

## フットサル日本代表前監督インタビュー



# 物事を突き詰めれば、道は広がる

2016年からフットサル日本代表の指揮を執り、

およそ5年間にわたって代表チームの

強化と指導者養成、普及に力を注いだ。

今年10月限りの退任を発表したブルーノ・ガルシア前監督に話を聞いた。

取材日：2021年10月26日

選手たちの献身的な姿勢  
根底にリスベクトがあった

——ブルーノさんは2016年10月の就任以降、5年間にわたってフットサル日本代表監督を務められました。

ブルーノ 本当にあつという間でした。コロナ禍の影響もあり、最後の2年間は生活も代表活動の内容も一変しましたが、それでも活動がたくさんあるときは仕事に没頭していました。時間がたつのが本当に早かったと今あらためて感じます。日本で過ごした時間は非常に充実していました。私は、記憶や感情に訴えかけるような出来事を大切に取っておくタイプでもあり、日本でたくさんの思い出をつくることができました。

——10月25日の退任発表会見では各方面の方々に感謝の気持ちを述べていました。

ブルーノ 来日当初、強固なチームをつくるためには価値観とアイデンティティー、共通の目標とチームスピリットが必要不可欠だという、ざっくりとした言い方をしました。しかし、実際に代表チームを強くするには、その取り組みに賛同した上で協力してくれる人たちが必

要です。その点、私たちはこの5年、日本サッカー協会をはじめFリーグのクラブ、そして直接的なステークホルダーでない方々も含めてたくさんの方々に協力してもらいました。自分がやってきたことへの誇りがある一方、そうした方々のサポートがあったからこそ、仕事に集中することができたという感謝の気持ちを強く持っています。

——代表チームでの活動を通じて、選手たちに伝えられたと感じている点は？

ブルーノ たくさんありますが、パツと思ひ浮かぶのは献身的と犠牲的精神です。代表チームの選手たちは長い時間を共に過ごし、チームと自身の成長のために全力を注ぎます。選手全員が「チームに全てを捧げる」という気持ちにならないければ、献身的や犠牲的精神に必要な信頼も生まれません。代表チームの選手たちは常に献身的でしたし、それによって別の要素が染みつきました。

まず、どんなときでも全力を尽くす精神です。献身的にもひも付いています。自分の全てを注ぐというマインドを当たり前のようには持てるようになりました。次に情熱です。リトアニアでのフットサルワールドカップでも選手全員が熱い思いでプレーしたからこそ、観客や

視聴者にそれが伝わり、たくさんのポジティブな感想を受け取りました。また、こうして献身的な姿勢を貫くことができたのも、選手たちにフットサルという競技や互いのリスベクトがあったからだと思います。

息子スルニートにも  
何かを継承することができた

——日本代表のコーチングスタッフ、指導者養成講習会などで出会った人たちに伝えたいことは何ですか。

ブルーノ まず「落ち着くことななく、動き続けろ」と伝えたいです。経験豊富な指導者は安住の地のようなどころに居座る傾向がありますが、心地良い場所から出てみましょう。自分の得意分野を磨くには、それを取り巻くもの、それ以外のものに目を向けて情報収集し、得意分野に生かすことが必要です。いつまでも好奇心を持ち続けてください。

もう一つは、「大胆であれ」ということです。「かわいい子には旅をさせよ」と言いますが、指導者もより厳しく、難しいところに踏み出しましょう。Fリーグなど競技志向の高い場所にいる指導者には、積極的に強豪クラブやより上のカテゴリで指揮を執ること、海外

など未知の世界での指導に挑戦してもらいたいところです。

三つ目に「純粹さを大切にしたい」と思います。日本に住むようになってから、フットサルやサッカーはもちろん、ビーチサッカーなど多くの指導者と触れ合いました。そこで気づかされたのが、日本の指導者の探求心の強さ、一つの競技に全てを捧げる純粹さです。今後ともそれらを生かして、楽しみながら指導にあたってください。

——ご自身は日本での5年間で新たな価値観を得ましたか。

ブルーノ 価値観とは少し違いますが、日本の人々は教養レベルが高いと身に染みて感じました。フットサル以外の方ともコミュニケーションを取る中で、誰もが共通の倫理観と一般的な教養、つまり人間は社会的にこうあるべきという暗黙の了解を理解し、それらをごく自然に守っていました。生活していて感心させられることが多々ありましたね。

息子のブルーノが幼少期から日本の習慣になじみ、日本とスペインの文化がミックスされた状態で過ごすことができるようになり、自分としてはある意味、何かを継承することができたと思いますし、とても喜ばしいことだと思っています。

——ブルーノくんは日本の文化になじんだのですか。

ブルーノ 息子は今、スペインにいます。家に帰るとまず靴を脱ぎ、きちんとそろえてから家に入ります。まだ小学生なのでおもちやに囲まれています。常に部屋をきれいにしています。そんな子ども、スペインには一人もいないと思いますよ(笑)。

私は日本に来るまで、子どもを教育するための場所は家庭にあり、学校はあくまで家での教育をサポートするものと捉えていました。ところが、ブルーノが日本の学校に通い始めると、これは明らかに学校で学んだことだろうというもの。家庭に持ち込むようになり、学校で礼儀作法も教えてくれる分、家では別のことに目を向けられ、本当に助かりました。



——話は変わりますが、先のFIFAフットサルワールドカップをどのように見ましたか。

ブルーノ アジア各国の奮闘も含め、全体としてフットサルのグローバル化が進んでいる印象を受けました。こうした流れになってきたのは、16年大会からです。FIFAフット

トサル世界選手権(現、FIFAフットサルワールドカップ)が創設された1989年以降は、ブラジルとスペインの2強時代が続いていましたが、16年の大会ではアルゼンチンがロシアとの決勝を制し、新たな王者になりました。

そして今回も、群雄割拠の大会でした。ポルトガルが初優勝し、前回大会に続いて新たなチャンピオンが誕生しました。アジアから出場した5カ国が全てラウンド16に進出した事実も、前回大会のトレンドが続いていることを示しています。イラン、日本、ウズベキスタン、タイ、ベトナムといったアジア各国の試合を全て見た感想として、正直、日本のパフォーマンスが最も良かったと思っています。

——どの国が勝ってもおかしくない現状をどのように捉えていますか。

ブルーノ このトレンドは3年後のワールドカップも続くでしょうし、フットサルにとって理想的な状況と言えます。一人の主役が活躍する映画をずっと見るよりも、主役級のキャラクターがひしめく映画の方が面白いのと同じです。

——今後、日本が主役級の存在感を発揮するためにすべきことは何ですか。

ブルーノ 研さんを積むことです。先のワールドカップでこの5年間の成果を確認することができました。あとはそれをどこまで突き詰めていけるか。具体的に言うと、リーグ内の競争をより激しくし、クラブの実力も向上させていくことで、それはすなわちプロ化にもつながります。選手たちがフットサルに集中できる環境で競争するようになれば、選手と試合の質も上がります。さらなる成長のためには、選手や指導者が海外リーグでのプレーや指導に挑戦することも欠かせません。物事を突き詰めることで道はさらに広がります。

——海を越えるとなると、ハードルが高いようにも聞こえます。

ブルーノ 私の自宅は遠くヨーロッパですが、私はここにいます。言語や食事の違い、家族との距離など言い訳を探すのは簡単ですが、私がいるのはハイパフォーマンスの世界です。そこに留まり続けなければ、自分をより苦しい状況に放り込まなければなりません。チャレンジングを受け入れることです。

日本の指導者も、より高いリーグで働き、そこで結果を残すことが必須でしょう。高

みを目指さなければ井の中の蛙になり、成長することができません。大事なものは、現在の任務を終えたとき、次はどこへ行くかというイメージができていくことです。日本には、次の一手をイメージしながら目の前の物事に取り組もうとする選手や指導者が少ないように感じますが、高い場所を目指し、そこで活躍を続けることが同胞の選手や指導者にプラスをもたらすというのをぜひ忘れずにいてほしいと思います。



FIFAフットサルワールドカップリトアニア2021でのひとコマ。「チームの情熱が見る者に伝わったからか、ホジティブな感想をたくさんもらった」とブルーノ前監督は話す



# 日本勢は5年連続の準決勝進出ならず

アジアのクラブ王座を懸けたAFCチャンピオンズリーグ (ACL) 2021は、9月にノックアウトステージがスタートし、グループステージを勝ち抜いた日本勢3クラブがラウンド16でいずれも韓国のクラブと対戦した。準々決勝を目指す戦いは川崎フロンターレとセレッソ大阪が惜敗。唯一、突破した名古屋グランパスは準々決勝で敗れた。

12年ぶりの準決勝進出を懸けて浦項と準々決勝に挑んだ川崎フロンターレ

## 川崎Fは前回王者と対決 熱戦もPK戦で涙

ノックアウトステージは、コロナ禍前のホームアンドアウェイ方式ではなく、シングルマッチで行われた。

Jリーグチャンピオンとなって出場権を獲得し、グループステージを6戦全勝という快進撃で突破した川崎フロンターレは9月14日、3度目のACL優勝を狙う前回王者の蔚山現代とアウェイで対戦した。蔚山は、Jリーグのベルマール平塚(現湘南ベルマーレ)、柏レイソルでプレーし、韓国代表でも大活躍した同国のレジェンド、洪明甫(ホン・ミョンボ)監督が率いるチームだ。

両チーム共にそれぞれのリー

グ戦で首位につけている好調ぶり、試合は気の抜けない緊迫した展開となった。90分を終えても得点は生まれず、延長戦に突入。106分に知念慶のヘディングシュートを蔚山GKが渾身のセーブで防げば、終了間際には相手のヘディングがゴールポストをたたくという手に汗握る攻防が続いた。結局、120分はスコアレスで終了し、川崎FはPK戦で2-3と涙をのんだ。

「前半は難しい時間が多かったが、後半は修正して良い形で進められた。そこでなんとか1点取れた」と鬼木達監督。母国のチームを相手に好守を見せたGKチョン・ソリョンは「勝つ自信もあつたが、残念な結果に終わった」と肩を落とした。川崎F

は前回王者にあと一步及ばず、過去に3度進出している準々決勝には届かなかった。

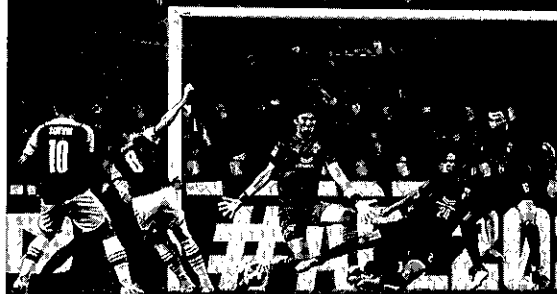
## 監督交代で臨んだC大阪 後半の攻勢実らず敗退

セレッソ大阪は8月26日、グループステージ突破に導いたレヴィー・クルビ監督との契約解除を発表し、コーチを務めていた小菊昭雄監督が指揮を執ることになった。その直後のリーグ戦で連勝するなど調子が上向いた中で迎えた9月15日のラウンド16、ホームの長居球技場(ヨドコウ桜スタジアム)で浦項ステイラーズを迎え撃った。2009年以来2度目のACL優勝を目指す強豪だ。

前回王者にPK戦で惜敗した川崎Fは、延長終了間際まで手に汗握る攻防を繰り広げた



© AFC



© AFC

浦項の攻撃を懸命に防いだC大阪だが、前半に失った1点が重かった

清武弘嗣、坂元達裕という攻撃の中心選手を負傷で欠くC大阪は「立ち上がりからビルドアップがなかなかスムーズにいかず、相手の圧力で厳しい時間が続いた」(小菊監督)。そのような劣勢をGKキム・ジンヒョンの好守などでのしるぐも、25分

に痛恨の先制点を献上する。浦項の右CKのボールが遠いサイドに流れたところをイ・スンモに押し込まれた。

その後は、8月下旬にスペインのクラブから帰還した乾貴士を中心に反撃。松田陸、アダム・タガートに決定機が訪れた。後半に入ってもC大阪の攻勢が続ぎ、西川潤、加藤陸次樹、大久保嘉人らアタッカーの投入で反撃の勢いは増す。しかし、浦項もゴール前で懸命に身をしていして守り、スコアは0-1のまま動かず、準々決勝進出はならなかった。

浦項は、8月下旬にスペインのクラブから帰還した乾貴士を中心に反撃。松田陸、アダム・タガートに決定機が訪れた。後半に入ってもC大阪の攻勢が続ぎ、西川潤、加藤陸次樹、大久保嘉人らアタッカーの投入で反撃の勢いは増す。しかし、浦項もゴール前で懸命に身をしていして守り、スコアは0-1のまま動かず、準々決勝進出はならなかった。

## 新戦力が得点量産 名古屋が準々決勝進出

川崎F、C大阪と共にグループ

プステージを1位で勝ち抜いた名古屋グランパスは、9月14日にホームの豊田スタジアムで大邱FCと顔を合わせた。大邱はブラジル人選手の得点で前半を2-1とリードしたが、名古屋は7月に加入したポーランド代表のヤクブ・シュヴェイルツオクの3得点を挙げる活躍などで4-2の逆転勝利をつかみ取った。

名古屋のマッシモ・フィッカデンティ監督はハーフタイム、選手たちに「両サイドで相手を上回れるように変化をつける必要がある」と話したという。その言葉通り、63分には左サイドで高い技術力を発揮して崩し、森下龍矢のクロスを生ユヴェイルツオクがヘディングでたたき込んで2-1と追い付く。そのわずか2分後には、や

はり左サイドでボールを奪取したシュヴェイルツオクが角度のない位置から決めて、ハットトリックを達成。試合後には「(12分の)1点目も2点目も、良いパスが来て楽に決めることができた。3点目は少し難しかったが」と自身の全得点を振り返った。

名古屋はさらに79分、左CKを中谷進之介がヘディングで合わせてリードを2点に広げ、準々決勝進出を果たした。

日本の期待つないだ名古屋前半の決定機を生かせず

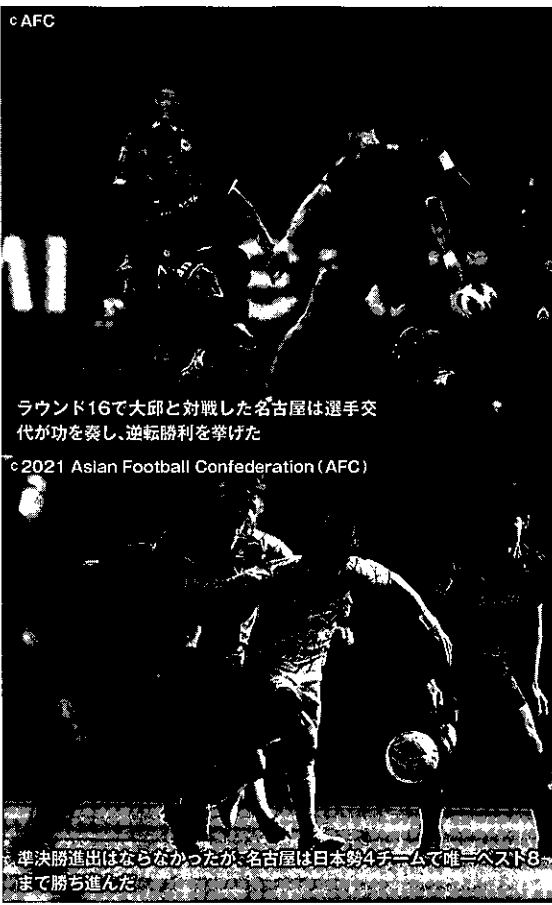
今大会では、日本勢で唯一のベスト8入りで期待をつないだ名古屋は10月17日、ラウンド16でC大阪を退けた浦項と準決勝進出

たボールは、懸命に駆け戻った相手選手にクリアされ、詰めた稲垣祥の至近距離からのシュートも体勢を立て直したGKにキャッチされた。

「あれだけあった決定機を前半でものにできないとなると、後半、同じようにいなくなってしまう。それがサッカー」と試合後に話したフィッカデンティ監督。

53分にCKのこぼれ球を押し込まれて先制を許すと、70分には1本のパスでセンターバックの背後を突かれ失点。アディショナルタイム5分にはダメ押しされ、0-3で敗れた。ゲームキャプテンを務めた中谷は「この大会に懸けていたのすごく悔しい」と話した。

ており、4度目のアジア制覇となる。大会最優秀選手はサレム・アルドサリ(アルヒラル)。得点王に輝いたのは、2020年まで柏レイソルでプレーしたアルドゥハイル(カタール)のマイケル・オルンガで、チームの総得点11のうち「9」ものゴールを記録した。



ラウンド16で大邱と対戦した名古屋は選手交代が功を奏し、逆転勝利を挙げた  
©2021 Asian Football Confederation (AFC)

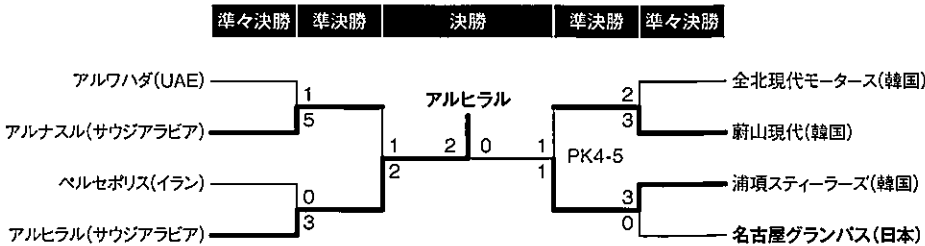
準決勝進出はならなかったが、名古屋は日本勢4チームで唯一ベスト8まで勝ち進んだ

を懸けてアウェイで対戦した。マテウス、シュヴェイルツオクが果敢にシュートを放った前半は、33分にビッグチャンスが訪れる。スピーディーな攻めで、マテウスからのパスを受けてシュヴェイルツオクがシュート。ゴールに向けて放たれた

### ■ラウンド16 (東地区のみ)

蔚山現代(韓国)	0-0(PK3-2)	川崎フロンターレ(日本)
名古屋グランパス(日本)	4-2	大邱FC(韓国)
全北現代モータース(韓国)	1-1(PK4-2)	BG/バウム・ユナイテッド(タイ)
セレッソ大阪(日本)	0-1	浦項スティーラーズ(韓国)

### ■対戦表 (準々決勝～決勝)



「特別企画」 Jエリートリーグにおける選手育成と強化

# 可能性を秘めたチャレンジの場

「ポストユース」と呼ばれる21歳以下の選手たちが活動できる場を広げるため、Jエリートリーグ2021が今年3月に開幕した。同リーグ初年度の成果について、Jリーグフットボール本部育成部の増本伸弘部長と守田弘史氏に話を聞いた。

オンライン取材日：2021年11月19日

## 新設されたリーグを 若手が経験を積む場に

Jエリートリーグの1年目のシーズンが11月30日に閉幕した。21歳以下(ポストユース世代)の若手に出場機会を多く与えることを主眼に置いたリーグとして今年3月8日にスタートし、参加14クラブで41試合が行われた。これまで出場機会が少なかったルーキーたちがピッチで伸び伸びとプレー。Jクラブのアカデミーからトップチームに昇格したばかりの選手もいれば、数カ月前まで全国高等学校サッカー選手権大会でプレーしていた新人もいる。それぞれが実戦の場で貴重な経験を積んだ。Jエリートリーグ

2021の現場に足を運び、1シーズンを通じて多くの試合を視察してきたJリーグフットボール本部育成部の守田弘史氏は言う。

「クラブの考え方の違いにより、チーム編成、年齢のバランスにはらつきはありましたが、大会の趣旨は理解してもらっていたと思います。『21歳以下の選手を3人以上、ベンチ入りさせる』というレギュレーションがある中、ほぼ全てのクラブがその人数を超える若手たちをピッチに送り込んでいたことも印象的です」

Jエリートリーグは、若手の成長を促すための格好の場として使われた。ここでの活躍が認められてJリーグYBCルヴァン

カップやリーグ戦に出場する選手も少なくなかった。Jリーグによると、「新たにリーグが創設されたことで積極的に若手を起用することができた」といった声を

はじめ、参加クラブからポジティブな意見が聞こえてきたという。今シーズンのルヴァンカップでニューヒーロー賞を獲得した浦和レッズのGK鈴木彩艶(19歳)もJ



Jリーグのフットボール本部育成部の増本伸弘部長(右)と守田弘史氏(左)



成長著しいGK鈴木彩艶。JエリートリーグをステップにJリーグやYBCルヴァンカップでも出場機会をつかみ、自身のレベルアップにつなげた

### 【Jエリートリーグ2021】

Jエリートリーグは、21歳以下の選手を中心とし、21歳以下（ポストユース）の選手の試合出場とアカデミー所属選手の飛び級の機会を創出するとともに、トップチームとアカデミー、そして地域との連携を深める機会を提供することを目的としている。

#### 参加クラブ

グループA：北海道コンサドーレ札幌、水戸ホーリーホック、浦和レッズ、横浜F・マリノス、清水エスパルス、名古屋グランパス

グループB：ガイナレ鳥取、ファジアーノ岡山、徳島ヴォルティス、愛媛FC

グループC：アビスパ福岡、V・ファーレン長崎、鹿児島ユナイテッドFC、FC琉球

#### 大会方式

- ・グループごとに、総当たり2回戦制のリーグ戦を行う
- ・90分（前後半各45分）の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする
- ・試合エントリー：選手最大18名/スタッフ最大7名
- ・選手交代：7名まで
- ・交代回数：1試合3回まで（ハーフタイムを除く）※「脳震盪による交代」を導入する
- ・各グループのリーグ戦が終了した時点で、勝点の合計が多いチームを上位としグループ毎の順位を決定する  
ただし勝点同一の場合は次の順序により順位を決定する  
①得失点差②総得点数③当該チーム間の対戦成績（イ.勝点 ロ.得失点差 ハ.総得点数）  
④21歳以下選手の合計出場時間

#### 出場選手

- ・参加クラブに所属する選手
- ・参加クラブに所属していない選手（練習生）は、Jリーグの承認を得てエントリー可能
- ・2021年12月末日において満年齢21歳以下の選手を3名以上、エントリーしなくてはならない  
※事前にJFA選手登録および本大会への登録が完了している選手のみ

エリートリーグでプレーした一人だ。2021年はアカデミーからトップチームに昇格した最初の年だったが、ルヴァンカップだけではなく、Jリーグの試合にも出場するなど著しい成長を見せた。東京オリンピックに出場したU-24日本代表のメンバーにも選ばれるなど、個人のレベルアップにもつながった。従来であれば、経験豊富なGK西川

周作がいるチームでここまで多くの出場機会を得ることはできなかったかもしれないが、鈴木は活躍は、まさにJリーグが望んだ成果と言える。

### プロに移行する時期こそ 実戦経験を積んでほしい

Jエリートリーグではアカデミーに所属する選手たちの活躍も目立ち、目的の一つである飛び級を促していた。17歳でJエリートリーグの試合に出場していた北海道コンサドーレ札幌の西野

格させるかどうかの見極めの場としても機能したと感じています。各選手が公式戦でどれだけ力を発揮できるかどうかは、クラブにとって大事な判断要素です。Jエリートリーグで活躍できていると思います。V・ファーレン長崎の安部大晴選手はクラブ史上最年少となる16歳でJ2デビューを飾っています。長崎の松田浩監督は「Jエリートリーグで経験を積んだことが大きかった」と話していました」

Jエリートリーグの会場では、トップチームとアカデミーのスタッフが選手たちのプレーをチェックしたり、クラブによっては幹部が視察に訪れることもあった。どのクラブも育成に対する熱が高くなっている。増本部長は、優秀な選手をただ単純に飛び級させるのではなく、中期プランで選手を育てることの必要性を次のように説く。

「飛び級扱いとなった選手が、その後どのような課題を持ち取り組んでいくかが重要です。その選手が自分の（ユース）カテゴリーに戻ったとき、トップチームで学んだことを生かしているか否かも見なければなりません。これ

を繰り返すことが、育成のベースとなります。アカデミーからトップチームに昇格するだけでは、選手は成長しません。レベルアップするためには場数をこなすことが不可欠ですが、これまでは18歳でトップチームに加わってもなかなか壁を乗り越えられずに経験を積めない現状があります。公式戦から遠ざかっていた結果、パフォーマンスを低下させてしまいうのはあまりに惜しい。私たちは、選手がアカデミーからトップチームに移行する期間を「トランジションフェーズ」と呼んでいますが、この時期にもっと公式戦の経験を重ねてもらいたいと考えています。その点、今回若手が経験値を増やす場所をつくったことの意義はあったと思いますし、クラブ側からもJエリートリーグのピッチでプレーした選手たちの変化を感じていると聞いています」

### 経験豊富な選手が 若手の刺激となる

Jエリートリーグは、門戸が広く開かれたことでサッカー界全体にも少なからず影響を与えた。Jリーグの承認を得れば、Jクラ



今年5月、クラブ史上最年少の16歳でJ2デビューを飾ったV・ファーレン長崎の安部大晴。Jエリートリーグでプロの水に慣れていたことが役立った

関東学院大の村上悠絆（3年）が5月10日の浦和戦でハットトリック

を達成するなど大活躍。

その2カ月後にはクラブから加入内定が発表された。プロ契約にこ

ぎつけることができなかつた選手もプロの試

合でもまれた経験は今後の糧になる。

「埋もれた逸材」を探ることがJエリート

リーグの主目的ではないが、「クラブがうまく

リーグを活用してくれ

ました。ポテンシャルを秘めた地域の選手たちには、どん

どんチャレンジしてもらいたい」（増本部長）とJリーグはポジティブに捉えている。

Jエリートリーグを活性化させたのは若手の競争だけではなかつた。メンバーリストには経験豊富な選手たちの名前もあ

り、若手と共にピッチを駆け回った。けが明けのコンディション調整であつても、あるいはチーム事情によつて出場機会が減つていても、

プロの世界で長年プレーしてきた選手たちの力は本物だつた。

4月12日に浦和对水戸の一戦

を視察した増本部長は、「浦和の守備陣に昇格1年目のGK鈴木彩艶選手と福島竜弥選手、高卒新人の藤原優大選手（現、SC相模原）、アカデミーの工藤孝太選手という若いメンバーが並ぶ中、右サイドバックに33歳の宇賀神友弥選手が入っていました。宇賀神選手は試合中、ピッチ上の監督といった具合で頻繁に若手たちに声をかけ続け、チームを引っ張っていました。相手が熱くなつたときはなだめ役になるなど、真のプロフェッショナルだと感じました。こうした立ち居振る舞いの一つ一つが若手の成長を後押しするはずですよ」と話す。

愛媛FCとファジアーノ岡山が顔を合わせた一戦でも、ベテラ

ンが若手の奮起を促す光景が見られた。プロ22年目を迎えた山

瀬功治は中盤で誰よりもハードワークし、声を出していた。大先輩が全力で戦っている横で、若手

たちが足を止めるわけにはいかない。必然的に選手たちのプレーの強度も高くなり、最後まで引き締まつた展開となつた。刺激を受けた愛媛の若手たちは、「次はいつJエリートリーグの試合がある

のですか」と口にしていた。

Jエリートリーグは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてスタートし、創設初年度もコロナ禍という難しい状況下で運営を続けてきた。多くの試合がリモートマッチ（無観客試合）を余儀なくされたが、平時に戻れば、ファン・サポーターとの関わり方も大きく変わってくるという。

「ファン・サポーターは、リーグの価値を高める上で極めて重要な存在ですし、できるだけ多くの

の人たちにJエリートリーグを見てもらいたい。試合会場の規程がないため、今季の長崎のように

普段、開催していない地域で開催することもできません。このリーグを創設した目的の一つに、地域貢献があります。これからは

さらにクラブと地域が一体となつて、盛り上げていけるようにしたい。地域とつながっていくことがサッカー選手として不可欠だとい

うことを、これからプロになる選手たちにも学んでほしいと思つて

います」（増本部長）

Jリーグの未来を担うJエ

リートリーグは、産声を上げた

ばかり。まだまだ大きな可能性を秘めている。選手だけではなく、経験が浅い指導者や審判員にとつても「チャレンジの場」として広く活用された。

## 有観客試合を視野に さらなる充実を図る

Jエリートリーグは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてスタートし、創設初年度もコ

ロナ禍という難しい状況下で運営を続けてきた。多くの試合が

リモートマッチ（無観客試合）を余儀なくされたが、平時に戻れば、

ファン・サポーターとの関わり方も大きく変わってくるという。

「ファン・サポーターは、リーグの価値を高める上で極めて重要な存在ですし、できるだけ多くの

の人たちにJエリートリーグを見てもらいたい。試合会場の規程がないため、今季の長崎のように

普段、開催していない地域で開催することもできません。このリーグを創設した目的の一つに、地

域貢献があります。これからはさらにクラブと地域が一体となつて、盛り上げていけるようにしたい。地域とつながっていくことが

サッカー選手として不可欠だとい

うことを、これからプロになる選手たちにも学んでほしいと思つて

います」（増本部長）

Jリーグの未来を担うJエ

リートリーグは、産声を上げた

ばかり。まだまだ大きな可能性を秘めている。選手だけではなく、経験が浅い指導者や審判員にとつても「チャレンジの場」として広く活用された。

「われわれJリーグは、2030

フットボールビジョンで「世界で最も人が育つリーグ」になることを目標に掲げています。選手はもち

ろん、あらゆる立場の人たちにJエリートリーグを活用し、成長し

ていってもらいたい」（増本部長）

創設2年目以降は運営面、競技面もさらに充実させていくつもりだ。フットボール本部育成部の守田氏は、「Jエリートリーグ

創設の趣旨がブレないように続けていきます。今後は参加するクラブの数を増やし、拮抗した

試合を多くしていきたい。将来的には（同リーグに出場する）21

歳以下の選手たちの割合を7割から8割にすることが理想です。

もちろん、経験豊富な選手が出場することのメリットも理解していますので、ベテランと若手が融合し、相乗効果をもたらすこと

ができれば」と語る。

Jリーグの大きな挑戦は、こ

れからも続いていく。





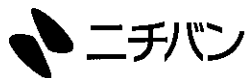
日本サッカーの発展のため、  
さらなる普及や次世代選手育成の促進を。

## JFA Youth & Development Programme



OFFICIAL PARTNER

**TOYOTA**



**molten**<sup>®</sup>  
*For the real game*

TECHNICAL PARTNER

**PHILIPS**

GREENPROJECT PARTNER

**TOA**  
東亜道路工業

**FUJITA**  
Daiwa House Group

JYD SUPPORTER

 **日本総研**  
The Japan Research Institute, Limited

**Deloitte**<sup>®</sup>  
デロイト トーマツ

**The Pokémon Company**

JYD



日本サッカー協会

三井不動産と「サッカーの力を活用した街づくり連携および拠点再編に関する基本協定」を締結

JFAと三井不動産株式会社は、三井不動産が推進するスポーツ・エンターテインメントの力を活用した街づくりにおける連携と、創立100周年を迎えたJFAの歴史と伝統を継承し、次の100年の発展に資する拠点の再編を目的として、「街づくり連携および拠点再編に関する基本協定」を10月21日付で締結した。

JFAは、2003年から東京都文京区に本拠地を置き、サッカーの普及と強化、スポーツ環境の整備、スポーツを通じた社会貢献に努めてきた。一方、三井不動産グループは、MIYASHITA PARK、TOKYO SPORT PLAYGROUND、三井不動産アイスパーク船橋、スポーツアカデミー for TOKYO2020 など、スポーツの要素を盛り込んださまざまな街づくりを推進。今年1月には株式会社東京ドームを子会社化した。両者がタッグを組み、それぞれの実績やネットワークを生かすことで、サッカー／スポーツを核としたコミュニティ創出とスポーツの発展に資する拠点再編に向けて検討を進めていく。

【主な検討項目】

1. サッカー／スポーツを核としたコミュニティの創出における連携
2. JFAの次の100年の発展に資する拠点の再編
3. JFA職員の仕事環境の充実
4. JFA が所有する「JFA ハウス」の有効活用

●田嶋幸三JFA会長

2002FIFAワールドカップのレガシーの一つに JFA ハウスが挙げられます。日本サッカー界はここを拠点にサッカーの普及・強化とサッカーを通じた社会の発展に貢献すべく取り組んできました。スポーツは、健康づくりや生き甲斐の醸成だけでなく、徳性を涵養（かんよう）したり、コミュニティの核となるなど、SDGs（持続可能な開発目標）や少子高齢化への対応、多様性を受け入れるダイバーシティ、ワーク・ライフバランスの実現など、新たな社会課題の解決に大きな力を発揮するものであると考えます。JFAは、役職員の働き方改革、スポーツと都市の融合、人々が健康に暮らせるスマートシティの実現など、次の100年に向け、サッカー事業を通じてより多くの社会的

価値を生み出し、地域社会の発展に貢献するために新たなレガシーを創造していきたいと考えています。今回の三井不動産との協定締結はその第一歩となります。同社の実績とノウハウを生かし、相互に連携して、有意義な検討を進めていきたいと考えています。

●孤田正信 三井不動産株式会社 代表取締役社長

三井不動産は、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念の下、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、事業推進をしてきました。その取り組みの一つとして、スポーツには「する」「観る」「支える」などの活動を通じて、暮らす人々や働く人々、憩う人々の心身を健康にするだけでなく、新しいつながりを生みだし、コミュニティを活性化する力があると考え、株式会社東京ドームの子会社化、世界の舞台で活躍する日本代表アスリートへの協賛やフットボールパークの開設など、「スポーツの力」を活用した街づくりに取り組んできました。また、社会が成熟化し、人々の意識や消費行動が「モノ」から「コト・体験」の重視へシフトしている中で、リアルならではの体験価値を提供するスポーツは、街づくりにおいて重要な要素であると考えています。創立100周年を迎えられ、次なる100年に向けて進化し続けるJFAとの協定締結を契機として、同協会と街づくりに関する連携を深め、年齢・性別を問わず多様な人々が、サッカーを始めとしたスポーツに親しみ、それを通じて多くの人の豊かな暮らしが実現できるよう社会に貢献していきます。



三井不動産株式会社の  
孤田社長（右）と田嶋JFA  
会長

「JFAセーフガーディングポリシー」を策定

JFAは11月18日、子どもたちを守るための「JFAセーフガーディングポリシー」を策定したことを発表した。これは、子どもたちがサッカー、スポーツを安心、安全に楽しむ権利とその環境を守るために、指導者をはじめ、サッカーに関わる全ての人々が順守する指針となる。

JFAはこれまで、だれもが、いつでも、どこでも、安全に、安心してスポーツを楽しめる環境を広げるための活動を推進してきた。2019年にはユニセフの「子どもの権利とスポーツの原則」に賛同し、「JFAサッカーファミリー安全保護宣言」を発表。懲罰基準の明確化や懲罰の厳罰化、ウェルフェアオフィサーの推進などを通じて、暴力や暴言、ハラスメントのない健全なサッカー環境の整備を進めてきた。しかし、子どもたちからスポーツの楽しさや心身の健やかな成長の機会を奪う事象は依然として後を絶たない。今回の「JFAセーフガーディングポリシー」は、JFAサッカーファミリー安全保護宣言をサッカーの日常の場で体現するために整理したものであり、今後は具体的な取り組みを推し進め、サッカーファミリー

への意識共有を図っていく。

※39ページに関連記事あり

【JFAセーフガーディングポリシー】

対象：サッカーにおける全てのサッカーファミリー / ステークホルダー

基本原則：

- 子どもたちの安心・安全を守る
  - ・子どもたちの喜びを広げ、成長を促す環境をつくる
  - ・子どもたちに選択肢を与える
  - ・子どもたちの声を聞き、対話する
  - ・子どもたちの安全・安心を守る
  - ・健康や環境リスクに対処する
- ゼロ・トレランス 私たちは許さない
  - ・あらゆる暴力・暴言を排除する
  - ・あらゆる差別を排除する

- ・あらゆるハラスメントを排除する
- ・あらゆる誹謗中傷を排除する
- ・子ども同士の問題にもアプローチする
- ・サッカー外の問題にも気づく
- ・負の連鎖を断ち切る
- そのためにも
- ・適切な人が子どもたちに関わるよう取り組む
- ・子どもたちを守るためにも、誠実に子どもたちに向き合う大人の安心・安全も守る
- ・起こったことへの対処とともに、予防・教育を重視する
- ・現場をオープンに。リスクの芽に気づき、声を掛け合う、伝え合う文化をつくる

今後の取り組み：

- ・ウェルフェアオフィサーを都道府県サッカー協会、リーグ・連盟に限らずクラブへと広げ、ネットワークを機能させる
- ・ケース対応の手順チャート
- ・クラブのフィロソフィー、大切にすること、方針の明文化
- ・クラブでのリスペクトワークショップの実施
- ・健全育成クラブ基準の検討と提示
- ・指導者へのセーフガーディングワークショップの実施
- ・リーグ単位でシーズン初めにセーフガーディングワークショップを開催することを推進

## フットサル日本代表監督に木暮賢一郎、 フットサル日本女子代表監督に須賀雄大が就任

JFAは11月22日、オンライン記者会見を開催し、フットサル日本代表とフットサル日本女子代表の新監督にそれぞれ木暮賢一郎氏、須賀雄大氏が就任することを発表した。会見には、木暮監督、須賀監督のほか、フットサル委員会の北澤豪委員長、小西鉄平JFAフットサルテクニカルダイレクターが同席。木暮監督はコーチとしてブルーノ・ガルシア前監督と共にフットサル日本代表の強化に携わってきた。北澤委員長は「当時から日本人が代表監督になれるようにと、ブルーノ前監督に指導していただきながらプロジェクトを進めてきた。われわれが目指すワールドカップベスト8以上という目標にたどり着くためにはこれまでの積み重ねが必要」と木暮監督の選任理由を説明した。女子に関しては、アジア各国の強化が進んでいることから「中長期的に女子の環境改善も同時に進めていかななくてはならない」（北澤委員長）と、Fリーグなどで監督経験が豊富な須賀監督を選任。小西ダイレクターは「男子のトップカテゴリーとU-20年代、女子の各代表チームが横のつながりを持ってやっていく」と話し、代表チーム・育成・指導者養成・普及の4部門にダイレクターを置く新体制の構築についても明かした。

なお、木暮監督はU-20フットサル日本代表の監督を、須賀監督はフットサル日本代表のコーチを兼任する。

### ●木暮賢一郎 フットサル日本代表監督

私自身、選手として2000年に初めて代表活動に参加し、ここまで選手としても、コーチングスタッフとしても、6人の監督と共に代表選手の振る舞いや誇りを学んできました。ここまで共にフットサルを大きくしてきた全ての方たちの思いを受け取って、代表監督として、強だけでなく他のスポーツからも尊敬されるようなチームをつくり、フットサ

ルというスポーツの価値を上げていくために全力を尽くします。

### ●須賀雄大 フットサル日本女子代表監督

重要な責務に任命いただいたことに感謝します。自分を指導者として育て、戦ってしてくれた選手たち、コーチングスタッフ、対戦相手、関係者の皆さまにこの場で感謝したいと思います。女子の監督をした経験はありませんが、日本女子フットサルをここまで成長させて来られた多くの方へのリスペクトを持ってこの仕事に当たりたいということが最初の率直な思いでした。多くの方と意見交換をしてみんなで日本女子代表をつくっていききたいと思います。

AFC女子フットサルアジアカップの優勝が一つの大きな目標になります。女子フットサルリーグの強化も重要なポイントになりますので、Fリーグで15年間監督をしてきた経験を生かし、強化だけではなく、普及、育成、指導者の育成といった面においても自分に与えられた任務を全力で全うしていきます。



木暮賢一郎監督（右）と須賀雄大監督

## FCバイエルン・ミュンヘンとのパートナーシップ協定を再締結

JFAは、ドイツのブンデスリーガ1部に所属するFCバイエルン・ミュンヘンとのパートナーシップ協定を更新した（11月30日発表）。今回更新する協定の概要は下記の通り。

### 【概要】

協定内容：以下の分野におけるサッカーの相互利益、促進、成長、成功に向けた両者の関係強化

- ・JFAアカデミーとバイエルンアカデミーとの関係強化、育成分野での情報交換・交流
- ・トップチームレベルでの連携強化・交流
- ・グラスルーツプログラムの実施・交流
- ・日本のアンダーカテゴリー代表向けサポート

・オンラインワークショップ開催

期間：2021年より3年間

### ●田嶋幸三JFA会長

この度のFCバイエルン・ミュンヘンとのパートナーシップ協定の延長を大変うれしく思います。FCバイエルン・ミュンヘンは世界でもトップの中のトップに位置するクラブで、選手育成やチーム強化策など学ぶべきことが多くあります。2018年にパートナーシップ協定を締結して以降、同クラブとさまざまな分野で連携していますが、中でも育成年代の選手派遣を通じて指導方法や選手の才能の見分け方など、非常に貴重な情報を共有していただいています。現在、熊谷紗希選手が女子のトップチームに所属していますが、今後は女子も育成年代の選手を派遣し、それぞれの発展に生かしていきたいと考えています。このパートナ

## JFAリリースインフォメーション&amp;活動報告 月刊レポート

シップ協定が両者にとって実り多きものになることを確信しています。

## ●反町康治JFA技術委員長

FCバイエルン・ミュンヘンというドイツやヨーロッパのみならず、世界でも有数のビッグクラブとの提携を3年間延長できたことをとてもうれしく、光栄に感じています。JFAの技術委員会としては、代表強化、ユース育成・強化、指導者養成、普及の“四位一体”を掲げておりますが、こうした考え方をFCバイエルン・ミュンヘンの方々と共有し、いろいろなアイデアを分かち合うことは今後の日本のサッカーの発展に重要なことだと考えています。お互いの交流をより深めて、今後も良好な関係をつくっていききたいと考えています。

## ●オリバー・カーン FCバイエルン・ミュンヘンCEO

日本はアジアにおけるサッカーの強豪国です。2002年のFIFAワールドカップでは、日本人のサッカーに対する情熱を身をもって体験することができました。日本サッカー協会との連携を継続することとなり、世界トップクラスの選手を育成するという共通の目標を達成するためにも、今後は緊密な交流をしていく必要があります。なお、ワールドクラ

スの活躍を見せる熊谷紗希選手が現在FCバイエルン・ミュンヘン女子のトップチームに所属していることをとても誇りに思っています。

## ●アンドレアス・ユング FCバイエルン・ミュンヘン マーケティングディレクター

FCバイエルン・ミュンヘンにとって、日本はとりわけ魅力のあるマーケットです。FCバイエルンは数年前、日本で一つ目となるFCバイエルン ツネイシサッカースクールを開校しました。今回のパートナーシップ協定延長を通じ、FCバイエルン・ミュンヘンの海外戦略を強化していきたい所存です。

※参考：JFAがパートナーシップを締結している協会・連盟・クラブ（2021年11月現在）

【アジア】東地域：チャイニーズ・タイペイ、香港、モンゴル、東南地域：インドネシア、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア、ラオス、中央地域：イラン、ウズベキスタン、西地域：アラブ首長国連邦、オマーン、カタール、ヨルダン

【ヨーロッパ】 イングランド、スペイン、デンマーク、ドイツ、フランス、ベルギー、ロシア、FCバイエルン・ミュンヘン

【南米】 南米サッカー連盟、アルゼンチン、パラグアイ、ベネズエラ

## なでしこジャパン

## 11月25日、オランダでアイスランド女子代表と対戦

JFAは11月9日、11月25日にオランダのアルメレでなでしこジャパン（日本女子代表）の国際親善試合を開催し、アイスランド女子代表と対戦することを発表した。試合は無観客試合（リモートマッチ）での運営となる。

※68～69ページに関連記事あり

## 【国際親善試合 開催概要】

日時：2021年11月25日（木）19:40キックオフ（現地時間）

会場：Yanmar Stadion（オランダ/アルメレ）

対戦：なでしこジャパン（日本女子代表）対 アイスランド女子代表

主催：公益財団法人日本サッカー協会

日本代表オフィシャルパートナー：麒麟ビール株式会社、

麒麟ビバレッジ株式会社

日本代表オフィシャルサプライヤー：アディダス ジャパン株式会社

テレビ放送：BSフジにて生中継

※日本サッカー協会の主催試合として開催/無観客試合（リモートマッチ）で開催

## ●池田太なでしこジャパン監督

来年1月にAFC女子アジアカップインド2022 を控えたこのタイミングで、国際親善試合を国外で2試合戦えることは非常にありがたく、感謝申し上げます。10月にチームが立ち上がり、チームビルディングを進める中で、オランダとアイスランドの2カ国と対戦できることは非常に有意義なものだと捉えています。アイスランドは欧州の中で日々激しい戦いを続けているチーム、オランダはFIFA女子ランキングでも上位で、近年対戦の多いチームです。自分たちの今の力、現状を見極めるために、新たなメンバーも加えながらさまざまなチャレンジをしていきたいと思えます。

## ●対戦国関連データ

アイスランド女子代表のFIFA女子ランキング：16位（2021年8月20日現在）  
過去の対戦成績：3試合/日本の3勝0分0敗（6得点1失点）

## 審判員

## 家本政明審判員が今シーズンでトップリーグ担当審判員から勇退

JFAは11月1日、プロフェッショナルレフェリー（PR）でJリーグ担当審判員の家本政明審判員が2021シーズンをもって国内トップリーグを担当する審判員から退くことを発表した。

## 【家本政明審判員プロフィール】

生年月日：1973年6月2日

出身地：広島県

審判歴：1996年 1級審判員登録  
2002年～ Jリーグ担当

2005～2016年 国際審判員（国際主審）

2005年～ プロフェッショナルレフェリー

※その他プロフィール詳細はJFA公式ウェブサイト参照

## ●家本政明審判員

今シーズンをもって「審判 家本政明」を卒業する運びとなりました。最後の笛を吹くその時まで、選手、スタッフ、ファン・サポーターの皆さまと誠実に向き合い、サッカーの魅力をより高められるよう全力を尽くします。

# 全日本高等学校女子サッカー選手権大会

## 大会ロゴを刷新

JFAは「全日本高等学校女子サッカー選手権大会」が今年度で創立30周年を迎えることを機に、大会ロゴを刷新した(11月1日発表)。

第30回大会は2022年1月3日～9日、32チームが参加して兵庫県内で開催される。

【大会会新ロゴ】

●イメージ



●コンセプト

「全日本高等学校女子サッカー選手権大会」は未来のなでしこジャパンが生まれる大会。その舞台に挑戦する選手たちを「なでしこの蕾」として表現。この大会に関わる多くの選手が将来大きな花を咲かせ、成長していく、未来と可能性をデザインに込めている。

# Jリーグ(日本プロサッカーリーグ)

## いわきFCのJリーグ入会(J3)

Jリーグは11月25日に開催した理事会において、J3への入会を申請していたいわきFCに対して、Jリーグへの入会を承認した。

【J3への入会】

●いわきFC

法人名：株式会社いわきスポーツクラブ

ホームページ：https://iwakifc.com/

所在地：〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町釜ノ前 1-1

所属リーグ：日本フットボールリーグ(JFL)

ホームタウン：いわき市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、葛尾村

ホームスタジアム：Jヴィレッジスタジアム

# 日本女子サッカーリーグ

## プレナスなでしこリーグ2021表彰式を開催

日本女子サッカーリーグは10月27日、プレナスなでしこリーグ2021表彰式を開催した。表彰式は東京都内ホテルで実施され、その様子はYouTube公式「なでしこリーグチャンネル」でライブ配信された。表彰式の結果は下記の通り。

【チーム表彰】

●なでしこリーグ1部

優勝：伊賀FCくノ一三重[初]

第2位：スフィーダ世田谷FC

第3位：セレッソ大阪堺レディース

フェアプレー賞：愛媛FCレディース[2回目]

●なでしこリーグ2部

優勝：JFAアカデミー福島[初]

第2位：パニーズ群馬FCホワイトスター

第3位：静岡SSUアスレジーナ

フェアプレー賞：パニーズ群馬FCホワイトスター[4回目]

【個人表彰】

●なでしこリーグ1部

・最優秀選手賞 杉田亜未(伊賀FCくノ一三重)[初]

・ベストイレブン 藤田涼加 GK(伊賀FCくノ一三重)[初]

奈良美沙季 DF(スフィーダ世田谷FC)[初]

作間琴莉 DF(伊賀FCくノ一三重)[初]

宮迫たまま DF(伊賀FCくノ一三重)[初]

杉田亜未 MF(伊賀FCくノ一三重)[初]

小山史乃観 MF(セレッソ大阪堺レディース)[初]

三浦桃 MF(NGUラブリッジ名古屋)[初]

鈴木千尋 MF(伊賀FCくノ一三重)[初]

西川明花 FW(伊賀FCくノ一三重)[初]

大竹麻友 FW(スフィーダ世田谷FC)[初]

千葉園子 FW(ASハリマアルピオン)[初]

・得点王(19点)

西川明花(伊賀FCくノ一三重)[初]

・敢闘賞

大竹麻友(スフィーダ世田谷FC)[初]

・新人賞

山田仁衣奈(愛媛FCレディース)

・優勝監督賞

大嶽直人(伊賀FCくノ一三重)[初]

●なでしこリーグ2部

・最優秀選手賞 松窪真心(JFAアカデミー福島)[初]

・得点王(13点) 松窪真心(JFAアカデミー福島)[初]

・新人賞

佐藤亜実(パニーズ群馬FCホワイトスター)

【特別表彰】

・200試合出場選手 加藤真理(福岡J・アンクラス) 2021/5/2達成  
杉田亜未(伊賀FCくノ一三重) 2021/5/23達成  
小原由梨愛(ニッパツ横浜FCシーガルズ) 2021/9/18達成  
森仁美(伊賀FCくノ一三重) 2021/9/19達成  
高橋悠(コノミヤ・スペランツァ大阪高槻) 2021/10/3達成  
浅野未希(コノミヤ・スペランツァ大阪高槻) 2021/10/3達成  
武田裕季(ASハリマアルピオン) 2021/10/17達成

・最優秀審判賞

松尾久美子[初]



日本サッカー協会（JFA）は2021年11月18日、2021年度第13回理事会をオンラインで開催した。決議、報告された事項は、下記の通り。

1 女子委員長選任	P36	5 2022年度 9地域サッカー協会向け一括補助金 交付	P37
2 JFAアジア貢献事業 指導者海外派遣（新規）	P36	6 フットサルゴールキーパーコーチライセンス新設	P37
3 各種規則 制定	P36	7 『審判員および審判指導者の表彰対象』改正	P38
4 経理規則 改正	P36	8 審判員表彰	P39

### 女子委員長選任

下記の者を女子委員長に選任する。

名前：佐々木則夫（ささきのりお）

なお、佐々木理事は現在、WEリーグ大宮アルディージャ VENTUSの総監督を務めており、12月4日第11節まで同チームで活動、翌12月5日より常勤役員、女子委員長として活動いただくこととする。

### JFAアジア貢献事業 指導者海外派遣（新規）

グアムサッカー協会より女子代表監督および女子サッカー統括派遣の依頼を受け、JFAアジア貢献事業の一環として、新たに海外に派遣する指導者1名を選任する。

派遣指導者：小倉咲子（おぐら さきこ）

資格：JFA A級コーチライセンス

派遣先協会：グアムサッカー協会（GFA）

役職：女子代表監督 兼 女子サッカー統括

契約期間：2021年12月1日～2023年1月31日

### 各種規則 制定

「財産管理運用規則」「寄附金等取扱規則」を新規に制定する。

詳細はJFA公式ウェブサイト参照。

これまででは法令や慣行に則って対応していたが、「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」に、組織運営上必要な基本的な規程として例示されていることから、他団体の例も参考に新たに規則を制定するもの。

※現状の運用を特別変更するものではない。また、監査法人の事前確認済。

#### ■財産管理運用規則

主な内容：財産全般について適切な管理運用、財産目録への記載義務を明記

#### ■寄附金等取扱規則

主な内容：寄附金を頂戴する際のプロセス、辞退する際の指針、受領後の対応を明記

### 経理規則 改正

経理規則を下記の通り改正する。

詳細はJFA公式ウェブサイト参照。

#### (1)改正内容

「第6章 資産・負債の管理」の条文追加。

- ・債権債務の残高確認
- ・債権の回収・債務の支払い
- ・債務の免除等
- ・棚卸資産の評価および管理

「第8章 決算」

- ・固定資産の減価償却の方法

#### (2)改正理由

- ・債権債務の条文については、サッカーファミリー支援事業により債権の取扱を明文化。
- ・棚卸資産の評価および管理については、監査法人より貯蔵品管理について明文化すべきとの指摘に対応。
- ・固定資産の減価償却の方法については、監査法人より実態に即した内容に変更すべきとの指摘に対応。

## 2022年度 9地域サッカー協会向け一括補助金 交付

「2022年度 9地域サッカー協会向け一括補助金 交付要項」に基づき、9地域サッカー協会（9地域FA）に対して、下記の通り、9地域FA一括補助金を交付する。  
詳細はJFA公式ウェブサイト参照。

### (1) 限度額総額について

総額：348,819,000円

### (2) 交付要項における、前年度からの変更点について

#### ① 制度変更：充当必須事業の算出根拠及び金額変更

##### <変更点1> 算出根拠の変更

- 高円宮杯 JFA全日本U-15サッカー選手権大会（プレーオフ）
- JFA 全日本U-15女子選手権大会

##### <変更点2> 金額の変更

- 1級・女子1級・フットサル1級審判員指導

#### ② 制度追加：強化育成関連

- ナショナルトレセンU-13

※JFA事業として予算化していたものを移管するため

#### ③ 要項追加：処分項目

加盟団体規則改訂のため

### [2021年度からの主な変更点]

#### ① 制度変更

充当必須事業に関して、下記の変更を行う

### ■ 算出根拠の変更

#### 1) 高円宮杯 JFA全日本U-15サッカー選手権大会（プレーオフ）

変更前) 試合数×40千円 **変更後) 試合数×38千円**

\*予算枠は変更にならないため、予算を案分

#### 2) JFA 全日本U-15女子選手権大会

変更前) 各地域一律 **変更後) 2022年度の試合予定数より算出**

\*地域ごとに地域大会の試合数が異なるため（予算枠は変更なし）

### ■ 金額の変更

#### 1級・女子1級・フットサル1級審判員指導

変更前) 3,222千円 **変更後) 3,270千円**

\*対象者増加のため

### ② 制度追加

強化育成関連：ナショナルトレセンU-13

JFA事業として予算化していたものを移管するため

### ③ 要項追加

要項追加：処分（以下※）

加盟団体規則改訂のため

※11.処分 加盟団体規則第21条に基づき、JFAは補助金の支給停止又は減額などの処分を行うことができる。

## フットサルゴールキーパーコーチライセンス新設

下記のフットサルゴールキーパーコーチライセンスを新設する。

- フットサルゴールキーパー A級コーチライセンス
- フットサルゴールキーパー B級コーチライセンス
- フットサルゴールキーパー C級コーチライセンス

※ライセンス体系等の詳細は下記参照

### 【目的】

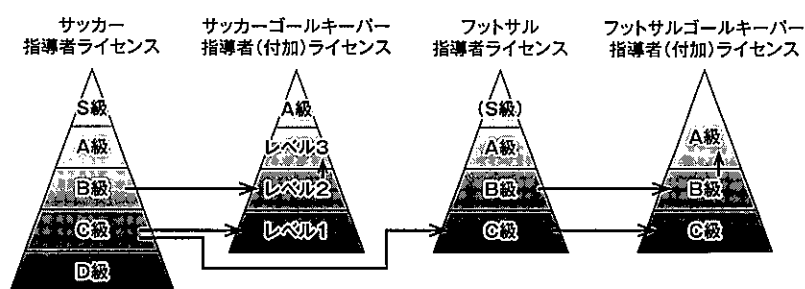
JFAは、FIFAフットサルワールドカップでの優勝を目標としている。そのためには、世界で活躍できるGKを育成する必要があるとあり、その育成に携わる世界レベルのGK指導者も不可欠であると考え、「指導指針の作成」「育成・強化」「指導者養成」「タレント発掘」の4つの指針を掲げて活動を行っていく。

まず正しくフットサルゴールキーパーを指導できる指導者の養成を行う。そのためにフットサルゴールキーパーライセンス（付加ライセンス）を新設し、指導者へ研さんの場を整える。

### (1) <JFAフットサルゴールキーパーライセンスについて> ライセンスの立ち上げにあたり

- ① 正しくフットサルGKを指導できる指導者の養成
- ② 日本代表・世界で活躍できるGKの育成
- ③ AFCライセンスとの互換を目指す
- ④ 世界に誇れるフットサルGKライセンスにする

### (2) フットサルゴールキーパー指導者ライセンス制度



世界で活躍するGKを育成するために世界レベルの指導者の存在が必要である

### (3) ~JFA指導者養成講習会における~ フットサルゴールキーパー指導の考え方

#### 初級者

フットサルGK-C級  
GKコーチがアナリティックトレーニングと2対2+GKのゲームの中でGKを専門的にテクニックの指導ができる

フットサルC級  
指導者がGKを体験し、GKの基本テクニックを理解

#### 中級者

フットサルGK-B級  
GKコーチがアダプトトレーニングと3対3+GKのゲームの中でGKを専門的にテクニックの指導ができる

フットサルB級  
指導者がゲームの中でGKを指導できる

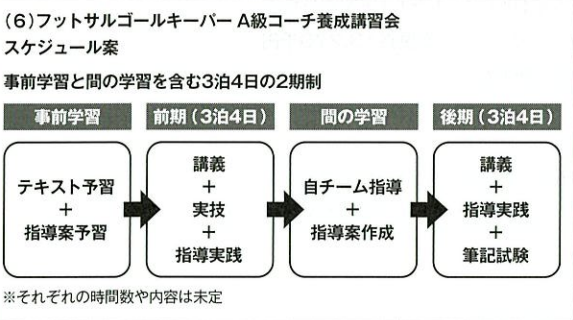
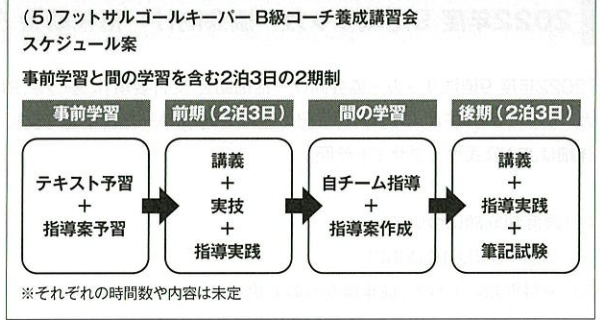
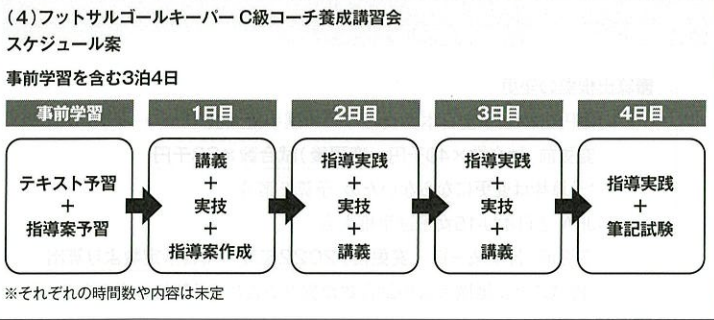
#### 上級者

フットサルS級  
指導者がチーム戦術の中でGKを含めて指導ができる

GK-A級  
GKコーチがグローバルトレーニングと4対4+GKのゲームの中でGKを専門的にテクニックの指導ができる

フットサルA級  
指導者がゲームの中でGKを含めて指導ができる

次ページへ続く



### 『審判員および審判指導者の表彰対象』改正

審判員等への表彰に関する内規「審判員および審判指導者の表彰対象」(2012年度第8回理事会にて承認)について、表彰対象者に下記の審判業務を追加する。

追加する審判業務と理由

(1)サッカーにおける「VAR・AVAR」

理由：VAR、AVARについてはFIFAワールドカップやオリンピックなど、世界大会にも導入されているため

(2)フットサル・ビーチサッカーにおける「リザーブ副審」

理由：リザーブ副審については従来表彰対象としていなかったが、サッカーの第5の審判員と同様に大会を通じたパフォーマンスが評価されポイントされることから、表彰対象として相応しいと考えられるため

参考)リザーブ副審の役割

- サッカー：  
副審または第4の審判員が職務を続行することができなくなった場合に交代する
- フットサル・ビーチサッカー：  
主審・第2審判のいずれかが職務を続行することができなくなった場合、第3審判員となる

表彰内容	対象大会等	試合等	対象者
表彰状授与 記念品贈呈	ワールドカップ	決勝	主審・副審・第4の審判員・ <u>VAR・AVAR</u> ・リザーブ副審(第5の審判員)
	女子ワールドカップ		
	オリンピック競技大会 サッカー競技 男女		
	フットサルワールドカップ		
表彰状授与	ビーチサッカーワールドカップ	3位決定戦・準決勝	主審・第2審判・第3審判・タイムキーパー・ <u>リザーブ副審</u>
	ワールドカップ		
	女子ワールドカップ	決勝	主審・副審・第4の審判員・ <u>VAR・AVAR</u> ・リザーブ副審(第5の審判員)
	オリンピック競技大会 サッカー競技 男女		
	フットサルワールドカップ		
	ビーチサッカーワールドカップ		
	クラブワールドカップ	決勝	主審・副審・第4の審判員・ <u>VAR・AVAR</u> ・リザーブ副審(第5の審判員)
	U-20ワールドカップ		
	U-17ワールドカップ		
	U-20女子ワールドカップ		
	U-17女子ワールドカップ		
	その他*		審判活動を通じ、日本サッカー界の発展と審判技術の向上、さらには国際社会等に著しく貢献した審判員および審判指導者



「審判員及び審判指導者等に関する規則」第30条および「審判員および審判指導者の表彰対象」に基づき、下記2名の審判員を表彰する。

(1) 波多野祐一 (はたの ゆういち)

対象大会：FIFA Beach Soccer World Cup Russia 2021  
 試合：3位決定戦 リザーブ副審  
 表彰内容：表彰状授与

(2) 小崎知広 (こさき ともひろ)

対象大会：FIFA Futsal World Cup Lithuania 2021  
 試合：準決勝および3位決定戦 第3審判  
 表彰内容：表彰状授与

参考：「審判員及び審判指導者等に関する規則」

30条 [表彰]

本協会は、審判技術の向上等に著しく貢献のあった審判員および審判指導者を表彰する。

報告事項

1 第17回FIFAカウンスル会議(10月20日開催) …… P39	6 ナショナルコーチングスタッフ[サッカー女子] …… P40
2 JFAセーフガーディングポリシーの策定 …… P39	7 審判員・審判指導者 海外派遣 …… P41
3 JFAサッカー施設整備助成事業 …… P40	8 裁定委員会に関する懲罰 …… P41
4 JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(更新) …… P40	9 規律委員会に関する懲罰 …… P41
5 47都道府県サッカー協会におけるFAコーチ(技術担当者専任化) …… P40	

第17回FIFAカウンスル会議(10月20日開催)

第17回FIFAカウンスル会議が10月20日にオンライン上で行われた。主な決定・報告事項は下記の通り。

- (1) 2021年12月20日にワールドカップ隔年開催案を検討するグローバルサミットをオンラインで開催することを決定。
- (2) FIFAクラブワールドカップ2021™を2022年前半にアラブ首長国連邦(UAE)で開催することを決定。
- (3) 女子サッカーの国際マッチカレンダー(2020-2023年)について以下の変更を承認。

- ①FIFA女子ワールドカップ2023™プレーオフ：2023年2月13日～2月23日(ただし、当該プレーオフ出場国のみに適用)
- ②インターナショナルマッチウィンドー：2023年7月10日～7月18日
- ③FIFA女子ワールドカップ2023™：2023年7月20日～8月20日
- (4) 第72回FIFA総会を2022年3月31日にカタール・ドーハで開催することを決定。

JFAセーフガーディングポリシーの策定

JFAセーフガーディングポリシーを下記の通り策定した。詳細はJFA公式ウェブサイト参照。

(1) 背景

サッカー、スポーツを安心・安全に楽しむことは、すべての人の権利であり、サッカーファミリー全体にとっても大切なことである。  
 JFAグラスルーツ宣言(2014年)、サッカーファミリー安全保護宣言(2019年)は、全てのサッカーファミリーに向けられたものであり、サッカーファミリーが安心・安全にサッカーを楽しむために、また、サッカーファミリーを守るためのものでもある。  
 その中で、特に18歳未満の子ども、そして弱い立場にあり、危機にさらされやすい人をサッカーファミリー全体で配慮し守る必要があり、それぞれが活動するにあたり、よりどころとなる考え方を整理したい。

(2) 前提

- JFA100周年に合わせて発信する。次の100年へ向けた指針としたい。
- これまでさまざまな取り組みを行ってきたが、まだ強化・徹底が必要である。
- アフターコロナのサッカー環境、誹謗(ひぼう)中傷などへの対応を含む。
- FIFAやAFCからのポリシー策定の要請もある。

- 外部団体とも連携していく。
- 海外の事例を参考にしつつ、既に行っている取り組みを統合し、ポリシーを自分たちの言葉でしっかりと構築する。
- 2019年に発表した「サッカーファミリー安全保護宣言」との位置づけを明確にして発信する。分量や層の面での差異、関係性を明確にする。
- 宣言は重要なもので、その中でも特に子どもや弱者を、という関係を明確にする。

(3) ポリシーの目的

子どもたちがサッカーを安心・安全に楽しみ、続けられる環境を生み出す。守り続ける。子どもたちをエンパワーする。  
 そのために、関わるサッカーファミリーによりどころとなるポリシーを示す。

(4) ポリシーの対象

サッカーにおける全てのサッカーファミリー/ステークホルダー  
 サッカー、スポーツを安心・安全に楽しむことは、全ての人の権利であり、サッカーファミリー全体にとっても大切なこと。そして、その環境を確保することは、サッカーに関わる全ての人に課された役割でもある。

## JFAサッカー施設整備助成事業

[JFAサッカー施設整備助成金 交付要項]に基づき、助成金交付要望のあった下記の案件について、審査し交付を決定した。

### [申請概要]

#### (1) 神奈川県

- ①申請者：寒川町（神奈川県）
- ②申請区分：[助成区分2]地区サッカー施設整備助成事業
- ③助成対象事業：天然芝（新設）
- ④施設名：川とのふれあい公園サッカー場
- ⑤計画地：神奈川県高座郡寒川町宮山 地内
- ⑥総事業費：26,500千円 うち助成対象事業費は14,000千円
- ⑦助成金申請額：10,500千円
- ⑧完了時期：2022年7月31日（予定）
- ⑨交付決定日：2021年10月7日

#### (2) 大阪府

- ①申請者：（一社）大阪府サッカー協会（大阪府）
- ②申請区分：[助成区分2]地区サッカー施設整備助成事業
- ③助成対象事業：夜間照明（新設）
- ④施設名：OFA万博フットボールセンター
- ⑤計画地：大阪府吹田市千里万博公園3-3 万博記念公園スポーツ広場内
- ⑥総事業費：12,000千円
- ⑦助成金申請額：6,000千円
- ⑧完了時期：2022年4月28日（予定）

⑩交付決定日：2021年10月12日

#### (3) 千葉県

- ①申請者：（公社）千葉県サッカー協会（千葉県）
- ②申請区分：[助成区分1]都道府県フットボールセンター整備助成事業
- ③助成対象事業：夜間照明（新設）
- ④施設名：千葉県フットボールセンター
- ⑤計画地：千葉県千葉市美浜区美浜88（JFA夢フィールド内）
- ⑥総事業費：47,850千円
- ⑦助成金申請額：15,000千円
- ⑧完了時期：2022年12月28日（予定）
- ⑨交付決定日：2021年10月18日

#### (4) 香川県

- ①申請者：三豊市（香川県）
- ②申請区分：[助成区分2]地区サッカー施設整備助成事業
- ③助成対象事業：天然芝（新設）
- ④施設名：三豊市宝山湖公園
- ⑤計画地：香川県三豊市山本町神田乙500番地1
- ⑥総事業費：89,885千円
- ⑦助成金申請額：15,000千円
- ⑧完了時期：2022年3月31日（予定）
- ⑨交付決定日：2021年10月20日

## JFAロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）

### [更新]

申請者（施設所有者）：旭川市  
 施設名：東光スポーツ公園A球技場（北海道旭川市東光23～24条8丁目）  
 使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ MV2040 ACS65  
 公認期間：2021年12月19日～2022年12月18日  
 公認番号：第153号

申請者（施設所有者）：旭川市  
 施設名：東光スポーツ公園B球技場（北海道旭川市東光23～24条8丁目）  
 使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ MV2040 ACS65  
 公認期間：2021年12月19日～2022年12月18日  
 公認番号：第154号

申請者（施設所有者）：帝人株式会社 帝人アカデミー富士  
 施設名：帝人アカデミー富士グラウンド  
 （静岡県裾野市須山字大野2431-1、2431-2、2431-3、2478、2479番の一部）  
 使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ MSpro2060  
 公認期間：2021年9月17日～2023年9月16日  
 公認番号：第178号

### <特記事項>

- ・使用製品は、JFAロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。
- ・当該施設は、JFAロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

## 47都道府県サッカー協会におけるFAコーチ（技術担当者専任化）

47都道府県サッカー協会におけるFAコーチ（技術担当専任者）については、2019年10月理事会において47都道府県サッカー協会（FA）向け補助金交付を決議し、各FAと協議の上、技術委員会が決定することとした。これを受け、FAから申請のあった候補者について技術委員会で審査した結果、右記の通り新たに1FAで決定した。  
 今後、未定となっているFAについて、申請があり次第、随時審査を行う。

前回までに決定したFA：23FA  
 今回決定したFA：1FA  
 合計：24FA

### [技術担当者専任化承認者一覧]

No	FA名	名前	保有ライセンス	年齢
1	青森県	石村英俊	A級ジェネラル	63

## ナショナルコーチングスタッフ【サッカー女子】

ナショナルコーチングスタッフ【サッカー女子】U-16日本女子代表のフィジカルコーチとして、山田庸を選任する。

## 審判員・審判指導者名簿

委員会、大会、試合など	役職	名前	試合日または派遣期間	場所
FIFAワールドカップカタール2022 アジア最終予選 (Road to Qatar) グループA - UAE vs イラク	審判員	佐藤隆治、山内宏志、三原純、 荒木友輔、木村博之、飯田淳平	10月12日	UAE / ドバイ
AFCチャンピオンズリーグ2021 西地区 準決勝 ペルセポリス (イラン) vs アル・ヒラル (サウジアラビア)	審判員	佐藤隆治、山内宏志、三原純、 木村博之、飯田淳平	10月17日	サウジアラビア / リヤド
第2回AFC Women's VAR Course	審判員	小泉朝香	10月23日～11月1日	UAE / ドバイ
AFC U23アジアカップウズベキスタン2022予選 グループH	審判員	山本雄大、峯城巧	10月25日～31日	シンガポール
AFC U23アジアカップウズベキスタン2022予選 グループJ	審判員	山下良美、萩尾麻衣子、 手代木直美、坊園真琴	10月25日～31日	モンゴル / ウランバートル
AFC U23アジアカップウズベキスタン2022予選 グループD	審判員	荒木友輔、武部陽介	10月27日～11月2日	ウズベキスタン / タシケント
FIFA seminar for prospective referees for the FIFA World Cup Qatar 2022™	審判員	佐藤隆治、三原純	11月1日～5日	カタール / ドーハ
AFCカップ2021 決勝	審判指導者	上川徹	11月5日	バーレーン

## 裁定委員会に関する懲罰

裁定委員会 (委員長: 本林徹) より報告された懲罰案件について報告する。

### 【事案1】

- 当事者  
女子登録チームのコーチ (C級)
- 懲罰の種類  
1年間のサッカー関連活動の禁止
- 懲罰の決定日  
2021年10月19日

### 4.懲罰の理由

懲罰規程 第34条2項 [別紙3]表4に該当  
指導者に関する規則第20条第1項6号に該当

### 5.事案の概要

自チーム所属の未成年女子選手に対するわいせつな発言および選手に対するわいせつな発言の強要

## 規律委員会に関する懲罰

規律委員会 (委員長: 中島肇) より報告された懲罰案件について報告する。

### 【事案1】

- 当事者  
J2クラブ
- 決定日  
2021年10月18日
- 懲罰  
譴責処分
- 理由  
プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則1-2-⑩  
仲介人に関する規則第9条第5項及び第13条第1項  
懲罰規程第4条第2項 (2)
- 概要  
仲介人との間で、仲介人に将来の移籍補償金に関する権利を保有させる契約を締結した。

### 【事案2】

- 当事者  
仲介人Bおよびその所属法人
- 決定日  
2021年10月18日
- 懲罰  
譴責処分
- 理由  
仲介人に関する規則第10条第8項、第13条第1項及び第2項  
懲罰規程第2条、第4条第4項 (2)、第9条2項
- 概要  
クラブとの間で、仲介人が将来の移籍補償金に関する権利を保有する契約を締結した。

- ① SAMURAI BLUE アジア最終予選(Road to Qatar)
- ② U-18日本代表候補 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)
- ③ U-17日本代表候補 トレーニングキャンプ(J-GREEN堺)
- ④ なでしこジャパン(日本女子代表) 国際親善試合
- ⑤ U-19日本女子代表候補 トレーニングキャンプ(Jヴィレッジ)
- ⑥ U-16日本女子代表候補 トレーニングキャンプ(Jヴィレッジ)
- ⑦ ビーチサッカー日本代表 Tecnotree Intercontinental Beach Soccer Cup 2021
- ⑧ JFAエリートプログラムU-13フューチャー トレーニングキャンプ(静岡)
- ⑨ JFAストライカーキャンプ(静岡)
- ⑩ JFAナショナルGKキャンプ(Jヴィレッジ)
- ⑪ 2021ナショナルトレセンU-14後期
- ⑫ JFAエリートプログラム女子U-14 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)
- ⑬ 女子GKキャンプ(Jヴィレッジ)
- ⑭ 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2021
- ⑮ JFA 第9回全日本O-40サッカー大会
- ⑯ JFA 第20回全日本O-50サッカー大会
- ⑰ 2021明治安田生命J1リーグ
- ⑱ 2021明治安田生命J2リーグ
- ⑲ 2021明治安田生命J3リーグ
- ⑳ 第23回日本フットボールリーグ
- ㉑ 2021プレナスなでしこリーグ1部
- ㉒ 2021プレナスなでしこリーグ2部
- ㉓ 2021プレナスなでしこリーグ1部・2部入替戦/2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦

※NCS:ナショナルコーチングスタッフ、JC:JFAコーチ/VAR:ビデオアシスタントレフェリー、AVAR:アシスタントビデオアシスタントレフェリー

## SAMURAI BLUE アジア最終予選(Road to Qatar)

[スタッフ]

※66~67ページに関連記事あり

○監督: 森保一(NCS) ○コーチ: 横内昭展(NCS)、齋藤俊秀(NCS)、上野優作(NCS) ○GKコーチ: 下田崇(NCS) ○フィジカルコーチ: 松本良一(NCS)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	川島永嗣	RCストラスブール (FRA)	MF	浅野拓磨	VfLボーフム (GER)
	権田修一	清水エスパルス		南野拓実	リバプールFC (ENG)
	谷晃生	湘南ベルマーレ		古橋亨梧	セルティック (SCO)
DF	長友佑都	FC東京	守田英正※1	CDサンタ・クララ (POR)	
	吉田麻也	サンパドリア (ITA)	鎌田大地	アイントラハト・フランクフルト (GER)	
	酒井宏樹	浦和レッズ	三笥薫*	ユニオン・サンジロワーズ (BEL)	
	谷口彰悟	川崎フロンターレ	前田大然	横浜F・マリノス	
	山根視来	川崎フロンターレ	上田綺世	鹿島アントラーズ	
	室屋成	ハノーファー96 (GER)	田中碧	フォルトゥナ・デュッセルドルフ (GER)	
	板倉滉	シャルケ04 (GER)	堂安律※2	PSVアイントホーフェン (NED)	
	中山雄太	PECズヴォレ (NED)			
	旗手怜央*	川崎フロンターレ			
	冨安健洋	アーセナル (ENG)			
MF	大迫勇也	ヴィッセル神戸			
	原口元氣	1.FCウニオン・ベルリン (GER)			
	柴崎岳	CDレガネス (ESP)			
	遠藤航	VfBシュトゥットガルト (GER)			
	伊東純也	KRCヘンク (BEL)			

<スケジュール>

11月7日 集合、成田発、ハノイ着  
 8~9日 トレーニング (Hang Day Stadium)  
 10日 公式トレーニング (My Dinh National Stadium)  
 11日 アジア最終予選 (Road to Qatar)  
 vs ベトナム代表 (My Dinh National Stadium)  
 12日 ハノイ発、マスカット着、トレーニング  
 (Sultan Qaboos Sport Complex Training Pitch)  
 13~14日 トレーニング  
 (Sultan Qaboos Sport Complex Training Pitch)  
 15日 公式トレーニング (Sultan Qaboos Stadium)  
 16日 アジア最終予選 (Road to Qatar)  
 vs オマーン代表 (Sultan Qaboos Stadium)  
 17日 マスカット発、ドバイ着  
 18日 ドバイ発、成田着、解散

\*: 初招集  
 ※1: ベトナム戦後、クラブ事情のため離脱  
 ※2: 追加招集  
 FRA: フランス, ITA: イタリア, GER: ドイツ, NED: オランダ,  
 ENG: イングランド, ESP: スペイン, BEL: ベルギー,  
 SCO: スコットランド, POR: ポルトガル

■戦績表(2021年11月17日時点/カッコ内は今後の試合予定日)

順位	グループB	サウジアラビア	日本	オーストラリア	オマーン	中国	ベトナム	試合数	勝点	勝	分	敗	得点	失点	差
1	サウジアラビア	H	1 0 0	(22年3月29日)	(22年1月27日)	3 0 2	3 0 1	6	16	5	1	0	9	3	6
		A	(22年2月1日)	0 Δ 0	1 0 0	(22年3月24日)	1 0 0								
2	日本	H	(22年2月1日)	2 0 1	0 ● 1	(22年1月27日)	(22年3月29日)	6	12	4	0	2	5	3	2
		A	0 ● 1	(22年3月24日)	1 0 0	1 0 0	1 0 0								
3	オーストラリア	H	0 Δ 0	(22年3月24日)	3 0 1	3 0 0	(22年1月27日)	6	11	3	2	1	9	4	5
		A	(22年3月29日)	1 ● 2	(22年2月1日)	1 Δ 1	1 0 0								
4	オマーン	H	0 ● 1	0 ● 1	(22年2月1日)	(22年3月29日)	3 0 1	6	7	2	1	3	6	7	-1
		A	(22年1月27日)	1 0 0	1 ● 3	(22年3月24日)	1 Δ 1								
5	中国	H	(22年3月24日)	0 ● 1	1 Δ 1	1 Δ 1	3 0 2	6	5	1	2	3	7	11	-4
		A	2 ● 3	(22年1月27日)	0 ● 3	(22年3月29日)	(22年2月1日)								
6	ベトナム	H	0 ● 1	0 ● 1	0 ● 1	(22年3月24日)	(22年2月1日)	6	0	0	0	6	4	12	-8
		A	1 ● 3	(22年3月29日)	(22年1月27日)	1 ● 3	2 ● 3								

※5チームずつ2グループに分かれてホーム&アウェイの2回戦当たるリーグ戦を実施。  
 各グループ上位2ヶ国がワールドカップ出場権を獲得します。  
 グループ3位同士は、アジアプレーオフを行い、勝利チームが大陸間プレーオフに回ります。

○:勝ち(勝点3)、△:引き分け(勝点1)、●:負け(勝点0)

アジア最終予選 (Road to Qatar)

SAMURAI BLUE 1 (前半1-0 後半0-0) 0 ベトナム代表

●2021年11月11日 19:00 ●My Dinh Stadium ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]MOHAMMED ABDULLA HASSAN(UAE) [副審]MOHAMED AHMED ALHAMMADI(UAE) / HASAN MOHAMED ALMAHRI(UAE) [第4の審判員]ADEL ALI AHMED KHAMIS ALNAQBI(UAE) [VAR]AMMAR ALI ALJNEIBI(UAE) [AVAR1]HANNA HATTAB(SYR) ●マッチコミッショナー:KEMEL TOKABAEV(KGZ) ●観衆:11,022人

日本(監督:森保一):[GK](12)権田修一 [DF](2)山根視来(5)長友佑都<-63'(20)中山雄太>(16)富安健洋(22)吉田麻也 [MF](6)遠藤航(10)南野拓実<-63'(18)浅野拓磨>(13)守田英正<-88'(8)原口元気>(14)伊東純也(17)田中碧<-75'(11)古橋亨梧> [FW](15)大迫勇也<-75'(7)柴崎岳>

控え:(1)川島永嗣(23)谷晃生(3)室屋成(4)板倉滉(9)鎌田大地(19)三苫薫(21)堂安律

ベトナム(監督:PARK HANGSEO):[GK](1)BUI TAN TRUONG [DF](2)DO DUY MANH(3)QUE NGOC HAI(4)B T DUNG<-84'(16)NGUYEN THANH CHUNG>(7)NGUYEN PHONG HONG DUY(17)VU VAN THANH [MF](11)NGUYEN TUAN ANH<-46'(20)PHAN VAN DUC<-84'(6)LUONG XUAN TRUONG>(14)NGUYEN HOANG DUC [FW](10)NGUYEN CONG PHUONG<-73'(9)NGUYEN VAN TOAN>(19)NGUYEN QUANG HAI(22)NGUYEN TIEN LINH<-87'(18)HA DUC CHINH>

控え:(12)NGUYEN VAN HOANG(23)TRAN NGUYEN MANH(5)PHAM XUAN MANH(8)LE VAN XUAN(13)HO TAN TAI(15)PHAM DUC HUY(21)NGUYEN THANH BINH

得点 [日本]17'伊東純也(1-0)

警告 [日本]86'守田英正 [ベトナム]8'NGUYEN TUAN ANH

アジア最終予選 (Road to Qatar)

SAMURAI BLUE 1 (前半0-0 後半1-0) 0 オマーン代表

●2021年11月16日 20:00 ●Sultan Qaboos Sports Complex ●試合時間:90分 ●審判員:[主審]KO HYUNGJIN(KOR) [副審]YOON JAEYEOL(KOR) / PARK SANGJUN(KOR) [第4の審判員]KIM WOOSUNG(KOR) [VAR]KIM JONG HYEOK(KOR) [VAR1]KIM PAEYONG(KOR) ●マッチコミッショナー:DR. BACHIR ABDUL KHALEK(LIB) ●観衆:14,123人

日本(監督:森保一):[GK](12)権田修一 [DF](2)山根視来(5)長友佑都<-62'(20)中山雄太>(16)富安健洋(22)吉田麻也 [MF](6)遠藤航(7)柴崎岳<-46'(13)三苫薫>(10)南野拓実<-62'(11)古橋亨梧>(14)伊東純也<-82'(18)浅野拓磨>(17)田中碧 [FW](15)大迫勇也<-88'(8)原口元気>

控え:(1)川島永嗣(23)谷晃生(3)谷口彰悟(4)板倉滉(9)鎌田大地(19)酒井宏樹(21)堂安律

オマーン(監督:BRANKO IVANKOVIC):[GK](18)FAIYZ ISSA AL RUSHEIDI [DF](17)ALI SULAIMAN AL-BUSAIDI [MF](4)ARSHAD SAID AL-ALAWI<-69'(12)ABDULLAH FAWAZ>(19)AL-MANDHAR AL ALAWI<-69'(15)JAMEEL AL YAHMADI>(20)SALAAH SAID AL YAHYAEI<-84'(10)MOHSIN AL KHALDI>(23)HARIB JAMIL AL SAAFI [FW](5)JUMA MARHOON AL-HABSI(6)AHMED AL-KHAMISI(8)ZAHIR SULAIMAN AL AGHBARI<-84'(21)MOHAMMED MUBARAK AL-GHAFRI>(11)ISSAM'ABDALLAH AL SABHI<-34'(7)KHALID KHALIFA AL-HAJRI>(14)AMJAD AL-HARTHI

控え:(1)IBRAHIM AL-MUKHAINI(22)AHMED FARAJ AL RAWAHI(2)AHMED AL KAABI(3)FAHMI SAID BAIT DURBIN(9)ABDUL AZIZ AL MAQBALI(13)KHALID NASSER AL BRAIKI(16)OMER TALIB AL-FAZARI

得点 [日本]81'伊東純也(1-0)

警告 [日本]56'遠藤航 [オマーン]90+2'HARIB JAMIL AL SAAFI

U-18日本代表候補  
トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)

[スタッフ]

○監督:大岩剛(JFA指導者インストラクター) ○コーチ:富樫剛一(NCS) ○ロールモデルコーチ:内田篤人(JFAロールモデルコーチ) ○GKコーチ:高桑大二郎(NCS)  
○フィジカルコーチ:菅野淳(JFAフィジカルフィットネスプロジェクト)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	木村凌也	横浜F・マリノスユース	MF	吉田温紀	名古屋グランパスU-18
	川崎淳	浦和レッズユース		山崎倫	大宮アルディージャU18
	春名竜聖	セレッソ大阪U-18		笠柳翼	前橋育英高校
DF	本間温士	昌平高校	藤森颯太	青森山田高校	
	尾崎優成	ヴィッセル神戸U-18	山根陸	横浜F・マリノスユース	
	工藤孝太	浦和レッズユース	宇野禅斗	青森山田高校	
	菊地倫太	清水エスパルスユース	藤原健介	ジュビロ磐田U-18	
	眞真郷	大宮アルディージャU18	安部大晴	V・ファーレン長崎U-18	
	松田肇風	JFAアカデミー福島U18	福井太智	サガン鳥栖U-18	
	石塚心	横浜F・マリノスユース	北野颯太	セレッソ大阪U-18	
	田中肇人	柏レイソルU-18	FW	千葉寛汰	清水エスパルスユース
小澤晴樹	大宮アルディージャU18	坂本一彰		ガンバ大阪ユース	
MF	永長龍虎	興國高校		福田師王	神村学園高等部
	豊田晃大	名古屋グランパスU-18			

<スケジュール>

11月12日 集合、トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)  
13日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)  
14日 練習試合 vs 関東大学選抜(高円宮記念JFA夢フィールド)  
15~16日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)  
17日 練習試合 vs 横浜F・マリノス(高円宮記念JFA夢フィールド)  
18日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)、解散

U-17日本代表候補  
トレーニングキャンプ(J-GREEN 堺)

[スタッフ]

○監督:森山佳郎(NCS) ○コーチ:星原隆昭(JC) ○ロールモデルコーチ:中村憲剛(JFAロールモデルコーチ) ○GKコーチ:高橋範夫(NCS) ○フィジカルコーチ:小粥智浩(NCS)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	若林学歩	狭山ヶ丘高校	MF	齋藤来音	ジェフユナイテッド千葉U-18
	松原快哉	カマタマーレ讃岐U-18		久永瑠音	JFAアカデミー福島U18
	海本慶太郎	大宮アルディージャU18		伊藤大和	京都サンガF.C.U-18
DF	杉田隼	横浜FCユース	坂井鏡也	サガン鳥栖U-18	
	滝口晴斗	サンフレッチェ広島ユース	下田崇祐	鹿島アントラーズユース	
	小川遼也	カターレ富山U-18	大関友翔	川崎フロンターレU-18	
	西野颯太	北海道コンサドーレ札幌U-18	眞鍋隼虎	名古屋グランパスU-18	
	池谷銀彦	横浜FCユース	根本鼓太郎	東京ヴェルディユース	
	高井幸大	川崎フロンターレU-18	南野遥海	ガンバ大阪ユース	
	矢口駿太郎	ジェフユナイテッド千葉U-18	内野航太郎	横浜F・マリノスユース	
	松長根悠仁	川崎フロンターレU-18	内藤大和	ヴァンフォーレ甲府U-18	
MF	石川晴大	清水エスパルスユース	富永虹七	ヴィッセル神戸U-18	
	西谷亮	東京ヴェルディユース	安藤阿雄依	清水エスパルスユース	

<スケジュール>

10月24日 集合、トレーニング(J-GREEN堺)  
25日 トレーニング(J-GREEN堺)  
26日 練習試合 vs 関西大学選抜(J-GREEN堺)  
27日 トレーニング(J-GREEN堺)  
28日 練習試合 vs 関西大学選抜(J-GREEN堺)、解散

# なでしこジャパン(日本女子代表) 国際親善試合

※68~69ページに関連記事あり

## 【スタッフ】

○監督: 池田太(NCS) ○コーチ: 狩野倫久(NCS/SAGAWA SHIGA FC) ○GKコーチ: 西入俊浩(NCS) ○フィジカルコーチ: 大塚慶輔(NCS)

## <選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	池田咲紀子	三菱重工浦和レッズレディース	MF	成宮唯	INAC神戸レオネッサ
	スタンボー華	大宮アルディージャ VENTUS		隅田凜	マイナビ仙台レディース
	田中桃子	日テレ・東京ヴェルディベレーザ		長谷川唯	ウェストハム・ユナイテッド(ENG)
DF	熊谷紗希	FCバイエルン・ミュンヘン(GER)	FW	小林里歌子	日テレ・東京ヴェルディベレーザ
	三宅史織	INAC神戸レオネッサ		林穂之香	AIKフットボール(SWE)
	乗松瑠華	大宮アルディージャ VENTUS		長野風花	マイナビ仙台レディース
	清水梨紗	日テレ・東京ヴェルディベレーザ		宮澤ひなた	マイナビ仙台レディース
	宮川麻都	日テレ・東京ヴェルディベレーザ		菅澤優衣香	三菱重工浦和レッズレディース
	南萌華	三菱重工浦和レッズレディース		岩淵真奈	アーセナル(ENG)
	宝田沙織	ワシントン・スピリット(USA)		田中美南	INAC神戸レオネッサ
	高橋はな	三菱重工浦和レッズレディース		植木理子	日テレ・東京ヴェルディベレーザ
	MF	猶本光		三菱重工浦和レッズレディース	

## <スケジュール>

11月22日 集合、成田発、アムステルダム着  
23日 トレーニング  
24日 トレーニング(Yanmar Stadion)  
25日 国際親善試合  
vs アイスランド女子代表(Yanmar Stadion)  
26~28日 トレーニング  
29日 国際親善試合  
vs オランダ女子代表(Cars Jeans Stadion)  
30日 アムステルダム発  
12月1日 成田着、解散

GER: ドイツ, USA: アメリカ, ENG: イングランド,  
SWE: スウェーデン

## 国際親善試合

なでしこジャパン 0 (前半0-0 後半0-0) 2 アイスランド女子代表

●2021年11月25日 19:40 ●Yanmar Stadion ●試合時間:90分 ●審判員:[主審] ショーナ・シュクルタ [副審] フランカ・オーバートム/ニコレ・バッカー [第4の審判員] マリス・カ・オーバートム ●マッチコミッション: 飯塚琢人 ●観衆:0人

日本(監督:池田太):[GK](1)池田咲紀子 [DF](2)清水梨紗(3)南萌華(5)三宅史織(22) 宝田沙織<→90+2'(20)高橋はな> [MF](8)猶本光<→57'(7)隅田凜>(13)小林里歌子<→77'(11)田中美南>(14)長谷川唯<→77'(16)林穂之香>(15)長野風花(17) 成宮唯<→57'(23)宮澤ひなた> [FW](19)植木理子

控え:(18)スタンボー華(21)田中桃子(4)熊谷紗希(6)宮川麻都(9)菅澤優衣香(10)岩淵真奈(12)乗松瑠華

アイスランド(監督:ソルステン・ハルドルソン):[GK](12)セシリア・ラン・ナルズドッティル [DF](2)シフ・アトラドッティル(3)エリサ・ビザルスドッティル(4)グロディス・ペルラ・ピゴスドッティル(6) インギビョルグ・シングダルドッティル<→79'(19)ナターシャ・アナシ> [MF](5)ゲンシルドゥル・イルサ・ヨンスドッティル(8)カロリナ・レア・ビルヒャルムスドッティル<→63'(7)カリタストマスドッティル>(15)アレクサンドラ・ヨハンスドッティル<→HT(10)ダグニー・プリヤルズドッティル>(17) アグラ・マリヤ・アルベルツドッティル<→63'(14)セルマ・ソル・マグヌスドッティル> [FW](21) スパバ・ロス・グズムズドッティル<→63'(9)ベルグリン・ビョルグ・ソルバルズドッティル>(23) スペインディス・ジェーン・ヨンスドッティル<→86'(11)ハルベラ・グズニー・ギスラドッティル>

控え:(1)サンドラ・シグルザルドッティル(13)テリマ・イバルズドッティル(16)アマンダ・アンドラドッティル(18) グズルン・アルナルドッティル(20)グズニー・アルナドッティル(22)イダ・マリ・ヘルマンスドッティル

得点 [アイスランド]14' スペインディス・ジェーン・ヨンスドッティル(0-1)、71' ベルグリン・ビョルグ・ソルバルズドッティル(0-2)

警告 [日本]18' 清水梨紗

## 国際親善試合

なでしこジャパン 0 (前半0-0 後半0-0) 0 オランダ女子代表

●2021年11月29日 19:40 ●Cars Jeans Stadion ●試合時間:90分 ●審判員:[主審] Riem Hussein(GER) [副審] Vanessa Arit(GER) / Christina Biehl(GER) [第4の審判員] Shona Shukrula(NED)

日本(監督:池田太):[GK](21)田中桃子 [DF](2)清水梨紗(3)南萌華(4)熊谷紗希(6)宮川麻都<→66'(12)乗松瑠華> [MF](14)長谷川唯(15)長野風花<→66'(7)隅田凜>(16)林穂之香(23)宮澤ひなた [FW](9)菅澤優衣香<→83'(13)小林里歌子>(11)田中美南<→39'(10)岩淵真奈>

控え:(1)池田咲紀子(18)スタンボー華(5)三宅史織(8)猶本光(17)成宮唯(19)植木理子(20)高橋はな(22)宝田沙織

オランダ(監督:Mark Parsons):[GK](23)Barbara Lorscheyd [DF](2)Janou Levels <→61'(4)Merel van Dongen>(3)Caitlin Dijkstra(5)Kika van Es<→HT(14)Lisa Doorn>(20)Samantha van Diemen [MF](11)Inessa Kaagman<→61'(8)Sherida Spitse> [FW](6)Jill Baijings(7)Shanice van de Sanden<→61'(21)Lineth Beerensteyn>(9)Joëlle Smits(10)Katja Snoeijls<→HT(12)Victoria Pelova>(13)Renate Jansen<→76'(18)Marisa Ouislagers>

控え:(1)Sari van Veenendaal(16)Daphne van Domselaar(15)Nadine Noordam(17)Romee Leuchter(19)Fenna Kalma(22)Eva van Deursen

警告 [オランダ]48' Janou Levels

## U-19日本女子代表候補 トレーニングキャンプ(Jヴィレッジ)

## 【スタッフ】

○監督: 池田太(NCS) ○コーチ: 宮本ともみ(NCS/高田学苑高田短期大学) ○GKコーチ: 西入俊浩(NCS) ○フィジカルコーチ: 大塚慶輔(NCS/フィジカルフィットネスプロジェクト)

## <選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	石田心菜	早稲田大学	DF	小山史乃観	セレッソ大阪堺レディース	FW	山本柚月	日テレ・東京ヴェルディベレーザ
	福田史織	三菱重工浦和レッズレディース		伊藤めぐみ	AC長野パルセイロ・レディース		西尾葉音	三菱重工浦和レッズレディースユース
	服部茜沙香	JFAアカデミー福島		渡部麗	日体大FIELDS横浜		藤野あおば	十文字高校
	野田にな	日テレ・東京ヴェルディメニナ		吉田莉胡	ちふれASエルフェン埼玉		土方麻那	日テレ・東京ヴェルディメニナ
	西野朱音	マイナビ仙台レディース		岩崎心南	日テレ・東京ヴェルディベレーザ			
DF	長江伊吹	INAC神戸レオネッサ	丹野凜々香	三菱重工浦和レッズレディースユース	<スケジュール> 11月15日 集合、トレーニング(Jヴィレッジ) 16日 トレーニング(Jヴィレッジ) 17日 トレーニングマッチ(Jヴィレッジ) 18日 トレーニング(Jヴィレッジ)、解散			
	城和怜奈	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	荻久保優里	セレッソ大阪堺レディース				
	田畑晴菜	セレッソ大阪堺レディース	松窪真心	JFAアカデミー福島				
	杉澤海星	大宮アルディージャ VENTUS	大山愛笑	日テレ・東京ヴェルディメニナ				
	石川璃音	JFAアカデミー福島	角田楓佳	三菱重工浦和レッズレディースユース				
	佐々木里緒	JFAアカデミー福島	島田芽依	三菱重工浦和レッズレディース				

## U-16日本女子代表候補 トレーニングキャンプ(Jヴィレッジ)

## 【スタッフ】

○監督: 狩野倫久(NCS/SAGAWA SHIGA FC) ○コーチ: 有町紗央里(NCS/マイナビ仙台レディース) ○GKコーチ: 井嶋正樹(NCS) ○フィジカルコーチ: 大塚慶輔(JFAフィジカルフィットネスプロジェクト)、山田廉(びわこ成蹊スポーツ大学)

## <選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	宜野座令愛	大阪学芸高校	DF	楠さやみ	セレッソ大阪堺ガールズ			
	ウルフジェンカ花実	日テレ・東京ヴェルディメニナ		池上聖七	日テレ・東京ヴェルディメニナ			
	打桐星空	大商学園高校		岡村來佳	三菱重工浦和レッズレディースユース			

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
DF	白垣うの	セレッソ大阪堺レディース	MF	松永未夢	日テレ・東京ヴェルディメニナ
	清水優風	三菱重工浦和レッズレディースユース		藤崎智子	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
	吉田琉衣	セレッソ大阪堺ガールズ		眞城美春	日テレ・東京ヴェルディメニナ
MF	藤澤和心	愛媛FCレディースMIKAN	FW	久保田真生	藤枝順心高校
	中谷莉奈	セレッソ大阪堺レディース		高岡澤	藤枝順心高校
	谷川萌々子	JFAアカデミー福島		穂波百花	日テレ・東京ヴェルディメニナ
	丸井優奈	セレッソ大阪堺ガールズ		柴田睦	ノジマステラ神奈川相模原ドゥーエ
	谷口真由	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18		高橋光莉	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
	今野真帆	三菱重工浦和レッズレディースユース		板村真央	AICシーガル広島レディース
	古賀塔子	JFAアカデミー福島			

<スケジュール>

11月7日 集合、トレーニング (Jヴィレッジ)  
 8~9日 トレーニング (Jヴィレッジ)  
 10日 トレーニング (Jヴィレッジ)、練習試合 (Jヴィレッジ)  
 11日 トレーニング (Jヴィレッジ)  
 12日 トレーニング (Jヴィレッジ)、解散

ビーチサッカー日本代表

Tecnotree Intercontinental Beach Soccer Cup 2021

[スタッフ]

○監督: 茂村羅オズ(NCS/東京ヴェルディ BS) ○コーチ: 田畑輝樹(NCS/ヴィアティン三重BS)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	宜野座寛也	ソーマプライア沖縄	FP	見山龍之介	東京ヴェルディ BS
	河合雄介	東京ヴェルディ BS		松岡吏*	ラソアペーゴ北九州
FP	山内悠誠	東京ヴェルディ BS		伊藤龍之介*※1	ラソアペーゴ北九州
	茂村羅オズ	東京ヴェルディ BS		田中颯*	東京ヴェルディ BS
	奥山正憲	レーヴェ横浜		松尾那緒弥※2	アヴェルダージュ熊本BS
	赤熊卓弥	ラソアペーゴ北九州			
	上里琢文	東京ヴェルディ BS			
	大場崇晃	レーヴェ横浜			

<スケジュール>

10月30日 アラブ首長国連邦 (UAE) 麓  
 10月31日~11月1日 公式トレーニング (Kite Beach)  
 11月2日 Intercontinental Beach Soccer Cup Dubai 2021  
 グループステージ第1戦 vs ビーチサッカーロシア代表 (Kite Beach)  
 3日 グループステージ第2戦 vs ビーチサッカーイラン代表 (Kite Beach)  
 4日 グループステージ第3戦 vs ビーチサッカーパラグアイ代表 (Kite Beach)  
 5日 順位決定戦 vs ビーチサッカー UAE代表 (Kite Beach)  
 6日 順位決定戦 vs ビーチサッカースペイン代表 (Kite Beach)  
 8日 ドバイ発、成田着

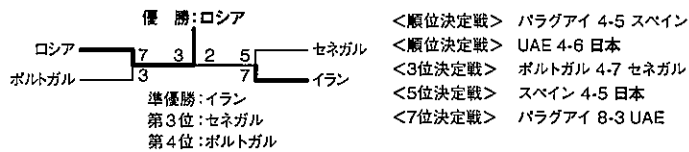
■グループステージ

順位	グループ1	セネガル	ポルトガル	UAE	スペイン	勝点	勝	延勝	PK勝	負	得点	失点	差
1	セネガル	7○4	3▲3 4PK3	7○6	6	2	0	0	1	17	13	4	
2	ポルトガル	4●7	5○3	7○4	6	2	0	0	1	16	14	2	
3	UAE	3▲3 5PK4	3●5	6○4	4	1	0	1	1	12	12	0	
4	スペイン	6●7	4●7	4●6	0	0	0	0	3	14	20	-6	

順位	グループ2	ロシア	イラン	パラグアイ	日本	勝点	勝	延勝	PK勝	負	得点	失点	差
1	ロシア	4○3	8○7	7○6	8	2	1	0	0	19	16	3	
2	イラン	3●4	8○6	6○1	6	2	0	0	1	17	11	6	
3	パラグアイ	7●8	6●8	6○4	2	0	1	0	2	19	20	-1	
4	日本	6●7	1●6	4●6	0	0	0	0	3	11	19	-8	

○:勝ち(勝点3)、●:延長勝ち(勝点2)、▲:PK勝ち(勝点1)、▲:PK負け(勝点0)、●:負け(勝点0)

■ノックアウトステージ



グループステージ第1戦

ビーチサッカー日本代表 6 (第1ピリオド1-3, 第2ピリオド3-1, 第3ピリオド2-2) 7 ビーチサッカーロシア代表  
 延長前半0-1  
 延長後半0-0

●2021年11月2日 18:45 ●Main Stadium ●試合時間:15分×3ピリオド、延長3分

位置	番号	出場	選手名	位置	番号	出場	選手名
GK	1	○	河合雄介	FP	9	△	山内悠誠
FP	6	○	赤熊卓弥	FP	11	△	奥山正憲
FP	7	○	大場崇晃	FP	13	※	松岡吏
FP	8	○	松尾那緒弥	FP	14	※	上里琢文
FP	10	○	茂村羅オズ	FP	15	※	見山龍之介
GK	12	※	宜野座寛也				
FP	2	※	田中颯	監督			茂村羅オズ

[日本] 4', 22' 奥山正憲(1-2) (3-3)、16', 23' 山内悠誠(2-3) (4-4)、26', 34' 茂村羅オズ(5-4) (6-5)

○:先発、△:交代出場、※:交代出場不明

グループステージ第2戦

ビーチサッカー日本代表 1 (第1ピリオド0-0, 第2ピリオド0-2, 第3ピリオド1-4) 6 ビーチサッカーイラン代表

●2021年11月3日 20:00 ●Main Stadium ●試合時間:15分×3ピリオド

位置	番号	出場	選手名	位置	番号	出場	選手名
GK	1	○	河合雄介	FP	8	※	松尾那緒弥
FP	6	○	赤熊卓弥	FP	9	※	山内悠誠
FP	7	○	大場崇晃	FP	11	△	奥山正憲
FP	14	○	茂村羅オズ	FP	13	※	松岡吏
FP	10	○	上里琢文	FP	15	※	見山龍之介
GK	12	※	宜野座寛也				
FP	2	※	田中颯	監督			茂村羅オズ

[日本] 33' 奥山正憲(1-4)

○:先発、△:交代出場、※:交代出場不明

グループステージ第3戦

ビーチサッカー日本代表 4 (第1ピリオド3-3, 第2ピリオド0-1, 第3ピリオド1-0) 6 ビーチサッカーパラグアイ代表  
 延長前半0-2  
 延長後半0-0

●2021年11月4日 16:00 ●Main Stadium ●試合時間:15分×3ピリオド、延長3分

位置	番号	出場	選手名	位置	番号	出場	選手名
GK	1	○	河合雄介	FP	8	※	松尾那緒弥
FP	2	○	田中颯	FP	9	△	山内悠誠
FP	7	○	大場崇晃	FP	11	※	奥山正憲
FP	10	○	茂村羅オズ	FP	14	※	上里琢文
FP	13	○	松岡吏	FP	15	※	見山龍之介
GK	12	※	宜野座寛也				
FP	6	△	赤熊卓弥	監督			茂村羅オズ

[日本] 3' 赤熊卓弥(1-0)、6' 茂村羅オズ(2-1)、12' 山内悠誠(3-3)、33' 大場崇晃(4-4)

○:先発、△:交代出場、※:交代出場不明

**順位決定戦**  
**ビーチサッカー**  
**日本代表** **6** (第1ピリオド2-0、第2ピリオド2-2、第3ピリオド2-2) **4** **ビーチサッカー**  
**UAE代表**

●2021年11月5日 17:15 ●Main Stadium ●試合時間:15分×3ピリオド

位置	番号	出場	選手名	位置	番号	出場	選手名
GK	12	○	宜野座寛也	FP	6	△	赤熊卓弥
FP	8	○	松尾那緒弥	FP	7	△	大場崇晃
FP	10	○	茂怜羅オズ	FP	9	※	山内悠誠
FP	11	○	奥山正憲	FP	13	△	松岡吏
FP	15	○	見山龍之介	FP	14	※	上里琢文
GK	1	※	河合雄介				
FP	2	△	田中颯	監督			茂怜羅オズ

得点 [日本]2' 奥山正憲(1-0)、12'、35' 大場崇晃(2-0)(6-4)、26' 松岡吏(3-2)、30' 赤熊卓弥(4-2)、35' 田中颯(5-4)

○:先発、△:交代出場、※:交代出場不明

**5位決定戦**  
**ビーチサッカー**  
**日本代表** **5** (第1ピリオド2-1、第2ピリオド1-0、第3ピリオド2-3) **4** **ビーチサッカー**  
**スペイン代表**

●2021年11月6日 16:15 ●Main Stadium ●試合時間:15分×3ピリオド

位置	番号	出場	選手名	位置	番号	出場	選手名
GK	12	○	宜野座寛也	FP	6	※	赤熊卓弥
FP	7	○	大場崇晃	FP	9	※	山内悠誠
FP	8	○	松尾那緒弥	FP	13	※	松岡吏
FP	10	○	茂怜羅オズ	FP	14	※	上里琢文
FP	11	○	奥山正憲	FP	15	※	見山龍之介
GK	1	※	河合雄介				
FP	2	※	田中颯	監督			茂怜羅オズ

得点 [日本]10'、13'、34' 茂怜羅オズ(1-1)(3-1)(5-2)、11' 奥山正憲(2-1)、32' 松尾那緒弥(4-1)

○:先発、△:交代出場、※:交代出場不明

**JFA エリートプログラムU-13フューチャー**  
**トレーニングキャンプ(静岡)**

**[スタッフ]**

○監督: 西川誠太(JC) ○コーチ: 手倉森浩(JC)、武田真和(大津市立田上中学校) ○GKコーチ: 田口哲雄(JC)

**<選手>**

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	松浦大翔	アルビレックス新潟U-15	FP	越智亮介	サンフレッチェ広島ジュニアユース
	千田和紀	t.a.football club		徳差優利	北海道コンサドーレ札幌U-15
FP	渡見太晴	FC東京U-15むさし		杉山琥二郎	清水エスパルスジュニアユース
	児玉一成	京都サンガFC U-15		尾関悠太	川崎フロンターレU-15
	藤澤琥珀	那賀川中学校		小林正史	カマタマーレ讃岐U-15
	矢吹英大	ファジアーノ岡山U-15		川村凜空	MIRUMAE・FC・U-15
	松下歩夢	JFAアカデミー福島U-15 EAST		渡辺莉太	東京ヴェルディジュニアユース
	川口心大朗	ブレイズ熊本		橋本聖七	ガンバ大阪ジュニアユース
	小川直澄	浦和レッズジュニアユース		多田蒼生	北海道コンサドーレ札幌U-15
	清水優咲	松本山雅FC U-15		恒吉良真	名古屋グランパスU-15
	中瀬望亜	セレッソ大阪U-15		米湊勇弥	サガン鳥栖U-15

**<スケジュール>**

10月27日 集合、トレーニング(時之栖)  
 28日 トレーニング(時之栖)  
 29日 紅白戦(時之栖)、ミーティング  
 30日 トレーニング(時之栖)  
 31日 練習試合(時之栖)、解散

**JFA ストライカーキャンプ(静岡)**

**[スタッフ]**

○コーチ: 城和憲(JC)、手倉森浩(JFA)、望月一仁(JC)、矢野隼人(JC/刈谷JY) ○GKコーチ: 加藤好男(JFAアカデミー福島)  
 ○フィジカルコーチ: 菅野淳(JFA フィジカルフィットネスプロジェクト) ○ゲストコーチ: 大黒将志(ガンバ大阪アカデミー ストライカーコーチ)、前田遼一(ジュビロ磐田U-18コーチ)

**<選手>**

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
FP	平家璃久斗	大宮アルディージャ U15	FP	佐藤大起	北海道コンサドーレ札幌U-15札幌
	土井川遥人	サンフレッチェ広島ジュニアユース		伊藤琉斗	ベガルタ仙台ジュニアユース
	豊島亮太郎	アルビレックス新潟U-15		長村嶺介	徳島ヴォルティスジュニアユース
	小山海音	横浜F・マリノスジュニアユース		阿部亮馬	秋田県にかほ市立仁賀保中学校サッカー部
	宮城丸	京都サンガF.C. U-15		平松大雅	AS.ラランジャ豊川U15
	塚原俊弥	刈谷JY		関口航汰	東急SレイエスFC U-15
	阿見尚哉	ガンバ大阪ジュニアユース		久永虎次郎	FCアラーラ鹿児島U-15
	下田優太	サガン鳥栖U-15		青木杏清	愛媛FC U-15

**<スケジュール>**

11月5日 集合、トレーニング(時之栖)  
 6日 トレーニング(時之栖)  
 7日 トレーニング(時之栖)、解散

**JFA ナショナルGKキャンプ(Jヴィレッジ)**

**[スタッフ]**

○コーチ: 川俣則幸(JC)、前田信弘(JC)、高橋範夫(NCS)、川口能活(NCS)、植崎正剛(JC/名古屋グランパス)、阿部陽輔(JC/JFAアカデミー福島U-15EAST)、岡本理生(JC/北陸高校)

**<選手>**

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	中嶋陸斗	MIRUMAE・FC・U-15	GK	堀川昇栄	カタール・富山U-15
	田中皓暉	サガン鳥栖U-15		後藤康介	徳島FCリベリモ
	野口依吹	大宮アルディージャ U15		山田瑛太	横浜F・マリノスジュニアユース
	菊田修斗	ジェファットボールクラブ U-15		津木勇聖	京都サンガF.C. U-15
	唯野鶴真	北海道コンサドーレ札幌 U-15札幌		吉川怜汰	ヴィッセル神戸U-15
	橋本悠	黒潮町立大方中学校		加藤直太郎	名古屋グランパスU-15
	イシボウ拳	セレッソ大阪U-15		来海良宣	サンフレッチェくびきフットボールクラブ
	亀田大河	ヴィッセル神戸U-15		川本旺汰	横浜F・マリノスジュニアユース追浜
	荒木琉偉	ガンバ大阪ジュニアユース		内田康楠	清水エスパルスジュニアユース
	吉岡幹太	ジュビロ磐田U-15		新井啓一郎	JFAアカデミー福島U-15EAST

**<スケジュール>**

11月12日 集合、トレーニング(Jヴィレッジ)  
 13日 トレーニング(Jヴィレッジ)  
 14日 トレーニング(Jヴィレッジ)、解散



# 2021ナショナルトレセンU-14後期 ※2021年前期は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

概要 個の育成の充実を図るトレセンの役割は高いレベルの指導・環境と選手同士の刺激による活動から得たものを自チームに還元していくことや指導者へのJFAの発信機会として重要度を増している。

そこで、選手育成・強化の観点から、より多くの選手に質の高いトレーニング機会を与えることを目的に今年度は感染予防の観点から2箇所に分散して開催する。

目的 日本サッカーの強化・発展のため、優秀な選手の発掘・育成を図る  
全国の選手・指導者の交流を図る  
選手・指導者のレベルアップを図る

トレンセン(トレーニングセンター)制度の充実・発展を図る

主催 公益財団法人日本サッカー協会

協賛 JFA Youth & Development Official Partner: トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社モルテン

指導 公益財団法人日本サッカー協会 技術委員会  
(技術委員・ナショナルコーチングスタッフ・JFAコーチ)  
地域トレセンU-14 指導スタッフ

期間 2021年11月18日(木)～11月21日(日) 3泊4日

参加地域/開催場所

会場①(会場/宿泊)Jヴィレッジ

会場②(会場)高円宮記念JFA夢フィールド

(宿泊)ホテルグリーンタワー幕張

選手参加資格

①本協会加盟登録選手(外国籍選手でもその選手の参加が他の選手にプラスと考えられる場合、参加を承認する)

②2007(平成19)年1月1日以降出生の者

③日常的にトレセンで活動している者

※その他、スケジュール等の詳細についてはJFA公式ウェブサイト参照

### 【コーチ】

地域	役職	名前	所属
北海道	コーチ	白崎健策	ASC北海道
東北	コーチ	千田健二	宮城県トレセン
東北	コーチ	鈴木真揚	A.C. Evulitvo
関東	コーチ	熊谷健太郎	横須賀市立神明中学校
関東	コーチ	河村聡史	アントラーズノルテJY
北信越	コーチ	加納靖典	JOGANJ山
東海	コーチ	鈴木理記	Gloubs FC
関西	コーチ	辻翔太	MIOびわこ滋賀U15
中国	コーチ	行友健太郎	ブラシアFC
中国	コーチ	佐々木篤史	作陽高校
四国	コーチ	辻田純	カマタマーレ讃岐
九州	コーチ	堀川桂司	熊本県立岱志高校

### 【選手】

地域	Pos.	名前	都道府県	所属
北海道	GK	数馬田舜	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	川崎幹大	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	小松隼士	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	佐々木太一	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	牧野岳	北海道	アンフィニMAKIFC
北海道	FP	加藤竜之介	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	窪田圭吾	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	GK	山神侑	北海道	北海道コンサドーレ旭川U-15
北海道	FP	菅原綾太郎	北海道	北海道コンサドーレ室蘭U-15
北海道	FP	猪谷稜大	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	田村歩夢	北海道	SSS
北海道	FP	佐々木瑛汰	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	白髭瑛仁	北海道	北海道コンサドーレ札幌U-15
北海道	FP	吉田真信	北海道	FC DENOVA札幌
東北	GK	佐々木龍登	宮城県	ベガルタ仙台ジュニアユース
東北	FP	葛西夢吹	宮城県	リベロ津軽SC U-15
東北	FP	児玉葵詩	岩手県	MIRUMAE FOOTBALL CLUB U-15
東北	FP	似内久穂	宮城県	ベガルタ仙台ジュニアユース
東北	FP	武石大空	秋田県	スgolティア秋田
東北	FP	阿部亮馬	秋田県	仁賀保中学校
東北	FP	小濱栄歩	福島県	FC Regate U-15
東北	GK	渡辺潤一	福島県	いわきFC U-15
東北	FP	山口旺恩	青森県	ヴァンラーレ八戸U-15
東北	FP	森内凜	青森県	リベロ津軽SC U-15
東北	FP	村上爽	岩手県	MIRUMAE FOOTBALL CLUB U-15
東北	FP	永澤将太	秋田県	ブラウブリッツ秋田U-15
東北	FP	中村快生	山形県	ながいユナイテッドFC
東北	FP	岡崎萌暁	福島県	いわきFC U-15
東北	FP	大竹玲	福島県	アカデミー福島EAST
東北	FP	倉部碧希	福島県	アカデミー福島EAST
関東	GK	野口ピント天飛	千葉県	柏レイゾルU-15
関東	GK	有竹拓海	東京都	FC東京U-15深川
関東	FP	大川佑梧	茨城県	鹿島アントラーズジュニアユース
関東	FP	中川天童	茨城県	鹿島アントラーズジュニアユース
関東	FP	佐藤湧斗	茨城県	鹿島アントラーズジュニアユース
関東	FP	山口豪太	埼玉県	FC LAVIDA

地域	Pos.	名前	都道府県	所属
関東	FP	山根且彦	埼玉県	浦和レッズジュニアユース
関東	FP	高倉大翔	埼玉県	浦和レッズジュニアユース
関東	FP	原希優羽	千葉県	ジェフユナイテッド市原・千葉
関東	FP	桑野潤空	千葉県	クラブ・ドラゴンズ柏
関東	FP	近藤絆生	千葉県	ジェフユナイテッド市原・千葉
関東	FP	長澤然	千葉県	柏レイゾルU-15
関東	FP	廣岡瑛太	千葉県	柏レイゾルU-15
関東	FP	高橋裕哉	東京都	FC東京U-15深川
関東	FP	長尾星吾	東京都	FC町田ゼルビアジュニアユース
関東	FP	谷ディヴィン・チネドゥ	東京都	FC東京U-15むさし
関東	FP	坂井偉大	東京都	東京ヴェルディジュニアユース
関東	FP	中屋光廉	東京都	FC東京U-15深川
関東	FP	菅原悠太	東京都	FC東京U-15むさし
関東	FP	柏村涼太	神奈川県	川崎フロンターレU-15
関東	FP	林駿佑	神奈川県	川崎フロンターレU-15
関東	FP	渡辺周	神奈川県	湘南ベルマーレU15
関東	GK	山岸克斗	神奈川県	横浜FCジュニアユース
関東	GK	新堀憲太	東京都	FC東京U-15むさし
関東	FP	小枝源馬	茨城県	鹿島アントラーズジュニアユース
関東	FP	小林瑛	茨城県	鹿島アントラーズノルテ
関東	FP	田中翔真	埼玉県	大宮アルディージャU15
関東	FP	吉沢奏	埼玉県	浦和レッズジュニアユース
関東	FP	根津優羽	埼玉県	FC LAVIDA
関東	FP	姫野誠	千葉県	ジェフユナイテッド市原・千葉
関東	FP	加茂結斗	千葉県	柏レイゾルU-15
関東	FP	齋藤敬太	千葉県	ジェフユナイテッド市原・千葉
関東	FP	渡邊春来	東京都	東京ヴェルディジュニアユース
関東	FP	木嶋翔海	東京都	FC東京U-15むさし
関東	FP	草間信	東京都	東京ヴェルディジュニアユース
関東	FP	畑中大神	東京都	三菱養和SC調布ジュニアユース
関東	FP	友松祐貴	東京都	FC東京U-15深川
関東	FP	田中理久	東京都	FC東京U-15深川
関東	FP	牧田朝陽	東京都	FC町田ゼルビアジュニアユース
関東	FP	米川洋輝	東京都	FC町田ゼルビアジュニアユース
関東	FP	平野芳緑	神奈川県	横浜F・マリノスジュニアユース
関東	FP	奥田悠真	神奈川県	川崎フロンターレU-15
関東	FP	松村秀明	神奈川県	湘南ベルマーレU15
関東	FP	藤井翔大	神奈川県	横浜F・マリノスジュニアユース
関東	FP	田中陽輝	神奈川県	横浜F・マリノスジュニアユース
北信越	GK	海見航太郎	富山県	カターレ富山
北信越	FP	宮坂晋珠	長野県	松本山雅FC
北信越	FP	安田陽平	新潟県	アルビレックス新潟
北信越	FP	小林優大	新潟県	上越春BFC
北信越	FP	石山未来	新潟県	アルビレックス新潟
北信越	FP	長谷川岳久	富山県	カターレ富山
北信越	FP	平良快星	石川県	ツエーゲン金沢
北信越	FP	西道隆敏	石川県	ツエーゲン金沢
北信越	GK	竹内悠真	長野県	松本山雅FC
北信越	FP	加藤孝一朗	長野県	松本山雅FC
北信越	FP	米山悠太	長野県	松本山雅FC
北信越	FP	神田農仁	新潟県	アルビレックス新潟
北信越	FP	黒田和希	富山県	カターレ富山
北信越	FP	辰田遼太	富山県	カターレ富山
北信越	FP	長田圭人	石川県	ツエーゲン金沢
北信越	FP	室屋吉幸	石川県	ツエーゲン金沢
北信越	FP	山下蒼介	福井県	坂井フェニックス
東海	GK	大石楓樹	静岡県	清水エスパルスジュニアユース
東海	GK	萩裕陽	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	FP	甲斐佑憲	静岡県	ジュビロ磐田U-15
東海	FP	高澤海志	静岡県	ジュビロ磐田U-15
東海	FP	山田悠太	静岡県	清水エスパルスジュニアユース
東海	FP	岩尾健琉	静岡県	アスクルラ沼津U-15
東海	FP	斎藤渙生	静岡県	JFAアカデミー福島west
東海	FP	小澤有梧	静岡県	ジュビロ磐田U-15
東海	FP	寺田理宇	静岡県	清水エスパルスジュニアユース
東海	FP	菊池武蔵ジョセフ	静岡県	清水エスパルスジュニアユース
東海	FP	野中祐吾	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	FP	鶴田周	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	FP	濱田大輝	愛知県	FC.フェルボール愛知
東海	FP	神田龍	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	FP	土居佑至	三重県	H&AFCジュニアユース
東海	FP	田中梨翫	岐阜県	若狭長良FC
東海	GK	宮本煌大	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	GK	近藤謙	愛知県	FC.フェルボール愛知
東海	FP	古橋颯伍	静岡県	浜松開誠館中学校
東海	FP	村松亮	静岡県	清水エスパルスジュニアユース
東海	FP	望月蒼太	静岡県	清水エスパルスジュニアユース
東海	FP	坂本雄哉	静岡県	ジュビロ磐田U-15
東海	FP	伊藤心音	静岡県	ジュビロ磐田U-15
東海	FP	赤沼想斗	愛知県	刈谷JY
東海	FP	大澤菱	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	FP	千賀翔太郎	愛知県	名古屋グランパスU-15
東海	FP	浦川慶	愛知県	AS.ラランジャ豊川U15
東海	FP	川上尚馬	岐阜県	翼SCレインボー垂井
関西	GK	加藤翼馨	大阪府	セレッソ大阪西U-15
関西	GK	小川悠希	大阪府	長野FC
関西	FP	宮城丸	京都府	京都サンガF.C.U-15

地域	Pos.	名前	都道府県	所属
関西	FP	昌山勇	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	FP	尾根碧斗	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	FP	関谷巧	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	FP	島佑成	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	中島悠吾	大阪府	ガンバ大阪JrY
関西	FP	伏見咲永	大阪府	セレッソ大阪U-15
関西	FP	武久宏斗	大阪府	ガンバ大阪JrY
関西	FP	北田優心	大阪府	ガンバ大阪JrY
関西	FP	菅野泰生	大阪府	ガンバ大阪JrY
関西	FP	山本世樹	大阪府	セレッソ大阪西U-15
関西	FP	升田真実	大阪府	セレッソ大阪西U-15
関西	FP	西川亜郁	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	濱崎健斗	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	藤本陸玖	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	森分圭吾	兵庫県	ヴィッセル神戸伊丹U-15
関西	GK	麻生太郎	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	GK	中谷颯	大阪府	セレッソ大阪U-15
関西	FP	川端彪英	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	FP	橋本龍英	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	FP	古庄隆太	京都府	京都サンガF.C.U-15
関西	FP	坂元佑綺	大阪府	セレッソ大阪西U-15
関西	FP	塩尻哲平	大阪府	セレッソ大阪西U-15
関西	FP	横井佑弥	大阪府	ガンバ大阪JrY
関西	FP	田川英知	大阪府	セレッソ大阪U-15
関西	FP	手嶋蒼介	大阪府	セレッソ大阪U-15
関西	FP	安井司	大阪府	ガンバ大阪JrY
関西	FP	大島鉄平	大阪府	セレッソ大阪U-15
関西	FP	瀬口大翔	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	前田凱吏	兵庫県	ヴィッセル神戸伊丹U-15
関西	FP	大影倅一郎	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	山田修大	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
関西	FP	上本佳生	兵庫県	ヴィッセル神戸U-15
中国	GK	水田優誠	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	栗原貴志	島根県	サンフレッチェくにごきFC
中国	FP	瓶井常葉	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	末宗寛士郎	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	千田遼	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	林詢大	広島県	サンフレッチェ広島FC
中国	FP	宗田栞生	広島県	サンフレッチェ広島FC
中国	FP	古賀竣	山口県	レノファ山口FC
中国	GK	山田真叶	広島県	サンフレッチェ広島FC
中国	FP	恒松暖人	島根県	サンフレッチェくにごきFC
中国	FP	矢田蓮歩	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	矢吹英大	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	松本千太郎	岡山県	ファジアーノ岡山FC
中国	FP	川崎敦史	広島県	サンフレッチェ広島FC
中国	FP	信重亮二郎	広島県	サンフレッチェ広島FC

地域	Pos.	名前	都道府県	所属
中国	FP	原湊士	広島県	サンフレッチェ広島FC
中国	FP	小田朔太郎	山口県	レノファ山口FC
四国	GK	谷琉成	愛媛県	愛媛FC U-15
四国	FP	岡原啓太	香川県	カマタマーレ讃岐U-15
四国	FP	蓮池晃希	香川県	カマタマーレ讃岐U-15
四国	FP	松田翔空	高知県	高知中学校
四国	FP	佐々木順士	愛媛県	FCゼブラ
四国	FP	西岡利功	愛媛県	愛媛FC U-15
四国	FP	鈴木悠希	愛媛県	愛媛FC U-15
四国	GK	山田徠斗	愛媛県	愛媛FC U-15
四国	FP	田中寛祐	香川県	カマタマーレ讃岐U-15
四国	FP	柴田聖士郎	徳島県	徳島FCリベリモ
四国	FP	近藤鉄将	徳島県	徳島ヴォルティスジュニアユース
四国	FP	安藤瑛基	愛媛県	FC今治 U-15
四国	FP	矢野泰聖	愛媛県	愛媛FC U-15
四国	FP	野村充希	高知県	ソレアータ高知
九州	GK	小園泰士郎	熊本県	ロアッソ熊本ジュニアユース人吉
九州	FP	井上雄太	福岡県	アビスパ福岡
九州	FP	小浦拓実	福岡県	アビスパ福岡
九州	FP	山口倫生	福岡県	アビスパ福岡
九州	FP	池田季礼	佐賀県	サガン鳥栖U-15唐津
九州	FP	内田悠斗	長崎県	スニールSC
九州	FP	清水大地郎	長崎県	長崎日大中学校
九州	FP	大濱和心	熊本県	ロアッソ熊本ジュニアユース
九州	FP	宮田翔生	熊本県	ブレイズ熊本
九州	FP	奈須心勇	大分県	大分トリニータU-15
九州	FP	新垣類	宮崎県	アリーバFC
九州	FP	福田瑛大	宮崎県	日章学園中学校
九州	FP	中野陽斗	鹿児島県	神村学園中等部
九州	FP	堀田修吾	鹿児島県	鹿児島ユナイテッドFC
九州	FP	丸山哲新	鹿児島県	鹿児島ユナイテッドFC
九州	GK	久富一寛	佐賀県	サガン鳥栖U-15唐津
九州	FP	大嶋央貴	福岡県	アビスパ福岡
九州	FP	武本匠平	福岡県	アビスパ福岡
九州	FP	竹崎翼	福岡県	アビスパ福岡
九州	FP	原田蓮太郎	佐賀県	サガン鳥栖U-15
九州	FP	坂口晃太郎	佐賀県	サガン鳥栖U-15
九州	FP	大野廉門	佐賀県	サガン鳥栖U-15
九州	FP	金子恋次	長崎県	CAセレスト
九州	FP	村田壮優	長崎県	VFファーレン長崎
九州	FP	増村凌久	熊本県	ロアッソ熊本
九州	FP	児玉亜夢	熊本県	ロアッソ熊本
九州	FP	松浦拓夢	宮崎県	ソレッソ宮崎
九州	FP	伏原利空	鹿児島県	神村学園中等部
九州	FP	奥田敦斗	鹿児島県	神村学園中等部

**JFA エリートプログラム女子U-14トレーニングキャンプ (高円宮記念 JFA 夢フィールド)**

【スタッフ】

○監督: 加藤賢二(JC/JFAアカデミー堺) ○コーチ: 白井貞義(JC) ○GKコーチ: 唐島和義(JC)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	坂田湖琳	FC今治レディースNEXT ※JFAアカデミー今治	FP	熊田姫依	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース	FP	林椿	JFAアカデミー福島
	福田真央	JFAアカデミー福島		原ひばり	JFAアカデミー福島		田中乃々実	AC長野パルセイロ・シュヴェスター
	足立楓	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15		本多桃華	日テレ・東京ヴェルディメニナ		伊藤里保	RESC GIRLS U-15 ※JFAアカデミー堺
FP	渡邊衣織	RESC GIRLS U-15		近藤柚月	NGUラブリッジ名古屋スターチス		森山佳乃	ディオッサ出雲FCユース
	尾辻夏奈	日置シーガルズFC		佐久間莉代	スフィード世田谷FCユース		大野羽愛	高知学園中学校
	釘田桃花	セレッソ大阪堺ガールズU-15		菊地花奈	北海道コンサドーレ旭川U-15		<スケジュール>	
	古田麻子	セレッソ大阪堺ガールズU-15		高鹿沙紀	八戸FOOTBALL CLUBジュニアユース	11月8日	集合、トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)	
	川口歩夢	日テレ・東京ヴェルディメニナ		辻あみる	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース	9~10日	トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)	
	山脇菜花	INAC神戸レゾーロ		津田愛乃音	NGUラブリッジ名古屋スターチス	11日	トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)、解散	

**女子GKキャンプ(Jヴィレッジ)**

【スタッフ】

○GKコーチ: 西入俊浩(JC)、井嶋正樹(JC)、安齋和之(JC/ふたば未来学園高等学校)、監物政希(JC/JFAアカデミー今治) ○フィジカルコーチ: 大塚慶輔(JC)

<選手>

Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属	Pos.	名前	所属
GK	江角彩希	ディオッサ出雲FCユース	GK	福富菜奈	大宮アルディージャ VENTUS U15	GK	湯田さくら	FC Hermanos
	天野衣千花	セレッソ大阪堺ガールズU-15		栗田若菜	NGUラブリッジ名古屋スターチス		<スケジュール>	
	永井愛理	日テレ・東京ヴェルディメニナ		関口明日香	セレッソ大阪堺ガールズU-15	10月15日	集合、トレーニング(Jヴィレッジ)	
	鈴木もか	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース		丹羽なるみ	十文字中学校	16日	トレーニング(Jヴィレッジ)	
	大野菜緒	熊本ユナイテッドSCフローラ		シユ・マカ・アエイ ス・カセディー・バダ	北海道リラ・コンサドーレ	17日	トレーニング(Jヴィレッジ)、解散	
	後藤のぞみ	FC BASARA甲賀レディース		神田瑠加	京都精華学園中学校			
	辛嶋心結	スフィード世田谷FCユース		山田七望	松本山雅FCレディースU-15			
	佐藤璃星	湘南ベルマーレガールズU-15		妹尾咲季	FC茨木ESB			
	福田みのり	NGUラブリッジ名古屋スターチス		田中千結	スフィード世田谷FCユース			
	瀬戸如紗	マイナビ仙台レディースジュニアユース						

# 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2021

本大会は(一財)全国社会人サッカー連盟とJFAの主催で、1次ラウンドは11月12日～14日に岩手県、三鷹県、広島県で、決勝ラウンドは11月24日～11月28日に東京都で開催された。JFAに登録された第1種(準加盟を含む)のチーム、および全国社会人サッカー連盟に登録されたチームに出場資格が与えられ、各地域リーグの代表9チーム、全国社会人サッカー選手権大会の上位3チームの12チームが参加した。

※76ページに関連記事あり

## ■1次ラウンド

順位	グループA	SHIMA	沖縄	福井	藤枝	勝点	勝	引	負	得点	失点	差
1	FC.ISE-SHIMA (輪番枠1/三重県)		0Δ0	2○0	2○0	7	2	1	0	4	0	4
2	沖縄SV (九州/沖縄県)	0Δ0		1Δ1	4○0	5	1	2	0	5	1	4
3	福井ユナイテッドFC (北信越/福井県)	0●2	1Δ1		3○0	4	1	1	1	4	3	1
4	藤枝市役所 (東海/静岡県)	0●2	0●4	0●3		0	0	0	3	0	9	-9

順位	グループC	徳島	浅間	十勝	水島	勝点	勝	引	負	得点	失点	差
1	FC徳島 (四国/徳島県)		2○1	1○0	1Δ1	7	2	1	0	4	2	2
2	アルティスタ浅間 (輪番枠2/長野県)	1●2		0Δ0	3○1	4	1	1	1	4	3	1
3	北海道十勝スカイアース (北海道)	0●1	0Δ0		1Δ1	2	0	2	1	1	2	-1
4	三菱水島FC (中国/岡山県)	1Δ1	1●3	1Δ1		2	0	2	1	3	5	-2

### 【参加選手】

<北海道十勝スカイアース> 監督:長野 豊  
 冴地裕哉・石川タケオ・清水嵩・吉田哲登・内山裕貴・中川洋介・池田結大・志村弘樹・嶋一駿・渡辺滉大・成田憲昭・永坂勇人・工藤竜平・穂嶋也・石山大地・高木俊輝・堀河俊大・喜澤隆太・川元雄太・佐藤昭己・青木瑠唯・田中正也・松尾雄斗・高瀬証・下村司

<コバルトレ女川> 監督:阿部裕二  
 木村船輔・長谷川文雄・野坂浩亮・桑田大幹・酒井隆也・外沢樹・山内晴貴・千葉流星・横山英雄・船木省吾・橋本光景・小川和也・法師人将大・池田幸樹・真口幸太・山元佑哉・遠藤一輝・高橋晃司・今部勇太・奥山泰裕・黒田涼太・野口龍也・竹田そら・吉田圭・人見大地

<Criacao Shinjuku> 監督:成山一郎  
 阿部雄太・岩館直・井筒隆也・恩田雄基・米原祐・千葉丈太郎・小林祐三・瀬川和樹・黄誠秀・川井健吾・須藤岳農・伊勢太一・高橋滉也・伊藤大介・池谷友真・樋口裕平・西山大輝・森村昂太・岡野周太・高橋至暎・大和田歩夢・原田亮・大谷真史・湿美瑛亮・岡本達也

<アルティスタ浅間> 監督:森川達矢  
 田中悠樹・藤森健太・小野関龍成・菊池翔太・木村太貴・玉林睦美・中村魁世・工藤貴大・増尾汰一・森谷実・大槻佳記・岡本裕樹・山下浩也・喜屋武聖矢・大淵貴太・関戸裕希・長野聡・長尾輝・中島澤吾・高見樹幹・橋村龍ジョセフ・小林一希

<福井ユナイテッドFC> 監督:寺崎輝  
 千葉奏汰・リュウ ヌグラハ・恩田巧己・岩田卓也・橋本真人・木村健佑・石川智也・鎌田啓義・起海斗・尾崎瑛一郎・奥直仁・角野翔汰・奥野将平・宮地裕二郎・根来悠太・安川誠人・山口遼・廣岡陸樹・和田広矢・茂木一輝・我那覇和樹・金村賢志郎・野中彪・森永秀紀・賀澤陽友

<藤枝市役所> 監督:松浦寿彰  
 高橋新一・知蔵貴史・田中裕・中島慎吾・田山翔・吉野宏彰・塚田悠史・長澤勇希・杉山琢磨・野中康平・木村海斗・渡辺航平・鈴木侑太・白井悠太郎・村松一樹・小寺将意・森川龍乃介・秋田賢吾・大石元氣・中村龍一郎・友原樹・谷尾隆博・高橋祐樹・中村虎二郎・鈴木蒼太

順位	グループB	京都	Criacao	女川	下関	勝点	勝	引	負	得点	失点	差
1	おこしやす京都AC (関西/京都府)		3○2	1○0	2○0	9	3	0	0	6	2	4
2	Criacao Shinjuku (関東/東京都)	2●3		2○1	4○1	6	2	0	1	8	5	3
3	コバルトレ女川 (東北/宮城県)	0●1	1●2		1○0	3	1	0	2	2	3	-1
4	FCバレイソ下関 (輪番枠3/山口県)	0●2	1●4	0●1		0	0	0	3	1	7	-6

## ■決勝ラウンド

順位	決勝ラウンド	Criacao	SHIMA	京都	徳島	勝点	勝	引	負	得点	失点	差
1	Criacao Shinjuku (グループ2位の成績上位/東京都)		0Δ0	1○0	2○1	7	2	1	0	3	1	2
2	FC.ISE-SHIMA (グループA1位/三重県)	0Δ0		0Δ0	1○0	5	1	2	0	1	0	1
3	おこしやす京都AC (グループB1位/京都府)	0●1	0Δ0		2○0	4	1	1	1	2	1	1
4	FC徳島 (グループC1位/徳島県)	1●2	0●1	0●2		0	0	0	3	1	5	-4

○勝ち(勝点3)、△引き分け(勝点1)、●負け(勝点0)

<FC.ISE-SHIMA> 監督:小倉隆史  
 増田将・八代空良・李在根・中濱颯斗・堀田真希・中田永一・倉田樹・及川拓哉・大岡剛己・谷口カヲ・森優也・片田伸・仲野哲矢・白石直人・森柴二志・山田敦也・梅田至・上松幹・馬場洋・杉山ピラル正将・福家暹太郎・真野直紀・西口亮城・飯嶋隼人・石崎征

<おこしやす京都AC> 監督:瀧原直彬  
 真田幸太・本吉勇貴・萩原大河・大原彰輝・榎本潤大・戸田拓海・西村洋平・瓜生結大・按田頼・小久保政人・尾本敬・清川流石・清水良平・平石直人・稲垣雄太・真名航世・高橋康平・石津快・守屋謙人・伊brahim・原一樹・林祥太・後藤大輔・青戸翔・堤聖司

<三菱水島FC> 監督:菅慎  
 花房武瑠・滝裕徳・西本圭斗・安田拓馬・内田健太郎・嶋海達也・山部晃・中矢裕貴・秋守蓮・前原辰徳・森迫良太・宮澤龍二・鶴丸貴之・中川知也・藤井大翔・水野僚太郎・岸本瓜・河面龍征・山村天侍・齋藤和磨・山本孝志・高瀬翔太・原田顕介・岡本典也・石川隆矢

<FCバレイソ下関> 監督:福原康太  
 畑原翔希・廣永泰士・八田裕平・田辺一岐・吉沢薫太郎・沖田康佑・鶴丸和幸・岩本雄喜・野田海晏・安片政人・山重拓人・孫正倫・林慎太郎・無津呂武瑠・石川健太・猪本直家・田原伊織・榎田圭吾・塩崎謙人・橋木勇弥・黒木海音・齋出優斗・米澤康太・山城允昂・西田憲訪朗

<FC徳島> 監督:阿部貴也  
 小坂楓・荻野賢次郎・福島凌・橋本真太郎・里出怜央・秋月駿作・石川雅博・巽拓也・須ノ又諭・南野心・奥村南斗・松本圭介・本山遊大・西川諒祐・久保田蓮・操希翔・濱口竜磨・石原怜・中尾慶心・下田康太・藤山雄生・山口愛騎・茶谷裕・中田剛尊・中林一樹

<沖縄SV> 監督:高原直泰  
 花田カ・井坂健太・村田怜穂・伊藤研太・岡根直哉・藤澤典隆・安藤正俊・杉山颯汰・鶴飼亮多・関泰輔・西澤宗也・秋本和希・藤池翼・高柳一誠・吉田悠人・森園貴仁・荒井秀貴・高原直泰・赤木直人・和田健太郎・大城佑斗・北野智賢・内山弦太・東海林佑飛・岡本奈也

# JFA 第9回全日本O-40サッカー大会

JFAが主催する本大会は、1982年4月1日以前生まれの2021年度JFA登録選手によって構成されたチームに参加資格が与えられた。今大会は、11月6日～8日に16チームが参加して、静岡県藤枝市で開催された。

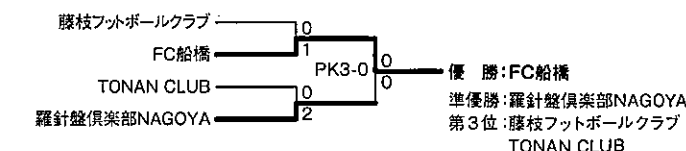
※大会レポートは、14ページに掲載

## ■1次ラウンド

順位	グループA	藤枝	東京	豊ヶ峯	福島	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	藤枝フットボールクラブ (開催地/静岡県)		1Δ1	2○1	4○0	7	2	1	0	7	2	5
2	レアル東京40 (関東2)	1Δ1		1○0	2○0	7	2	1	0	4	1	3
3	星ヶ峯フットボールクラブ (九州/鹿児島)	1●2	0●1		3○0	3	1	0	2	4	3	1
4	プリメロ福島レジェンド (東北/福島)	0●4	0●2	0●3		0	0	0	3	0	9	-9

順位	グループC	TONAN	出雲	札幌	徳島	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	TONAN CLUB (関西1/奈良)		0Δ0	2○0	2○1	7	2	1	0	4	1	3
2	出雲バーバース (中国2/島根)	0Δ0		0●3	2○0	4	1	1	1	2	3	-1
3	オッサンドーレ札幌40 (北海道)	0●2	3○0		1●2	3	1	0	2	4	4	0
4	徳島SFC (四国2/徳島)	1●2	0●2	2○1		3	1	0	2	3	5	-2

## ■決勝ラウンド



順位	グループB	船橋	兵庫	広島	焼肉	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	FC船橋 (関東3)		2○0	2Δ2	1Δ1	5	1	2	0	5	3	2
2	兵庫サッカークラブ (関西2/兵庫)	0●2		1Δ1	5○1	4	1	1	1	6	4	2
3	広島フォーティーズ (中国/広島)	2Δ2	1Δ1		2Δ2	3	0	3	0	5	5	0
4	焼肉こからFC (四国1/高知)	1Δ1	1●5	2Δ2		2	0	2	1	4	8	-4

順位	グループD	羅針盤	安曇野	大分	西武台	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	羅針盤倶楽部 NAGOYA (東海/愛知)		1Δ1	2○1	2○1	7	2	1	0	5	3	2
2	アルファ安曇野シニア (北信越/長野)	1Δ1		1●4	1○0	4	1	1	1	3	5	-2
3	大分OB (九州2/大分)	1●2	4○1		0●2	3	1	0	2	5	5	0
4	FC西武台 (関東1)	1●2	0●1	2○0		3	1	0	2	3	3	0

○勝ち(勝点3)、△引き分け(勝点1)、●負け(勝点0)

### 【参加選手】

<オッサンドーレ札幌40> 監督:桂田直和  
 東京・飯塚俊・福垣幸裕・瀬戸貴裕・東拓巳・田中雅美・千葉浩二・松浦公則・木村太一・納谷竜平・田中成人・豊澤孝樹・中山真輔・大場尚・鈴木健也・杉本亮・山中健樹・貞安雅昭・高橋俊介・池田智之・桂田直和・丸尾太陽・野宮正祐樹

<FCプレミアロ福島レジェンド> 監督:原竹博  
吉田和之・佐々木秀樹・菅川健志・富田祐二・高野剛・皆井武史・佐藤亘・磯部安伸・対馬雄一・  
吉田寛・高柴有一・花田敏・菅江尚樹・三浦昌樹・田村直由樹・行之内圭介・鈴木茂雄・飯岡賢・  
栃久保仁・竹之内貞夫・阿部広行・渡邊幹夫・芳賀祐亮・近田博昭・本田直樹

<FC.西武台> 監督:樋田祐造  
樋田祐造・小山内寿裕・深津祐介・工藤雅弘・龜谷孝徳・田嶋章彦・石山淳・田畑昭宏・河合竜二・  
室井慶介・桑川幸司・清水晃・松川博之・会田晃二・佐藤篤史・合田薫弘・齊藤寛道・福富信也・  
竹下邦彦・水橋直樹・恵比須哲也・岸和宏・黒倉健治・内川朋也・木場田将

<FC船橋> 監督:三橋秀樹  
三原文明・小倉峻博・阿部和巳・永木勲・末水満男・田村道明・長沼彰太・石原泰彦・野中清一・  
森谷耕一・篠原陽介・久保田司郎・西村元樹・永瀬数馬・池端恵一朗・菊地康幸・加瀬剛・吉原文晴・  
青木信濃・石山晴之・舘将人・長谷幸人・小泉卓一・今井健司・安倍英郎

<レアル東京40> 監督:和田潤  
木村武弘・正岡久義・田村雄治・田辺洋一・橋本尚樹・安岡聖・田中義浩・今野哲郎・小橋知宜・  
安藤知英・大谷洋道・岡村篤治・河合崇泰・鈴木雄大・荒畑良・小野大輔・前田浩二・片平淳一・  
沼尾勝重・神田亮平・平野敦士・萩野裕三・宅野裕亮・柳原剛志・志銘勝

<アルファ安曇野シニア> 監督:平林英之  
竹内進吾・竹内英明・菊池和貴・榑沼洋治・岩田英樹・倉石武昇・中島宏宗・榎本拓・村田和美知・  
中屋尚・別所智良・高木大輔・松瀬憲紀・清水貴弘・宮下晃広・若林祐造・本木大介・久保田祐介・  
梶村直樹・高田昌幸・兼松直紀・長瀬勝・唐沢幸人・伊藤俊之・野口勝典

<藤枝フットボールクラブ> 監督:杉村友好  
宮城達也・渡辺隆之・松村常一・松尾昌則・黒柳秀俊・山田智紀・荻野耕輔・延田幹佳・石田博之・  
向島雅之・曾根淳史・久保貴裕・田中淑史・牧野直樹・藤田大・原田大治郎・杉山和弘・川添祐介・  
杉山秀徒・斎科友大・吉田英雄・上田昌広・本林俊司・小澤剛・重富充

<羅針針俱樂部 NAGOYA> 監督:折井則之  
小縣昭人・黒柳裕臣・齋谷雄介・内藤洋平・河村洋志・坂田大志郎・吉田篤人・金栄貴・永田秀樹・  
金岡慶・松本修彦・鶴田純志・高木章・斎藤祐輔・鬼頭圭司・瀬川崇史・角岡真樹・深津保人・  
各務利哉・高木繁信・原武浩二・木村順信・大場信史・宮澤太樹・杉浦光

<兵庫サッカークラブ> 監督:柳崎剛  
溝口和義・塩瀬志志・岩田順司・吉田あきひろ・平家正久・松浪亨・高橋昇平・阪本肇裕・大岡裕

岳・三木一磨・山垣武司・陳賢洙・平川潤一・谷口和之・増田宜文・御所由明・祐尾昌和・八木敏夫・  
亀谷谷・山本陽介・岩崎淳・村山浩史・岩田博行・葛和修治・間島敦

<TONAN CLUB> 監督:山下豊  
高島裕政・中村好志・岩本幸一・藤原敏二・新田吾吾・内田哲兵・田中彰・川畑政和・水越潤・  
石原誠・橋垣戸光一・久保井秀昭・中原仁仁・川田浩二・三重野崇・西條公基・濱村聡二・平谷俊介・  
中村聡・田辺和弥・岩本有理・成田順・中井康司・岳藤正尚・川端泰彦

<出雲パーパス> 監督:陰山真宏  
富田敏之・加藤頼太・亀井亮・片寄充・武田篤・高橋健太郎・中島大輔・山形憲治・植田哲也・角芳夫・  
永見泰幸・永田泰教・宇畑祐司・福原忍・清水英・安田竜二・石川由之・原田広司・岡崎恭博・  
岸本直樹・廣澤忍・榎田圭吾・宮城賢太郎・井上博之・大塚健一

<広島フオーティーズ> 監督:中川慎  
横山喬之・寺谷昭信・藤田直樹・狩山龍雄・村上謙・政信博之・上岡義史・山口正夫・船島弘平・  
原田良太郎・西原良一・林真太郎・堀川誓吾・中川慎・大竹謙・奥田雄一郎・西尾清典・宮本和典・  
黒田忠治・小林俊一・中村貞一・藤本悠・船本親信・竹内大造・山口孔三

<徳島SFC> 監督:羽地登志晃  
栗本雅宣・鎌上剛・福川正芳・小山真一郎・大谷祐馬・橋本彰・福島義史・森田潔・阿佐和孝・豊久大輔・  
塩田善夫・西谷正也・山本忍・山岡文士・竹森一明・河野史博・川西哲也・高木弘仁・羽地登志晃・  
阿佐勝光・浜崎正則

<焼肉ここからFC> 監督:上村陽一  
長瀧雅仁・武田憲一郎・寺石圭作・上村陽一・北岡直也・澤田和哉・本間正幸・永谷正樹・岡崎修・  
有光正晴・氏原善・森川大樹・金尾仁博・谷脇明彦・岡村誠・大石真也・松岡功宜・野村景介・  
田村南平・横山和志

<大分OB> 監督:前川大輔  
前川大輔・甲斐真弓・秋元雅博・平松大輔・北尾直路・柴田健一・塚崎高典・保月寿智・若杉杉生・  
柴田和昌・古屋博行・安藤繁・古園純一郎・濱大樹・後藤一利・佐藤康之・佐藤直樹・河野卓也・  
山崎典保・川上郁央・三重野宏

<星ヶ峯フットボールクラブ> 監督:星枝佑二  
福元英明・国利篤史・松下尚樹・山下一弥・丸野将平・松本一希・義岡昌明・松木田修・山下俊朗・  
星枝佑二・佐伯皇明・福森繁樹・山下大樹・中野剛・赤崎陽輔・福田和樹・郡山哲也・栗岡大・  
米澤健矢・高多俊幸・飯屋崎竜也・田中周作・阿莫拓倫・田嶋宏充・石谷吾一

JFA 第20回全日本U-50サッカー大会  
JFAが主催する本大会は、1972年4月1日以前生まれの2021年度JFA登録選手によって構成されたチームに参加資格が与えられた。今大会は、11月27日～29日に16チームが参加して、栃木県宇都宮市で開催された。

※13ページに関連記事あり

■1次ラウンド

Table with 10 columns: 順位, グループA, ニコルス, 徳島, 富一, 栃木, 勝点, 勝, 分, 負, 得点, 失点, 差. Row 1: 1, ニコルスFCシニア (関西1/大阪府), 100, 100, 203, 6, 2, 0, 1, 4, 3, 1.

Table with 10 columns: 順位, グループC, 肥後, 山梨, 藤枝, 広島, 勝点, 勝, 分, 負, 得点, 失点, 差. Row 1: 1, KUMAMOTO肥後シニア (九州2/熊本県), 11, 100, 11, 5, 1, 2, 0, 3, 2, 1.

Table with 10 columns: 順位, グループB, 四十雀, 福岡, 岐阜, 松島, 勝点, 勝, 分, 負, 得点, 失点, 差. Row 1: 1, 四十雀クラブ東京50 (関東1/東京), 100, 300, 200, 9, 3, 0, 0, 6, 0, 6.

Table with 10 columns: 順位, グループD, 兵庫, 安曇野, 船橋, Docon, 勝点, 勝, 分, 負, 得点, 失点, 差. Row 1: 1, 兵庫サッカークラブ (関西2/兵庫県), 11, 11, 200, 5, 1, 2, 0, 4, 2, 2.

○勝ち(勝点3)、△引き分け(勝点1)、●負け(勝点0)

【参加選手】

<Docon Jack 50> 監督:森山洋  
森田秀人・橋本康弘・森山洋・小林岳・坂本達彦・丸山典通・吉川良陸・西山和明・及川宏之・中野規・  
山崎一史・川田裕之・二川亘・金山明弘・植竹敏幸・岡田裕之・鏡山勝久・千葉正・村田裕一・  
笠原雪夫・橋本尚詞・佐藤英隆・山口裕司・坂本昌司・中村一仁

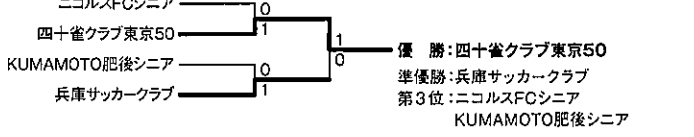
<マリノ松島タック50> 監督:後藤雅洋  
佐藤三千治・黒田修司・中林英治・久保等・佐々木康裕・平井俊哉・山田典明・園井秀之・阿部達朗・  
勝修治・相原誠・内海邦彦・鈴木雅治・千葉光晴・佐藤英二・丹野義光・後藤雅洋・山根祥治・  
リュウ・ハンソン・佐藤幸春

<栃木教員マスターズ> 監督:中里一彦  
須田洋一・小林志郎・山崎亜輝緒・鈴木勝・小沼芳亮・加藤誠・横山昌也・横嶋剛・福田成一・  
中里一彦・齋藤裕紀・大嶋孝則・橋本真己・二宮昭義・渡辺伸一・菊地隆之・山田徹・三本木秀征・  
林田浩二・樋口大輔・伊澤悟・小平恵司・福田明人・大牧隼・金井理

<四十雀クラブ東京50> 監督:伊勢昌司  
高橋信雄・児島哲郎・清原裕・波立紀夫・小林敏郎・山崎信夫・安部克則・小川靖・桜井昭人・高杉太・  
東野馨人・相川博康・高忠司・中村茂・新崎秀・城直之・箭内良伸・小槻安伸・白根基裕・  
岩田浩和・平井知之・陣内和平・中村義昭・山下崇・川口真

<FC船橋50> 監督:長島収  
飯島高明・阿部和巳・林賢太郎・小田山貴・野中清一・森陸之・飯島聡・小川弘・田中正浩・椎名功真・  
齊藤弘昭・榎本賢二・石田隆雅・滝口康生・掛谷弘太郎・河野雅彦・安孫子勉・前川克史・小林政広・  
曾我豊明・遠藤文浩・小山大作・杉浦政行・大柳直哉・奥山直樹

■決勝ラウンド



<山梨マスターズ・レジェンド> 監督:清水祐至  
網野均・竹中浩一・丸山孝・高橋克哉・清水俊彦・長田義仁・雨宮和幸・平岡昇・清水成仁・中込正行・  
中村竜治・石原宏一・戸澤義春・波谷仁志・篠田英之・古屋成生・猪友友英・平野政樹・高田修・  
石原大助・清水祐至・相澤崇治・若菜隆

<アルファ安曇野シニア> 監督:赤羽彦彦  
上野一弘・坂口善文・村山聡・浅野隆・原幸一・小平晋・久保和彦・佐貴裕二・長瀬靖志・矢ヶ崎広志・  
波平龍廣・桜井勇二・赤穂好見・西村修一・塩澤秋廣・竹内敏高・飯田勇二・塩入孝一・花岡洋一・  
松澤孝明・石曾根衛・曾根原由次・金山博文・白井聡・中田明秀

<富一ふじの会> 監督:藤野一行  
杉林英輝・山口直哉・野口伸也・澤田京明・藤倉正樹・石動伸也・大井庸右・本間清高・谷口昌嗣・  
奥野雄久・平野謙久・坂井秀樹・平林幹・根塚武・河原一仁・森岡誠・酒井康光・堀勝弘・藤野一行・  
笹倉高司・村井宏幸

<藤枝フットボールクラブ> 監督:杉村太志  
若林哲也・坂崎豊樹・佐藤成・飯塚俊晴・澤合義嗣・尾白幸生・大塚智久・飯塚義人・池谷聡・杉村太志・  
遠又光好・増田勝紀・風間邦男・森継大・大隅弘・海老岡孝之・大石浩典・藤田浩史・飯塚仁志・  
岡崎達也・吉川広三郎・藤野大・紅林良彦・横馬勉



順位	チーム名	磐田	京都	甲府	鳥取	前田	新潟	山形	千葉	琉球	水戸	岡山	東京V	秋田	栃木	山口	大宮	金沢	群馬	相模原	愛媛	北九州	松本	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
11	フジアン岡山	H 0●1	0△0	1●3	0●1	1●2	1△1	1●0	1●3	3●0	1●2	●	0●1	1△1	0●1	1●0	1●0	0●1	0●1	0△0	0△0	1●0	3●0	59	15	14	13	40	36	4
	A 1△1	0●2	2●1	0●1	1△1	1●0	2●4	1●0	2●4	1△1	1△1	2●1	0●1	2●0	0△0	0△0	0△0	0●1	0●1	3●2	2△2	0△0	3●1	58	16	10	16	62	66	-4

⇒ ※1位のジェビロ磐田、2位の京都サンガF.C.は、「2022明治安田生命J1リーグ」に自動昇格。 ○勝 ●敗 △引き分け、H:ホーム A:アウェイ  
 ※19位のSC相模原、20位の愛媛FC、21位のギラヴァンツ北九州、22位の松本山雅FCは、「2022明治安田生命J3リーグ」に自動降格。

**2021 明治安田生命 J3リーグ** 15クラブによる2回戦総当たりリーグ戦(ホーム&アウェイ)で、全30節/210試合を突  
 破した。

※大会レポートは、74ページに掲載

**■戦績表**

順位	チーム名	熊本	盛岡	宮崎	富山	福島	岐阜	鹿児島	YS横浜	長野	藤枝	今治	鳥取	八戸	沼津	讃岐	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	ロアッソ熊本	H 1△1	1●2	2△2	1●0	2●0	2△2	1●0	2●0	3●2	1●0	1△1	2△2	0●1	0△0	54	15	9	4	39	20	19	
	A 0△0	0●1	1△1	2●1	2●1	1●0	0●1	0△0	2●0	1●0	2●1	5●0	3●1	2●1	53	15	8	5	43	28	15		

⇒ ※1位・ロアッソ熊本(J2ライセンス保有)、2位・いわてグルージャ盛岡(J2ライセンス保有)は、「2022明治安田生命J2リーグ」に自動昇格。 ○勝 ●敗 △引き分け、H:ホーム A:アウェイ

**第23回日本フットボールリーグ** 17チームによる2回戦総当たりリーグ方式(ホーム&アウェイ方式)  
 なお、JFL17位は地域リーグへ自動降格、16位チームは全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2021の1位チームと、15位チームは、全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2021の2位との入れ替え戦を行う。

※75ページに掲載記事あり

**■戦績表**

順位	チーム名	いわき	ホンダ	大分	鈴鹿	松江	ソニー	大阪	枚方	青森	奈良	三重	滋賀	高知	マルヤス	武蔵野	ロケット	刈谷	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	いわきFC	H 1●5	0△0	2●1	3●1	0●2	3●0	1●0	1△1	2△2	2●1	0△0	3●2	3●0	3●1	4●0	2●0	71	21	8	3	65	28	37	
	A 1△1	2●1	4●1	4●0	2●0	1△1	1●2	6●1	2△2	2●1	2●0	0△0	2●0	2●0	2●1	67	20	7	5	69	25	44			

順位	チーム名	いわき	ホンダ	大分	鈴鹿	松江	ツエニ	大阪	枚方	青森	奈良	三重	滋賀	富山	マルヤス	筑前野	ロケット	刈谷	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
10	奈良クラブ	H 2△2	1△3	0●1	3○0	1○0	0●3	3○1	3△3	0●1		1●2	0●1	0△0	2△2	2○1	2△2	0△0	43	10	13	9	39	36	3
	A	2△2	1△1	0●3	1●2	0●1	1○0	1△1	4○1	0△0		1△1	3○1	2○0	1○0	1△1	0△0	1○0							
11	ヴィアティン三重	H 1●2	0●1	0●3	3○0	1●2	1△1	1△1	3○4	2○1	1△1			2○0	0●3	0●1	2○1	3○2	40	10	10	12	40	43	-3
	A	1●2	0△0	0●2	0●1	2○0	1●4	1△1	4○1	1△1	2○1			2○0	1●3	1△1	1○0	1△1							
12	MIOびわこ滋賀	H 0●2	2△2	1●2	3○2	1●2	2●3	3○1	0●5	3○1	1●3	0●2		1○0	1○0	1●3	1△1	1○0	37	10	7	15	35	48	-13
	A	0△0	0●3	1△1	2△2	0●1	0●3	2○0	0●1	2●3	1○0	0●2		0△0	3○0	0△0	1●2	2○1							
13	高知ユニテッドSC	H 0△0	0△0	1●2	1●5	0●1	1●2	0●1	1○0	2○1	0●2	3○1	0△0		1△1	1○0	1○0	1●4	33	9	6	17	30	49	-19
	A	2●3	0●5	1○0	1●2	0●4	1○0	1●2	1●2	2△2	0△0	3○0	0●1		2○1	0●2	2●3	1●2							
14	FCマルヤス岡崎	H 0●2	0△0	3○2	1●3	1●2	0△0	1●3	1△1	0●1	0●1	1△1	0●3	1●2		3○1	0△0	1△1	33	8	9	15	27	46	-19
	A	0●3	1●6	1●2	0△0	1○0	0●4	1○0	4○1	0●1	2△2	1○0	0●1	1△1		1○0	0●2	1○0							
15	東京武蔵野ユニテッドFC	H 1●2	0●3	1○0	2○1	1△1	2●3	3△3	2○1	2△2	1△1	0●1	0△0	2○0	0●1		2○0	3○2	32	9	5	18	38	53	-15
	A	1●3	0●2	0●4	0●2	0●1	1●3	2○0	1●3	0●1	1●2	1●2	3○1	0●1	1●3		1●2	4○2							
16	ホンダロックSC	H 0●2	2●6	0●2	0●1	1△1	2○1	0●1	0●1	0△0	0△0	1△1	2○1	3○2	2○0	2○1		0△0	27	6	9	17	26	48	-22
	A	0●4	0●1	1●3	2△2	1●2	1○0	0●2	0●2	1●2	2△2	2●3	1△1	0●1	0△0	0●2		0●1							
17	FC刈谷	H 1●2	0●1	0●1	1●3	0●1	0●2	0△0	1●4	1●3	0●1	1△1	1●2	2○1	0●1	2●4	1○0		18	4	6	22	26	55	-29
	A	0●2	1●3	0●2	1●2	0●2	2○1	0●3	1●3	2●3	0△0	1△1	0●1	4○1	1△1	2●3	0△0								

○:勝ち(勝点3)、△:引き分け(勝点1)、●:負け(勝点0) H:ホーム A:アウェイ

**2021プレナスなでしこリーグ1部** 12チームによる2回戦総当たりリーグ戦(全22節)を実施。

※77ページに関連記事あり

■戦績表

順位	チーム名	伊賀FC	S市田谷	C大阪堺	E日体大	愛媛L	ニッパツ	Aハリマ	名古屋*	オルカ	ユノヤマ	アンジュ	大和S	勝点	勝	分	負	得点	失点	差	
1	伊賀FCくノ一三重	H	1●2	3○2	4○1	3○1	1△1	2○1	1○0	2○0	4○0	3○0	2○0	53	17	2	3	53	17	36	
	A		2△2	0●2	5○0	6○1	3○1	2○0	2○0	0●1	2○1	4○1	1○0								
2	スフィーダ世田谷FC	H	2△2		2●4	1○0	0●1	1●2	2○0	1○0	1○0	3△3	2○0	41	12	5	5	45	24	21	
	A	2○0			2●3	5○0	4○0	3○1	1●2	4○1	1△1	2○1	1△1								
3	セレッソ大阪堺レディース	H	2○0	3○2		0△0	0●2	2○1	0△0	5○1	3○0	2○0	6○1	38	10	8	4	41	24	17	
	A	2●3	4○2			0●1	1●2	1△1	1△1	2△2	1△1	1△1	1○0								
4	日体大FIELDS横浜	H	0●5	0●5	1○0			0●2	0●2	1○0	2○1	0△0	3○2	36	11	3	8	24	27	-3	
	A	1●4	0●1	0△0			0●1	2○0	3○0	0△0	1○0	2○1	2○1	0●1							
5	愛媛FCレディース	H	1●6	0●4	2○1	1○0			0●4	1△1	1●3	0●1	0△0	32	9	5	8	25	36	-11	
	A	1●3	1○0	2○0	2○0			0●3	1○0	2△2	2△2	1△1	1○0	2●4							
6	ニッパツ横浜FCシーガルズ	H	1●3	1●3	1△1	0●2	3○0			1△1	1●2	3○1	2○1	0△0	31	8	7	7	31	25	6
	A	1△1	2○1	1●2	2○0	4○0			2△2	1○0	2○0	1●2	0●1	1△1							
7	ASハリマアルビオン	H	0●2	2○1	1△1	0●3	0●1	2△2		1○0	0●1	3○0	3○2	26	6	8	8	27	29	-2	
	A	1●2	0●2	0△0	0●1	1△1	1△1		2●3	0△0	2△2	4○1	1△1								
8	NGUラブリッジ名古屋	H	0●2	1●4	1△1	0△0	2△2	0●1	3○2			2○1	1●3	26	7	5	10	27	33	-6	
	A	0●1	0●1	1●5	1●2	3○1	2○1	0●1		0△0	3○0	3○2	1△1								
9	オルカ鴨川FC	H	1○0	1△1	2△2	0●1	2△2	0●2	0△0	0△0			1○2	22	5	7	10	17	26	-9	
	A	0●2	0●1	0●3	0△0	1○0	1●3	1○0	1●2			0●1	2○0	2△2							
10	ユノヤマスベランツァ大阪高槻	H	1●2	1●2	1△1	1●2	1△1	2○1	2△2	0●3	1○0		0●1	22	5	7	10	26	36	-10	
	A	0●4	3△3	0●2	2●3	0△0	1●2	0●3	3○1	2○1			0△0	3○0							
11	アンジュヴィオレ広島	H	1●4	1△1	1△1	1●2	0●1	1○0	1●4	2●3	0●2	0△0		20	5	5	12	22	43	-21	
	A	0●3	0●2	1●6	1●4	1●3	0△0	2●3	2○0	1○0	1○0		2○1								
12	大和シルフィード	H	0●1	1△1	0●1	1○0	4○2	1△1	1△1	1△1	2△2	0●3	1●2	14	2	8	12	23	41	-18	
	A	0●2	0●4	2●3	0●2	0●1	1△1	2●3	0●3	1●2	2△2	3△3									

○:勝ち(勝点3)、△:引き分け(勝点1)、●:負け(勝点0)、H:ホーム A:アウェイ

**2021プレナスなでしこリーグ2部** 8チームによる2回戦総当たりリーグ戦(全14節)を実施。

※大会レポートは、78ページに掲載

■戦績表

順位	チーム名	ac福島	aパニース	静岡	福岡AN	NORD	つくば	吉国大C	湯郷ベル	勝点	勝	分	負	得点	失点	差		
1	JFAアカデミー福島	H		5○0	0●2	3○0	2○1	0△0	6○1	6○0	33	10	3	1	42	9	33	
	A			1△1	0△0	7○1	3○2	4○1	4○0	1○0								
2	パニース群馬FCホワイトスター	H	1△1		4○0	2○0	0△0	3○1	5○2	4○0	33	10	3	1	39	15	24	
	A	0●5			2△2	4○2	2○1	2○0	4○1	6○0								
3	静岡SSUアスレジーナ	H	0△0	2△2		1●3	1△1	6○1	4○0	2○1	30	9	3	2	30	14	16	
	A	2○0	0●4			3○0	1○0	3○1	1○0	4○1								
4	福岡小・アングラス	H	1●7	2●4		0●3		0●3	3○1	0△0	3○1	20	6	2	6	15	25	-10
	A	0●3	0●2		3○1		0△0	1○0	1○0	1○0								
5	ノルディア北海道	H	2●3	1●2	0●1	0△0		1○0	0●2	2○0	16	4	4	6	13	14	-1	
	A	1●2	0△0	1△1	3○0		0●2	0△0	2○1									
6	つくばFCレディース	H	1●4	0●2	1●3	0●1	2○0		1●2	2○1	10	3	1	10	14	30	-16	
	A	0△0	1●3	1●6	1●3	0●1		2○1	2●3									
7	吉備国際大学 Charme 岡山高梁	H	0●4	1●4	0●1	0●1	0△0	1●2		1●4	9	2	3	9	10	32	-22	
	A	1●6	2●5	0●4	0△0	2○0	2○1		0△0									
8	岡山湯郷 Belle	H	0●1	0●6	1●4	0●1	1●2	3○2	0△0		7	2	1	11	12	36	-24	
	A	0●6	0●4	1●2	1●3	0●2	1●2	4○1										

○:勝ち(勝点3)、△:引き分け(勝点1)、●:負け(勝点0)、H:ホーム A:アウェイ

## 2021プレナスなでしこリーグ1部・2部入替戦 2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦予選大会／2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦

※77～78ページに関連記事あり

### <2021プレナスなでしこリーグ1部・2部入替戦>

なでしこリーグ1部の12位チームとなでしこリーグ2部の1位チームは自動入れ替え、なでしこリーグ1部の11位チームとなでしこリーグ2部の2位チームはホーム&アウェイ方式による入れ替え戦を実施し、勝者が1部へ昇格または残留する。

### <2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦>

なでしこリーグ2部の8位チームとなでしこリーグ2部入替戦予選大会(以下「予選大会」という)1位から3位の計4チームが1回戦総当たりの入替戦を行い、上位3チームがなでしこリーグ2部へ残留または参入の権利を得る。ただし、予選大会より参加のチームはなでしこリーグ2部加盟基準の認定を受けているチームに限る。

### ■2021プレナスなでしこリーグ1部・2部入替戦

<第1戦> バニース群馬FCホワイトスター 0-1 大和シルフィード ⇒ ※バニース群馬FCホワイトスターは「2022なでしこリーグ1部」に昇格  
<第2戦> 大和シルフィード 0-2 バニース群馬FCホワイトスター

### ■2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦予選大会

#### <Aグループ>

順位	チーム名	湘南	出雲	今治	北海道	勝点	勝	PK勝	PK負	負	得点	失点	差
1	SEISA OSAレイア湘南FC	1△1 PK(4-3)	1○0	5○0	8	2	1	0	0	7	1	6	
2	ディオッサ出雲FC	1▲1 PK(3-4)	2○0	3○0	7	2	0	1	0	6	1	5	
3	FC今治レディース	0●1	0●2	4○0	3	1	0	0	2	4	3	1	
4	北海道リラコンサドーレ	0●5	0●3	0●4	0	0	0	0	3	0	12	-12	

#### <Bグループ>

順位	チーム名	広島	三重	山梨	勝点	勝	PK勝	PK負	負	得点	失点	差
1	ディアヴォロッソ広島	2○0	0▲0 PK(3-4)	4	1	0	1	0	2	0	2	
2	ヴィアティン三重レディース	0●2	1○0	3	1	0	0	1	1	2	-1	
3	FCふじざくら山梨	0△0 PK(4-3)	0●1	2	0	1	0	1	0	1	-1	

○:勝ち(勝点3)、△:PK勝ち(勝点2)、▲:PK負け(勝点1)、●:負け(勝点0)

#### <順位決定戦>

<第1戦> ディオッサ出雲FC 0-1 ヴィアティン三重レディース  
<第2戦> SEISA OSAレイア湘南FC 0-2 ディアヴォロッソ広島

### ■2021プレナスなでしこリーグ2部入替戦

順位	チーム名	広島	岡山	三重	湘南	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	ディアヴォロッソ広島	2○0	0●1	1○0	6	2	0	1	3	1	2	
2	岡山湯郷Belle	0●2	3○2	1○0	6	2	0	1	4	4	0	
3	ヴィアティン三重レディース	1○0	2●3	0△0	4	1	1	1	3	3	0	
4	SEISA OSAレイア湘南FC	0●1	0●1	0△0	1	0	1	2	0	2	-2	

○:勝ち(勝点3)、△:引き分け(勝点1)、●:負け(勝点0)

⇒ ※1位・ディアヴォロッソ広島、3位・ヴィアティン三重レディースは「2022なでしこリーグ2部」に参入  
※2位・岡山湯郷Belleは、「2022なでしこリーグ2部」に残留



## 日本サッカー後援会 2022年度の会員を募集中!

日本サッカー後援会では、2021年11月9日から2022年度の会員を募集しています。後援会では、毎年、日本サッカー協会をはじめ、関連団体の諸活動に対して資金面での援助を行っています。会員の皆さまからお寄せいただいた会費が、日本サッカーの普及と日本代表の強化に生かされています。会員の皆さまに対しては、下記の各種会員特典を設けております。サッカーファンの皆さまの入会をお待ちしております。

#### 【主な会員特典】

- 国内で日本代表チームが行う国際試合、天皇杯決勝戦チケットの優先販売(2021年9月からWEB申込に移行)
- 天皇杯の本大会準決勝までの全試合、JFL、全日本大学選手権大会、全国高校選手権大会、なでしこリーグ、Fリーグなどの自由席への無料入場
- JFAnews年間定期購読  
※詳しくはホームページをご覧ください。

#### ■新たに入会を希望される方へ

新会員の募集は、定員になり次第締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

#### (1)会員制度

- ①年会費 :15,000円
- ②会員期間:2022年1月1日～12月31日

#### (2)入会手続き

インターネット入会申し込み  
新たに入会を希望される場合は、日本サッカー後援会公式ホームページ([www.jssc-soccer.jp](http://www.jssc-soccer.jp))をご覧ください。

※インターネット環境がご利用できない方は、事務局までお問い合わせ、ご相談ください。

#### ■2021年度会員の皆さまへ

2021年度会員の皆さまには、募集開始時にWeb会員にはEメールで、郵送会員には郵送にて継続手続きについてご案内しています。

#### 一般財団法人日本サッカー後援会事務局

〒113-8311 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス  
TEL:03-4455-3339  
メールアドレス:info@jssc-soccer.jp  
公式ホームページ:http://www.jssc-soccer.jp







## なでしこリーグ便り

スフィーダ世田谷FC  
<http://www.sfida.or.jp/>



### 地域密着型クラブを目指して

スフィーダ世田谷FC 地域貢献活動担当 窪田 竜希

東京都世田谷区を拠点に活動しているスフィーダ世田谷FCは来シーズンに向けて、コロナ禍の影響により密着した連携が難しかった地域貢献活動に力を入れていきたいと考えています。私自身、地域密着型クラブとして力を入れていく第一歩を任せられ、経験できることをとてもうれしく思うと同時に、より一層、精進を重ねて行かなければならないという責任も感じています。

まず、今シーズンの地域貢献に対する活動例を紹介します。ホームゲームでは、ハーフタイムに地元である世田谷の少年少女のダンスチームや試合会場地域の中高生によるジャグリングチームによるパフォーマンスショーを実施し、盛り上げていただきました。

他にも警視庁世田谷警察署一日防犯広報大使にクラブの選手を任命していただき、広報車から注意喚起を促すなど、地域の方々へ詐欺撲滅のための広報活動を行いました。また、老若男女問わず全てのサッカー愛好者が楽しめる競技「ウォーキングサッカー体験会(毎月)」などの取り組みが評価され、今年5月にはJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーに認定いただきました。少しずつではありますが、地元住民の皆さまと交流活動を実施してきています。今後の活動は、11月に「グラスルーツフェスティバル2021」、12月には「インクルーシブフットボールフェスタ2021」にも参加させていただく予定です。

上記の取り組みはいずれもSDGs(※)達成に向けた活動であり、地域の方と協力しながら地域に貢献していく。これこそが地域クラブの存在意義であり、われわれクラブがより一層発展させていかなければならない使命だと思っています。

現在、クラブ事務所のある商店街の各店舗さまにポスターの掲示をお願いして回っています。伺った際、多くの方に「応援しています、頑張ってください!」とお声がけをいただくことが非常に多く、とても励みになります。こうした声援にサッカー面での結果で応えることはもちろん、地域貢献という形で応えていくことができる存在となり、いつの日にか世田谷地域を越え、東京都の多くの方に応援していただける、応援したくなるようなクラブでありたいと思っています。

(※) Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)



2021シーズンのホーム最終節にて。選手、スタッフ、チア、サポーターと一丸となり戦い抜いた

## JFL便り

東京武蔵野ユナイテッドFC  
<https://tokyo-musashino-united-fc.com/>



### 東京のど真ん中で、都民のココロのスポーツクラブに

東京武蔵野ユナイテッドFC 事務局長 道又 健二

東京武蔵野ユナイテッドFCは、1939年創部の横河電機サッカー部を起源とした東京武蔵野シティFCと、東京大学および慶應義塾大学の両校サッカー部OBをルーツに持つ東京ユナイテッドFCが、東京都心部に真のスポーツ文化を醸成したいという同一の理念の下、クラブの安定運営と持続的発展を実現するために2021年1月に提携し、誕生に至りました。

武蔵野市と文京区を拠点とする両クラブが手を結ぶことで、武蔵野市以東と文京区を包含するエリア、すなわち「東京のど真んか(THE HEART OF TOKYO)」を代表するクラブとなるべく、スポーツのステータス向上を自らの社会的使命として活動しています。

2021シーズンは、この機運を大事にしたいという思いから、「UNITED MOMENTUM」とチームスローガンを掲げましたが、JFLでは15位という結果に終わりました。

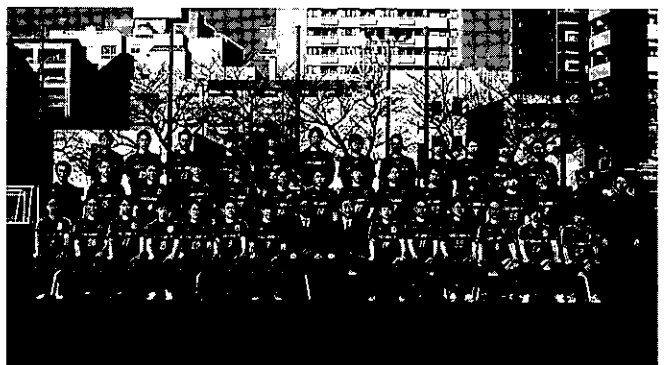
新しいチームづくりに苦慮した面もあり、シーズン前期は苦戦を強いられました。しかし、両クラブ出身のスタッフ・選手たちが一枚岩になり、シーズン後期を巻き返したことで最終的には残留という結果をつかみ取ることができました。いつか振り返ったときに、意義深く思い出深いシーズンであったと思う日が来ると信じております。

新チームとして初のシーズンは、協会、連盟、スポンサー、サポーターら、多くの方々のご理解とご支援があってこそクラブは存在し得るということ、あらためて感じさせられる時間となりました。この場を借りて、関わってくださった皆さまに深く御礼申し上げます。

依然として収束が見えないコロナ禍において、多くのクラブ関係者の方々がさまざまなご苦勞をされていることかと存じます。そんな中、われわれも同様に強い危機感の下、覚悟を持って、大きな決断をし、今シーズンに臨みました。

クラブも社会の一部であり、社会に必要とされてこそ存在意義を持ちます。この日本において、サッカークラブが持つ意義は何なのか、常にその答えを追い求めながら悪戦苦闘する日々ですが、サッカーファミリーの皆さまと共に、これからの日本のサッカー界の発展の一助になれば幸いです。

われわれの夢の実現まで長い道のりではありますが、サッカー以外のシーンでもMOMENTUMを感じさせられるクラブとなるよう、今後も日々精進してまいります。

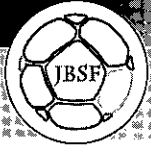


今シーズンの経験を糧に、来シーズンもチーム一丸となって一步一步前進していく



## 日本ビーチサッカー連盟便り

日本ビーチサッカー連盟  
<http://jbsf.or.jp/>



## 夢のフィールド「ピッチ・カリオカ」

一般財団法人日本ビーチサッカー連盟 事務局

“If you built it, he will come”～それを作れば、彼が来る～  
農夫レイ・キンセラはこの謎の声を耳にし、収穫前のトウモロコシ畑を演じて野球場を造ります。そして、この野球場を舞台に、いくつかの奇跡が繰り広げられていくことになります。映画「フィールド・オブ・ドリームス」(1989年/米国)のストーリーです。

今年、梅雨明け前、高円宮記念JFA夢フィールドにビーチサッカー場「ピッチ・カリオカ」が誕生しました。「リオっ子」(リオデジャネイロ出身)を意味する「カリオカ」は、多くの大会でビーチサッカー日本代表を率いたラモス瑠偉前監督の愛称として知られています。

そして夏になり、ピッチ・カリオカで国内での最終調整を終えたビーチサッカー日本代表は、ロシアで開催されたFIFAビーチサッカーワールドカップに旅立ち、準優勝の銀メダルを胸に帰ってきました。コロナ禍で自粛を強いられ沈んでいた日本ビーチサッカー界にとって、梅雨空が明け、青空からリオデジャネイロのまぶしい日差しが降り注いだような快挙でした。

一般財団法人日本ビーチサッカー連盟(JBSF)は、ピッチ・カリオカの造成にあたり、ビーチピッチの砂を寄付しました。また、ピッチおよびその周辺の環境について、JFAに多くの要望をかなえていただきました。

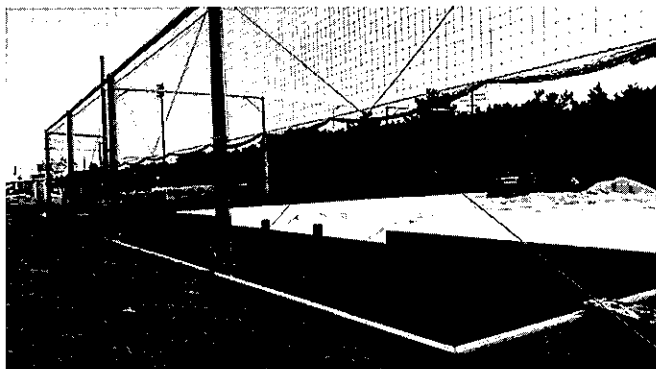
既に関東ビーチサッカーリーグなど公式戦も開催されていますが、JBSFではピッチ・カリオカを舞台に、育成年代の大会、運営者講習会などさまざまなイベントを企画・運営していく予定です。

「人々はきっとやってくる。長い年月、少しも変わらなかったのはこの野球だけだった。アメリカはロードローラーのようにめまぐるしく、黒板のように様相を変える。消してはまた描き。だが、野球は人々と共にあった。このグラウンドも、このゲームも、われわれの過去の一部だ…」フィールド・オブ・ドリームスの印象的なセリフです。

千葉の幕張に、夢のフィールドが造られました。

そこには誰がやって来るのでしょうか。どのような奇跡が待っているのでしょうか。いつまでも、何かを大切に思うことができる場となりますように。

サッカーを愛する皆さん、ピッチ・カリオカでお会いしましょう。そして、一緒にハダシでボールを蹴りませんか！



プレーヤーズ・ファーストで造成された「ピッチ・カリオカ」

## 日本フットサル連盟便り

日本フットサル連盟  
<http://www.jff-futsal.or.jp/>



## 四国女子フットサル部会の活動

四国フットサル連盟 理事長 川島 紀夫

四国フットサル連盟・四国女子フットサル部会は、四国女子フットサルリーグを2016年に立ち上げました。当初は各県1チームの全4チームという編成でスタートし、2021年度のリーグ戦は高知県2チーム、愛媛県1チーム、香川県1チームの計5チームで開催しています。

リーグに参加するチームの入れ替えはあるものの、目標の8チームにはまだまだ届いていません。原因の一端として、高知県と香川県では女子フットサルの県リーグを開催していますが、愛媛県では3チーム、徳島県では1チームの登録しかなく、県リーグの開催ができない状況になっていることが挙げられます。このことから、まずは各県での女子フットサルリーグ開催が必要です。

今後の普及活動としては、中国・四国地域で女子フットサルの普及を推し進めていきます。

幸いにも今年、「日本トリムPresents 第13回全国女子選抜フットサル大会」が11月19日から21日まで、高知県高知市の春野総合運動公園体育館で開催されました。全国9地域の予選を勝ち抜いた11チームに開催地チームとして高知県選抜を加えた12チームが出場。1次ラウンドから白熱した試合が展開され、観客も多く観戦していました。

1次ラウンドを勝ち抜いた神奈川県選抜、静岡県選抜、広島県選抜、高知県選抜が決勝ラウンドに進み、4チームによるノックアウト方式で勝敗を決することに。準決勝は広島県選抜対神奈川県選抜が1-0、静岡県選抜対高知県選抜が2-1、決勝は広島県選抜対神奈川県選抜で行われ、結果は6-1で広島県選抜が優勝しました。

中国・四国勢の広島県選抜の優勝に加えて開催地の高知県選抜も3位に入り、とても喜ばしい結果となりました。中国・四国での女子フットサルの普及につながることを期待して、今後の普及活動も精いっぱい頑張ってまいります。



今年11月に高知県で開催された「日本トリムPresents 第13回全国女子選抜フットサル大会」では白熱した試合が繰り広げられ、広島県選抜が優勝に輝いた

## 日本クラブユースサッカー連盟便り

日本クラブユースサッカー連盟  
<https://www.jcy.jp/>



### 九州クラブユースサッカー連盟について

九州クラブユースサッカー連盟 理事長 平山 勇

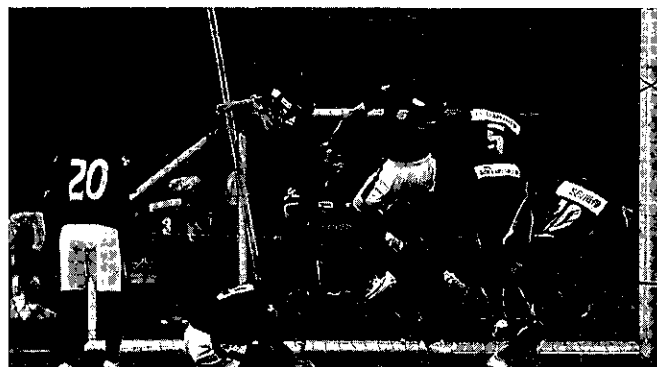
九州クラブユースサッカー連盟は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の九州8県のクラブユースサッカー連盟で組織され、活動している団体です。2021年度のクラブチームの加盟登録数はU-18が16チーム、U-15は217チームです。U-18は関東や関西のような登録数ではないものの、わずかではありますが増加傾向にあり、U-15は10チーム前後が毎年増加しています。

しかし、昨年度からU-18女子の登録を始めたものの、残念ながら九州では女子のクラブ登録はありません。今後の努力目標として、まずは1チームの登録を目指して頑張っていきたいと思います。

九州地域は、7県は陸続きですが沖縄県は九州最南端の鹿児島から650km以上も離れた場所にあります。そのため、九州大会などの場合は沖縄県のチームに金銭的な負担をかけてしまいます。沖縄県のチームの負担を少しでも軽減するために、各県持ち回りの大会の一つである九州クラブユースサッカーU-13大会を、2023年度に沖縄で開催する予定です。過去に7月のU-15選手権大会の一部を沖縄で行いましたが、夏の観光シーズンだったために事務作業も大変だった覚えがあります。また、高円宮杯U-15選手権が沖縄県で開催された際、沖縄行きは飛行機の予約が取れず、急ぎよ九州本土で行ったこともありました。さまざまなことに気を配り、開催に向けて準備を進めていきます。

また、本連盟では組織の充実発展とレベルの向上にも取り組んでおり、12年前から九州3種委員会として、中体連の先生方と九州U-15サッカーリーグを開催しています。当初からリーグはクラブチームが中心ですが、運営などは中体連の先生方にお世話になっているのが実情です。少しずつではありますが、各県クラブ連盟の役員が運営等にも参加できつつあり、その結果としてクラブチームの強化にもつながり、「サガン鳥栖U-15」がU-15選手権で優勝するなど全国レベルに近づいてきました。また、組織のさらなる発展と強化を目指して、今年度から九州U-15リーグの役員や各県の元3種委員長の先生たちを連盟役員として迎え入れ、一緒になって活動を進めています。

来年度は一般社団法人化を目指して準備しています。法人化することにより、一般社団法人九州サッカー協会とタイアップして事務局作業の効率化などを図り、大会運営および各種事業をスムーズに開催できるように頑張っていきたいと思います。



大会やリーグ戦を通してユース年代の強化にも尽力していく

## 日本障がい者サッカー連盟便り

日本アンブティサッカー協会  
<http://j-afa.jp/>



### 西日本交流戦2021の開催

#### - With & Beyondコロナの挑戦 -

日本アンブティサッカー協会事務局 事業担当 宮本 彩

今年度の日本アンブティサッカー協会は、WithコロナあるいはBeyondコロナに向けて結束を強化し、挑戦し続けてきました。

「大会の開催がかなわなくとも、潜在的な可能性に目を向けて組織や体制を強化し、われわれに課された社会的責任を果たしていこうと努めることに意義がある」

この思いをエネルギーに、協会関係者のみならず、選手もチームスタッフも交えて、幾度となく意見を交わし、新たな競技の運営方法や運営体制の構築を模索してきました。残念ながらそのようなみんなの願いは届かず、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長を受けて、2年連続で全国規模の大会であるレオピン杯コパアンブティの開催中止を余儀なくされました。それでも、大会開催に向けて重ねてきた議論を礎に、全国の新型コロナウイルスの感染状況が下火となった10月3日に2年ぶりとなる「西日本交流戦」を兵庫県で開催することができました。

西日本交流戦では「共創力」を大会スローガンに掲げ、一人でも多くの選手に交流戦(公式戦)の出場機会を提供し、コロナ禍における段階的な競技活動の再開を推進しています。新型コロナウイルスの感染防止に向けては、参加者全員に出発日、当日の朝、翌日の朝に抗原検査を課し、陰性が証明できた人のみが参加できる仕組みを構築した上で実施しました。

同交流戦には、今年度よりチーム創設支援制度を活用して始動した「INVITES(インバイツ) 兵庫AFC」の選手ならびにスタッフの方々が参戦してくださいました。また、四国初のチームとなる「Bonitos Kochi(ボニトス コウチ)」のチーム代表者も視察に来られるなど、新たなアンブティサッカーファミリーの顔合わせの機会にもなりました。

徐々に集い、仲間たちと無我夢中でボールを蹴り合う時間は、やはり何ものにも代えがたい時間であることを実感することができました。変わりゆく社会の中で、協会としての変わらないビジョンと使命を見つめながらも、変革を恐れず、多様なニーズに応じていく取り組みが今後も続いていきます。来るワールドカップイヤーに向けて、With & Beyondコロナに向けて果敢に挑戦したいと考えています。



10月に兵庫県で開催された西日本交流戦でのウォーミングアップの様子

# 日本全国 FAコーチ巡り

## 人口が少ない県だからこそ、みんなを大事にしたい

各都道府県サッカー協会(FA)で配置が進む技術担当専任者「FAコーチ」。その活動にスポットを当てた連載企画第3回は、島根県サッカー協会の上野敏夫FAコーチに話を聞いた。

○オンライン取材日:2021年11月22日

**頑張ってくれている仲間の手助けを**

「島根県サッカー協会のFAコーチに就任された経緯を教えてください。」

上野 FAコーチに就任して今年で2年目になります。それまでは島根県FAの技術委員長やユースダイレクター、チーフインストラクターなどを20年近く務めてきました。2年前に若い仲間が技術委員長のポストを引き継ぐタイミングでFAコーチの話をいただき、教員を退職して再任用で勤務していましたが、これまでの経験を生かせると思い、引き受けようと思ったんです。

「活動を始めてから変化はありますか。」

上野 以前は、自分のチームの活動や仕事がある中で時間をつくって島根県FAの仕事をしていました。それが専任になったことで、それまでできなかったことにも取り組めるようになりました。例えば、他の方と一緒に活動する際にも、事前に入念な準備をする時間ができます。余裕が生まれると準備の

過程で、問題が起きた際の対処法まで考えることができます。きめ細かな対応ができるようになったことは貴重ですね。

「時間を指導者仲間のために使えるのはとても大きいですね。」

上野 今の立場になってから、多忙の中でFAの仕事に尽力されている方たちへの感謝の気持ちも強くなりました。私自身、40年近くサッカーに携わってきましたが、今は、忙しい皆さんのためにも自分が動けたらと考えています。今年から、夕方5時から夜9時くらいまでの間に講義・実技を受けられる指導者養成講習会を設けました。教員時代は、時間の設定が難しかったのですが、今は自分の活動時間を調整すれば可能です。立場をうまく利用し、皆さんの時間を奪わず、指導者として成長できる環境を整えたいと考えています。忙しさを苦痛と感せず、頑張ってくれている仲間の手助けがしたいです。

### 4部門が協力し合い 三位一体で普及の強化策を推進

「島根県FAの育成方針を教えてください。」

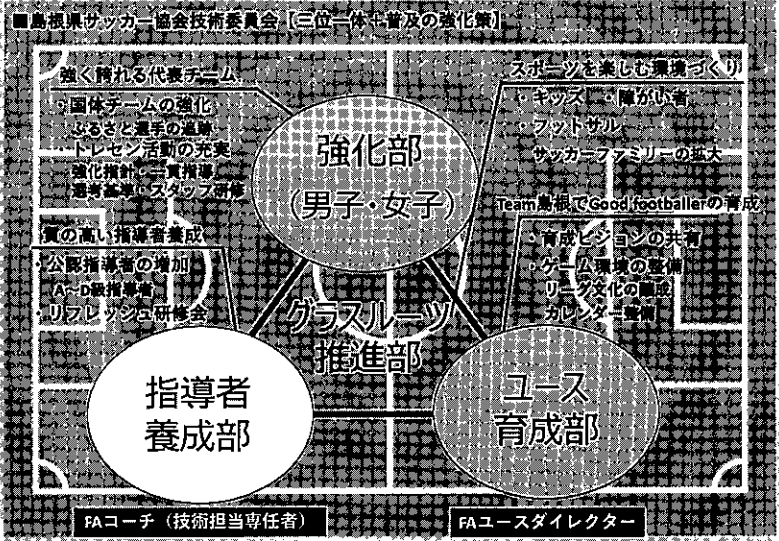
上野 日本サッカー協会と同様に「三位一体+普及の強化策」をわれわれも進めています。強化部(男女)、指導者養成部、ユース育成部、グラスルーツ推進部にそれぞれ担当者を配置して活動していますが、

それぞれが自分の役割だけに専念するのではなく、お互いに協力して4部門の活動を融合させながら進めています(下図参照)。

私は指導者養成を担当しています。指導者養成によって仲間を増やし、強化やユース育成の発展につながるのを、指導者ライセンス保持者を一人でも多く増やすために少人数でも指導者養成講習会を開催しています。これを推進するため47FAインストラクターが現在8人いますが、人口の割合で考えると47FAの中で最も多いのではないのでしょうか。先ほど話した夜の指導者養成講習会も最初は参加者7人でスタートしましたが、ニーズがあったので、2回目は20人と増えてきており、今後も増えていきそうです。指導者養成によって増えた仲間たちにはそれぞれの分野で力を発揮してほしいと考えています。

「保護者コーチも含めて、受講者にはさまざまな立場の方がいると思えますが全ての方を含めて仲間だと。最近、指導者ライセンス

を継続できない人が多いんです。ですから、出産や子育て期間にはリアルレッスンポイントの猶予を与えたり、女性指導者は講習会の費用



を安くしたりなど、女性に長く活動してもらったための施策も考えていきたいと思っています。

指導者仲間を一人でも多く増やしたいという思いを感じます。

上野 人口が少ない県だからこそみんなを大事にしたい。「あなたは受けられませんか」ではなく、どうすればライセンスが取れたり、良い経験ができるかを考えたいですね。指導者養成講習会では、サッカーを乗しむ気持ちを一歩大事にしています。

以前、JFAの派遣でオランダに行く機会がありました。オランダは九州くらいの国土で、人口も4000万人くらいしかいませんが、育成がしっかりしているサッカー大国です。小さな国がどのようにな人づくりをしているかを見ました。島根県は人口が少なく、サッカー人口も多くないのが以前は弱みだと思っていました。ある



時から、人間関係の濃密さ、そこから生まれる親和性といった部分でそれが強みでもあると気付きました。逆に活用するといえますか。強みをもっと全面に出せるような形で進めたいと思います。

JFAコーチとして、その他にどのようなことを進めていますか。上野 組織としては主に指導者養成を担当していますが、平日夜間に行うトレセン活動は私を中心になつてサポートをしています。また、各年代のチームの視察にも行きます。

「練習に文句をつけられるのではないかと警戒される方もいるのでは」といいますが、(笑)、実際は活動をしてみて足を運ぶ重要性を感じています。1回の視察で多くのことを伝えようとするのではなく、1回目は「気になった選手がいまいた」と伝えて帰る。2回目、3回目としていくことを理解できるように、相手からの要求も出てくる。私のホームグラウンドは指導者養成ですが、FAコーチならではの時間を活用して強化や育成にもつと関わってほしいと考えています。

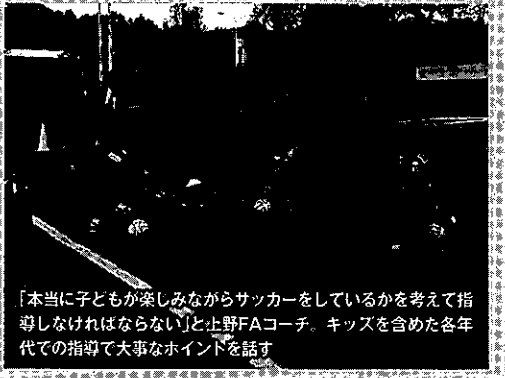
### 暴力根絶やキッズ、女子の取り組みも進める

暴力根絶に関する取り組みも重要な施策の一つだと思います。

上野 FAコーチに就いてからウェルフェアオフィサーや審判インストラクターの資格を取りました。以前から可能な限り多くの大会等に足を運び、ベンチからどのような声が発せられるのかを聞いています。ピッチに立つ選手だけでなく、アップしている選手や保護者にも悪い影響がありますので、暴言に対する啓発活動はしていかなければいけません。

島根県では、各年代の指導者のレベルアップと交流を目的に、4支部で育成指導者研修会を実施しています。登録チームから必ず1名の指導者に参加してもらっていますが、今は登録チーム数の倍近くの方が集まってくれています。最近ではスカッシュ形式で開催しているのですが、昨年からは2022年にかけては暴言やポジティブコーチングもテーマとして取り上げています。

キッズの取り組みを教えてください。上野 キッズは、サッカー以前に自分の体を思い通りに動かせることが大事です。キッズ指導の知識はありましたが、実際に指導してみると新たな気づきがたくさんあります。中学生や高校生の指導とは異なり、格好つけないでハメを外して一緒に遊べばいいと気付かせてもらいました。島根県FAは、親子ユニバーシティプログラムを開き、親子が一緒に体を動かして活動を進めています。保護者に子

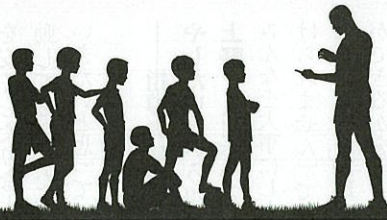


少年女子、少年男子のカテゴリーで開催されますが、有望な女子選手がいても高校年代は女子チームが2チームしかありません。良い環境を求めて中学校の時点で県外に出ていく選手も珍しくありません。島根県に残ってもらえる環境を整えていくためにも、これから中体連だけのトレセン、クラブチームだけのトレセンなどいろいろな対応を考えていきたいです。

女子についてはいかがでしょうか。上野 女子に関しては苦しい状況が続いていますが、WEリーグ参入を目指すティオツサ出雲FCが頑張ってくれているのが希望です。ティオツサを中心に、女性の指導者がトップチームのコーチをしながら、平日は女子サッカースクールで収入を得るなど、サッカーだけでなく生活できる環境をつくりたい。そうした活動ができれば、コーチに憧れて指導者を目指す子どもも出てくると思います。

2030年に島根県で行われる国民スポーツ大会(現 国民体育大会)のサッカー競技は成年女子、

最後に今後の目標を教えてください。上野 自身のサッカー人生を振り返ると、人との出会いが大きかった。何となく憧れて進んだ大学で、後に日本サッカー界で活躍する田嶋幸三さん(現 JFA会長)や山口隆文さん(現 JFAアカデミー福島女子統括ダイレクター)池谷孝さん(元清水エスパルスアカデミーセンター長)ら仲間たちと出会い、サッカーがより好きになって、40年たった今でも指導者として携わっています。人との出会いは人を変えて、道を与えてくれる。私としては子どもがサッカーと出会って一番初めのコーチが、日本のコーチであってほしい。優勝したとがではなく、子どもに「コーチと出会ったからサッカーが好きになった。本気になれた」と言われるだけでなく、普及や強化に携わってくださる仲間でもあります。一緒に楽しみややり甲斐を感じるサッカー界をつくりたいと思っています。



## 地域とともに、一人ひとりが輝く社会へ ～マイナビ仙台レディースのWE ACTION DAY

### 理念推進活動と普及活動を企画

WEリーグに加盟するのは11クラブ。毎節5試合が行われ、試合のない1クラブは「WE ACTION DAY(理念推進日)」として独自の活動を行っている。

マイナビ仙台レディースはクラブ初のWE ACTION DAYを迎えた10月30日、「Women Empowerment ふれあいデー in 利府～地域とともに、一人ひとりが輝く社会～」として三つのイベントを行った。宮城県利府町は、県内のサッカー関係者にとってはおなじみの宮城スタジアム(キューアンドエースタジアムみやぎ)がある町。今年の東京オリンピック2020でもサッカー競技が行われた。「サッカーのまち」「女性活躍を推進するまち」を標榜する町でもある。

次節の11月6日に宮城スタジアムでホームゲームを戦うことになっていたマイナビ仙台にとっては、WE ACTION DAYは、理念の推進はもちろん、WEリーグやクラブの存在を知ってもらい、集客につなげる狙いもあった。

イベントは、今年3月にオープンしたイオンモール新利府南館でスタート。一つ目の「スポーツを通じて一人ひとりが輝く社会」をテーマとしたトークショーでは、利府町の櫻井やえ子副町長を招き、選手3人とスタッフ1人も参加して、利府町の魅力や個性が輝く社会、女性が活躍する社会について意見を交わした。続いて、同じ場所で「おうちトレーニング体験」を実施。参加した未就学児から中学生、その保護者ら計35人に選手も加わり、選手らが考案した、家庭にある物を利用して楽しく体を動かすメニューを実践した。

三つ目の「サッカーふれあい体験」は、多目的運動場に移動して開催。未就学児から中学生まで87人が参加し、グループに分かれて汗を流した。

イオンモール1階の会場では、距離をとって40席を設けたが、吹き抜けの構造で2階からもイベントの様子を見ることができる。フードコートも隣接しており、買い物客や食事に訪れた客にもクラブの存在を知ってもらう機会となった。

### サッカー以外にも選手が活躍でき、輝ける場を

「興味を持ってもらえた方には、三つのイベント全てに参加してもらえるようなスケジュールを組みました」と説明するのは、クラブ事業運営課の小野瞳さん。昨シーズンまで前身のマイナビベガルタ仙台レディースでプレーしていた元選手だ。現在はホームタウン活動を担当する。

サッカーに関心がなかった人にもサッカーに触れてもらいたい、マイナビ仙台レディースを知ってもらいたいという思いで、選手と共にイベントを企画。選手にはその内容やメニューの立案にも加わってもらった。

おうちトレーニングでは、2Lのペットボトルや買い物かご、掃除用モップなどを使ったユニークなアイデアが生まれ、ふれあい体験では、サッカー経験や年齢にかかわらず、全ての子どもたちが楽しめ



トークショーの様子

るよう工夫を凝らしたメニューが用意された。小野さんは「準備段階から選手の自主性が見えまして、子どもたちと直接交流できるイベントを選手たちも喜んでいました」と話す。コロナ禍で触れ合う機会がなかったからこそ、参加者や選手、スタッフが笑顔で楽しんでいる姿に心から嬉しさが込み上げてきた。



おうちトレーニング体験では万屋美穂選手がMCを務め、選手5人とフィジカルコーチ、トレーナーも参加して子どもたちと交流した

プロサッカー選手にとって、サッカー以外の世界を見たり、地域の人々と交流する機会は大切だ。「WEリーグができてチームの全員がプロ選手になりました。つまり今の選手にとっては、サッカーが仕事になったということ。考え方を変えれば、これまでは会社で働きながら社会に出ているいと学べていたことが、プロになると経験できなくなってしまう。サッカー関係者以外の人と接する機会も減っただけに、人としての成長を促すためにも、選手たちがピッチの外に出て社会と触れ合える機会をつくっていきたくと思っています」(小野さん)。

今年2月にベガルタ仙台から離れ、新たにマイナビ仙台レディースとなったクラブだからこそ、あらためてクラブの存在意義を地域に根付かせていくことも重要になる。「東日本大震災から10年。その被災地にあるクラブだということも、選手たちに浸透させていきたい」と小野さん。宮城県出身で、東京電力女子サッカー部マリーゼでプレーしていたときには震災を経験した。だからこそ、その思いは強い。今後も選手主体でイベントを企画しながら、クラブ、選手、町が理解を深め合い、関係を深め合えるきっかけをつくっていく。

■マイナビ仙台レディース公式チャンネルで  
各イベントの様子を公開中  
<https://youtu.be/SCaNj50VXco>



### WE ACTIONとは？

WEリーグに所属する選手、クラブ、そして、サポートするパートナー企業をはじめとするさまざまな人が、リーグの理念「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」を実現するために輪となり、私たちがみんな(WE)で起こす行動(ACTION)のこと。

## 見えない変化

天高い秋晴れを背景に、色鮮やかな木々と葉を落として春を待ちわびる木々を視野に入れ、遠くの筑波山を眺める私の姿勢は、少しだけ伸びているように感じます。通勤時の短い徒歩の間に感じる季節の変化は、平凡に感じる日々も決して同じものではないことに気付かせてくれます。

ある技術を習得しようとするとき、意識して練習すると上達します。しかし、その上達速度は必ずしも練習の量に比例しません。練習しても成果が上がりなかつたり、逆に急激に伸びたりもします。この変化を心理学では「学習曲線」と言い、伸びない時期を「プラトー(高原現象)」「一般的には「スランプ」と呼びます。

インスタンピングでのリフティングを例に説明します。この練習を始めるころは回ほどはすぐに連続してできるようにになります。日々練習を繰り返している連続で10回や20回くらいは練習量に比例してできるようになります。しかし、この辺りからプラトーが始まります。なかなか30回に届かず、時には今までできていた20回もできなくなり、そこで練習を止めてしまったり、その後の成長はありません。連続20回を繰り返したり続けることが必要です。では、この成績が伸びない時期に技

術が向上していないかというところ、決してそのようなことはありません。

リフティングの技術は回数だけでは測れません。1000回連続することが目標だとしても、それを達成するには、足首などの関節の調整や立ち足のバランスといった体の調整力を高めること、ミスキックなどエラーをしたときの挽回方法を身に付けたり、ボールを触る感覚を磨くなど、多くの要因がその技術に関わっています。プラトー状態になったときに連続回数が20回前後から変化しなくなったとしても、練習し続けることで上達に関わるそれらの要因には変化が起こっています。ボールコントロールが安定したり、体がぶらぶらなくなったり、同じ高さに安定してボールを上げることができるようになったりしているはずで、連続回数は伸びていなくてもそれ以外の数字は向上してたりします。

上達で最も大切なことは、練習量です。ただし、練習だけでは効果は期待できません。「休息と栄養が絶対に欠かせないのです。与えられた時間は同じの中で相手に負けないだけの練習量を確保しなければと考えると、まっとう行き過ぎた練習になってしまいます。負けないためには、量に質を掛け合わせることを考えなければなりません。質はゼロでは練習の意味がなくなってしまうのです。幼稚園での巡回指導や近隣のフット

隔月連載

# サッカー心育論 Vol.71

～指導者は何を考えるべきか～

中山 雅雄 (JFA技術委員会普及部会部会長/JFA普及ダイレクター/JFAキッズプロジェクトメンバー/筑波大学体育系教授)



テニスをサッカーに触れ、サッカーを始めてみたいと思ってくれた子どもたちはサッカークラブに入ります。最初は興味津々で、少し練習すれば上達した感じがします。しかし、プラトーに直面したとき子どもたちがサッカーを止めるか続けるかは、指導者の腕の見せどころです。練習をすれば必ず上達します。指導者は子どもたちが上達している部分を見つけましょう。パスの正確性が向上しなくてもキックの動きはスムーズになったり、ドリブルで相手を抜くなくても相手を意識しながらボールを運ぶようになっていなくてもいい。

私たちはプラトーの時期を乗り切れば次の世界が待っていることを知っています。最近では保護者の方が子どもより先にサッカーを諦めてしまつこともあるようです。サッカーは全国で選手育成の体制が整っており、若い年代から選手を選抜が繰り返されます。一度選ばれなくてもチャンスは回ってきます。しかし、一度でも何かの選抜に選ばれなかったり、チームの先発メンバーから外れたりすると、「サッカーに向いてない」とか「違つことに時間を使った方がよいのでは」と思ってしまうのでしょうか。若い世代から代表に呼ばれ続ける選手もいますが、FIFAワールドカップで戦う日本代表に至るまでには多くの選手が入れ替わります。選手選抜は実力だけでなく、運やタイミングに左右される部分もあります。大人には、子どもたちの「やりたい」という思いを大切に見守るべきです。

以前も本連載に記しましたが、水を温めることや水に変わり、水に熱を加えて沸点に達すると液体は気体になり、水、水蒸気は同じH<sub>2</sub>Oという分子です。しかしその質は全く異なります。運動の上達過程もまた時間を掛けて熱を加えることで融点や沸点に達し、そこで一気に質が変わります。時間を掛けて指導し、選手の内側を徐々に変えていく。外見は何も変わっていないように見えても、内側は着実に変化しているのです。そして、価値に達したところで劇的な変化を見せるのです。プレーの質が変わった瞬間、選手の現場でよく聞かれる言葉です。

毎日一緒にトレーニングしている選手の変化にはなかなか気づきません。一方、たまに見る他チームの選手の成長が著しいと感じることがあります。どちらの選手も「同じ練習を積み重ねています。誰かが特別なメソッドを使って指導しているわけではありません。指導者として、他チームの選手の成長に焦る気持ちは理解できますが、質の高い練習を積み重ねれば変化は間違いなく起ります。平凡と感じる毎日決して無駄ではないのです。

秋から冬にかけて、桜並木は葉を落として少し元気がないように見えたりもします。しかし、実際には木の内側で沸々と開花に向けた準備が進んでいることを想像すると、その木の見え方が違ってきます。人間も負けてはいられません。



隔月連載

# 日本サッカー タイムスリップ

1921年に誕生した日本サッカー協会(JFA)は、  
2021年9月に創立100周年を迎えた。

本連載では、JFA各種事業や日本サッカーの歩み  
を振り返っていく。

第20回は引き続き天皇杯 JFA 全日本サッカー選  
手権大会をテーマにお届けする。

※本連載は隔月の連載になります

## 第20回

# 天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権 大会(5) 1993~2021年度

文：国吉好弘(サッカージャーナリスト)

第68回(1988年度)から第72回(1992年度)までの5大会では、日産自動車が出場し、読売ヴェルディとして出場していたライバルを下しての戴冠だった。

翌93年度にはJリーグが5月に開幕、プロサッカーが空前の活況を呈していた。天皇杯も注目を浴び、ベスト8には全てJリーグチームが進出した。決勝ではJ

登録チームの増加などによる背景から規模が拡大された第76回大会。ヴェルディ川崎が出場80チームの頂点に立った



が、10人の鹿島が意地を見せて終了間際にCKから奥野僚右が決めて追いつき、3年連続で延長戦へ突入。ここでも鹿島が粘りを見せているが、延長後半の112分にCKから渡辺一平がヘッドで決め、横浜Fがリードする。これで鹿島が力尽きた格好となり、横浜Fが3点を追加。結局6-2と突き放して初優勝を果たした。

以降は、Jリーグ勢がタイトルを独占する。第74回大会はこの年にJリーグ入りを果たしたベルマーレ平塚、第75回大会はフランス人のアーセン・ベンゲル監督が率いた名古屋グランパスエイトが初優勝した。

96年に創立75周年を迎えた日本サッカー協会は大会の大幅な

改革を図り、第76回から実行に移すことを決めた。まず決勝大会出場チームをこれまでの32から80に増やし、全47都道府県から1チーム参加できるようにした(第2種含む)。第95回大会から参加資格は第1種加盟チームのみとなる。これにJリーグ全16チーム、ジャパンフットボールリーグ(旧JFL)上位11チーム、大学6チームが加わった。

1回戦は11月3日にスタートし、決勝が行われる1月1日まで2カ月を費やすスケジュールとなり、会場も北は北海道から南は沖縄まで全国で開催されることになった。新方式を反映して3回戦で前回王者の名古屋が旧JFLのコスモ四日市に敗れるなど番狂わせも続出した。それでもやはりベスト8に残ったのはJリーグ勢、決勝に進んだのはヴェルディ川崎とサンフレッチェ広島という94年のJリーグチャンピオンシップを争った2チームとなった。試合はV川崎が3-0で快勝、キャプテンを務めたカズ(三浦知良)が天皇杯を掲げた。

第77回大会は鹿島がクラブ初の天皇杯を獲得。第78回大会では、この年、横浜Mに吸収合併されることになった横浜Fが、チーム一丸となってフリューゲル

スとして戦った最後の試合で、清水エスパルスが2-1と下し2度目の優勝を遂げた。

21世紀に入って最初の2001年度第81回大会では、それまで各大会で準優勝に終わっていた清水が初優勝、第85、86回大会では浦和が、第88、89回大会ではガンバ大阪が連覇した。東京オリンピック開催のために建て直されることになった旧国立競技場での最後の決勝となった第93回大会では、横浜F・マリノスが11年ぶり7回目の優勝。翌年度からは毎回決勝の会場が変わり、国立競技場のこけら落としとなった第99回大会では、アンドレス・イニエスタを擁するウィッセル神戸が鹿島を2-0と下して初優勝した。

そして記念の第100回大会は思いもよらぬ新型コロナウィルスの襲来で縮小を余儀なくされ、JリーグからはJ1優勝の川崎フロンターレ、同2位のG大阪、J2優勝の徳島ヴォルティス、J3優勝のブラウブリッツ秋田の4チームのみが決勝大会に出場。決勝は川崎FとG大阪が対戦し、このシーズンにルーキーながら活躍して川崎FのJ1優勝に貢献した三笥薫の決勝ゴールで川崎Fが初優勝した。



# サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていききっかけづくりやサポートも、サッカーならできる。私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組みます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

## 日本アンプティサッカー協会

アンプティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義足・義手を外してロフトスタンドクラッチで体を支えながらプレーします。

## 日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

## 日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

## 日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。

## 日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral (脳からの) Palsy (麻痺) の頭文字をとり、そう呼ばれています。

## 日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。弱視者がプレーするロービジョンフットサルもあります。

## 日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

公式ユニフォームサプライヤー



パートナー



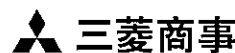
東京海上日動



支援団体



日本サッカー後援会



シリーズ終盤、たくさんの選手の去就が話題になります。移籍する選手、引退する選手。長年プレーしたクラブから離れ、人生の新しい第二步を踏み出すことは、選手人生でもとても大きな出来事です。そうした選手たちは、例外なく感謝の言葉を語ります。

振り返れば、自分がサッカーに集中して取り組むためにどれほどたくさんの人の援助を受け、支えられてきたか……。無我夢中に走っているときには気がつかないことが、立ち止まったり、進路を変えようというときになって、大きく浮かび上がってくるのでしよう。引退する選手、あるいはクラブを離れていく選手の会見が多くなるといえるのは、感謝の言葉にあふれているからに違いありません。

今年、私がとりわけ感銘を受けたのは、11月14日に引退を発表した浦和レッズの阿部勇樹選手の見聞でした。

阿部選手は1981年9月6日生まれ、40歳。高校2年生のときにジェフユナイテッド市原(当時)でJリーグにデビューし、高校3年時から完全なレギュラーとして活躍。今シーズンまで、実に24シーズンをプロの舞台で戦い、その間に日本代表(53試合)を含めると実に900近

# いつも心に

連載 Vol.104

## 大住良之 リスペクト

(サッカージャーナリスト)



### リスペクトにあふれた引退会見

い公式戦に出場してきました。2007年に移籍加入して以来、1年半イングリッドでプレーした時期を除いて14シーズンもプレーし、2007、2017年と2回にわたってAFCチャンピオンズリーグ(ACL)優勝に貢献した阿部選手の引退発表に、浦和レッズは特別な「舞臺」を用意しました。昨年3月来、例外なく続けられてきた「オンライン会見」ではなく、さいたま市内のホテルに会見場を用意し、数十人の報道陣を集めたのです。

スーツ姿で登壇した阿部選手は、中学生のころから鍛え、プロになる道を拓いてくれたジェフユナイテッド市原・千葉と、たくさんの人に支えられてプレーができた浦和レッズへの感謝を語りました。特に浦和レッズでは、公私両面で助けてくれたチームマネージャーの水上市裕文さんの名を挙げ、「水上市さんがいなければ、ここまで長くプレーできなかった」と、言葉を詰まらせながら語りました。

そして何より、21歳の阿部選手をジェフ市原のキャプテンに抜くとき、「自分に何が足りないかを考えるきっかけを与えてくれた」イビチャ・オシム監督と、浦和レッズ時代に「サッカーの楽しさ、面白さを教えてくれた」

た「ハイロ・ペトロウィツチ監督」に対する感謝を語り、「これからは一人を目標に指導者になる。指導者の道に行かないと、いままで教えてもらったたくさんの監督たちに失礼になる」と、阿部選手ならではの表現をしました。

しかし私が最も感銘を受けたのは、予定時間を大幅にオーバーして全ての質問に阿部選手が誠実に答えた後に、浦和レッズが用意した「サプライズ」でした。

アメリカ大リーグのシンシナティ・レッズで活躍する秋山翔吾選手(元西武ライオンズ。阿部選手と交友があるそうです)が花束を持って現れたのは驚きでしたが、その後にはやはり花束を手に登壇したのは、大柄な秋山選手とは対照的に小柄で地味な紳士でした。

大木誠さん。阿部選手がジェフユナイテッド市原のジュニアユースに入ったときの指導者です。当時、Jリーグで最も充実し、次々と好選手を輩出していたジェフ市原の育成部門の中心的なスタッフの一人でした。

に向けられたものになるのではないかと懸念していました。しかしそれはまったくの杞憂(きう)でしかなかった。阿部選手を育てたジェフ市原というクラブへのリスペクトを、浦和レッズは忘れていなかったのです。

大木さんが会見の最後に登場



引退を発表した阿部勇樹選手(中央)。左は秋山翔吾選手、右は大木誠さん

したことで、会見の雰囲気は大きく変わりました。阿部選手の感謝の気持ちがさらにクロージングアップされ、立場を超えたリスペクトが表現された会見。出席した報道関係者も、ネット配信で見た人も、誰もが温かい気持ちになったのではないのでしょうか。

いつも心にリスペクトのバックナンバーはこちら ▶▶▶ <https://www.jfa.jp/respect/heart/>

# サッカーファミリー広場



プロフェッショナルレフェリーの村上伸次審判員が12月4日、明治安田生命J1リーグ第38節名古屋グランパス対浦和レッズ（豊田スタジアム）で主審を担当した。12月1日には今シーズンをもって引退することを発表しており、これが現役最後の試合となった。2003年からJリーグ審判員を担当して以降、J1リーグ307試合、J2リーグ195試合、J3リーグ3試合、リーグカップでは64試合で主審を担当。そのほか、天皇杯でも45試合で笛を吹くなど審判員として日本サッカーを支え続けた。

この日の試合終了後には、両チームの選手がセンターラインの両側に並んで花道を作り、拍手とともに村上主審を見送り、その後は選手たちが声を掛け合い、異例の胴上げで感謝を伝えた。



## サッカーおよびフットサル競技規則2021/22 Web版公開

日本サッカー協会（JFA）は、サッカーおよびフットサル競技規則2021/22のWeb版をJFA公式ウェブ上に公開した。「競技規則の各条項（第1条～第17条）」および「審判員のための実践的ガイドライン」を、パソコン、タブレットPC、スマートフォンなどを利用してウェブページ形式で確認することができる。

また、サッカー競技規則の一部条文（第12条）においては、解説映像へのリンクを追加し、映像とあわせて条文の内容を確認できる。今後はビーチサッカー競技規則2021/22Web版の公開予定。

### ●サッカー競技規則2021/22Web版

- ・競技規則各条項ページ

[http://www.jfa.jp/laws/soccer/2021\\_22/](http://www.jfa.jp/laws/soccer/2021_22/)



- ・実践的ガイドラインページ

<http://www.jfa.jp/laws/soccer/guidelines/>



### ●フットサル競技規則2021/22Web版

- ・競技規則各条項ページ

[http://www.jfa.jp/laws/futsal/2021\\_22/](http://www.jfa.jp/laws/futsal/2021_22/)



- ・実践的ガイドラインページ

<http://www.jfa.jp/laws/futsal/guidelines/>



### サッカーファミリー復興支援金

日本サッカー協会（JFA）は、東日本大震災で被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、サッカーを楽しむことができるよう、サッカー環境の復興を目的に「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設しています。集まった復興支援金は、運用細則に基づいて運用されます。

銀行口座 三菱UFJ銀行（0005） 渋谷支店（135）  
普通預金 口座番号 0290451 公益財団法人日本サッカー協会  
サッカーファミリー復興支援金口  
※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

### 「暴力等根絶相談窓口」を設置しています

日本サッカー協会（JFA）は、サッカーの活動現場で生じた暴力行為に関する通報を受け付ける窓口として「暴力等根絶相談窓口」を設置しています。

利用方法：

【電話】03-5276-8838

【FAX】廃止

【フォーム】[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd0TrrvO-Leh64Nomkz4YOCQAVouVhnmWtVs3EGjW\\_ZdkU5w/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd0TrrvO-Leh64Nomkz4YOCQAVouVhnmWtVs3EGjW_ZdkU5w/viewform?usp=sf_link)

利用時間：平日12:00～18:00（土日祝、年末年始等除く）





# SAMURAI BLUE

## アジア最終予選 (Road to Qatar)

アジア最終予選 (Road to Qatar) は第5、6戦を迎え、後半戦に突入した。森保一監督率いるSAMURAI BLUE (日本代表) は、11月11日にベトナム代表と、同16日にオマーン代表とそれぞれアウェイで戦い、ともに1-0で勝利。グループBの2位に順位を上げた。

※SAMURAI BLUEメンバー、公式記録は42~43ページに掲載

※選手の所属は試合時

# 連勝で2位に浮上

## アクシデントを乗り越え 勝点3を獲得

ここまで2勝2敗、グループBの4位につけるサムライブルー(日本代表)は11月4日、同月のアウェイ2連戦に向けて27人の招集メンバーを発表。所属クラブで好調を維持する旗手怜央(川崎F)と三笥薫(サンジロワース)が初選出された。また、6日には堂安律(PSV)が追加招集された。

日本は、9、10月のシリーズで初戦を落としているだけに万全を期してベトナム戦に臨みたいところだったが、アクシデントが発生した。欧州から移動する選手11人を乗せた飛行機が給油地で足止めされ、ベトナム到着が試合前々日の深夜になってしまった。これにより、全体練習1回という異例の状況で試合日を迎えた。

しかし、「選手たちは焦ることなく機内で心身の回復に努めてくれ、疲労感はなかった」(森保一監督)。「アクシデントは想像以上だったが、想定内」(吉田麻也/サンフドリア)と、チームは冷静さを失うことなくベトナム戦に臨んだ。

フォーメーションは10月のオーストラリア戦に続き4-3-3を採用し、先発メンバーも負傷の酒井宏樹(浦和)に代えて山根視来(川崎F)を起用する変更にとどめた。

5-3-2の布陣で守備を固め、ロングボールやカウンターアタックを狙ってくるベトナムに対し、日本は中盤の守田英正(サンタクララ)が左サイドに開いて攻撃の起点となり、左SBの長友佑都(FC東京)をより高い位置に、左ウイングの南野拓実(リバプール)を中央寄りに位置させて攻撃に厚みを持たせていく。

先制点は17分だった。大迫勇也(神戸)が中央でパスを受けて南野につなぐと、南野はドリブルで攻め上がり、ペナルティエリアに進入したところで、逆サイドをトップスピードで駆け上がった伊東純也(ヘンク)にパスを送る。これを伊東がワンタツ



アウェイ2連戦を無失点で乗り切った日本。共富安は「守備陣がしっかり守ってチームを安定させられれば、勝利の確率は高まる」と話す

チシュートで決めた。

40分には相手のCKをはね返してカウンターアタックを仕掛ける。自陣でボールを受けた伊東がドリブルで持ち上がり、ペナルティエリア内で相手選手をかわして鋭いシュートを放つ。ボールはゴールネットを揺らしたが、VAR(ビデオアシスタントレフェリー)のチェックで味方選手にオフサイドがあったとしてこの得点は取り消された。

追加点を狙う日本は、63分に長友に代えて中山雄太(スヴォオレ)、南野に代えて浅野拓磨(ボーフム)をピッチに送り、中山の正確なキックと浅野のスピードを生かす戦略に変更する。右サイドでも伊東と山根が連係して攻め込んでいく。



スピードを生かした伊東のプレーは2試合を通して日本の強みとなっていた



2試合連続フル出場の日根。「リスクを感じながらのプレーはなかなかできない経験だった」と話した

セットプレーも含め次々とチャンスをつくったが、最後まで追加点は奪えず、試合は1-0のまま終了。同日、オマーンが中国と1-1で引き分けたため、日本はグループ3位に浮上した。

## 伊東が2試合連続得点 9月の雪辱を果たす

日本はベトナム戦の翌日、早朝の便でオマーンに向けて出発。試合地で4日間トレーニングを行い、試合に臨んだ。

先発は、累積警告で出場停止となった守田に代えて柴崎岳(レガネス)を起用した以外、ベトナム戦と同じメンバーをそろえ、フォーメーションも4-3-3を採用した。

オマーンは9月の試合同様、中盤



中山は2試合ともに後半から出場。守備での貢献のほか、後方からの組み立てでも非凡さを見せた

をひし形にした4-4-2の布陣で中央を固める。

一方、日本はボールを保持するも相手の守備ブロックの外側でのパス回しが続き、ワンタッチ、ツータッチでの素早いパス交換なども少なく、攻撃のリズムに変化を与えることができない。それでも23分に決定機をつくる。長友のクロスに伊東が右足で合わせるが、ボールは大きくワンバウンドしてクロスバーを超えた。

スコアレスで前半を折り返すと、日本は後半開始から柴崎に代えて三笥を投入し、三笥を左サイド、南野をトップ下に据えた4-2-3-1の布陣に変更する。

この変更で試合が動く。三笥は最初のプレーでドリブル突破を図ると、その後、積極的にドリブル

リブルで仕掛けて左サイドからの攻撃を活性化させる。49分には三笥の突破から遠藤航(シュツツツガルト)がシュートを放つ。62分には古橋亨梧(セルティック)と中山を同時に投入し、攻撃に変化を加える。

均衡が破れたのは81分。中山が高い位置でボール奪って三笥になく。三笥はドリブルで切り込んでクロスを送ると、右サイドから走り込んだ伊東が左足で合わせて2試合連続得点を記録した。

日本はこの直後に浅野、88分に原口元氣(ウニオン・ベリン)をピッチに送り、試合をコントロールして勝点3を獲得した。同日に行われた試合でオーストラリアが中国と1-1で引き分けため、日本は本大会出場圏内の2位に順位を上げた。

次戦は来年1月27日と2月1日、ホームで中国、サウジアラビアと対戦する。

### 森保一監督 試合後コメント (要約)

#### ■ オマーン戦後

全ての選手がチームのためにやるべきことをやり続けてくれたことが、ピッチに立つ選手にとって最後まで戦うパワーとなり、ゴールと勝利につながった。選手は相手のカウンターアタックに備えながら、前半から勇気を持って戦ってくれた。なかなか狙い通りの形がとれなかったが、確実に相手を疲弊させていった。そして後半、両サイドの攻撃を活性化させ、相手に圧力をかけることができた。2位に上がりはしたが、油断したり隙を見せたりすれば順位はまた入れ替わる。これまで通り、目の前の一戦に最善の準備をして臨み、チーム一丸となって戦い抜きたい。

#### ■ ベトナム戦後

勝たなければならないというプレッシャー、かつアウェイでの厳しい環境の中、選手たちは無失点で勝利をつかみ取ってくれた。得点は1点だったが、VARで取り消された伊東の得点も含めて多くのチャンスをつくり出すことができていた。一方で、セットプレーから得点できていないことも認識しているので、今後の課題としてチームで取り組んでいきたい。欧州から合流する選手が移動のアクシデントに巻き込まれてしまい、プランに狂いも生じたが、選手たちはそれも想定内と捉え、限られた時間の中で良い準備をしてくれたことが結果につながったと思っている。

#### ■ アジア最終予選 (Road to Qatar)

2021年11月16日 20:00  
マスカット(オマーン) / Sultan Qaboos Stadium

日本	1-0	オマーン
81' 伊東 純也	0-0 1-0	
<b>GK</b> ⑫ 権田 修一 <b>DF</b> ② 山根 視来 ⑤ 長友 佑都 → 62' ⑩ 中山 雄太 ⑩ 富安 健洋 ⑫ 吉田 麻也 <b>MF</b> ⑥ 遠藤 航 ⑦ 柴崎 岳 → HT ⑩ 三笥 薫	<b>MF</b> ⑩ 南野 拓実 → 62' ⑪ 古橋 亨梧 ⑭ 伊東 純也 → 82' ⑮ 浅野 拓磨 ⑰ 田中 碧 <b>FW</b> ⑱ 大迫 勇也 → 88' ⑥ 原口 元氣	

#### ■ アジア最終予選 (Road to Qatar)

2021年11月11日 19:00  
ハノイ(ベトナム) / My Dinh National Stadium

日本	1-0	ベトナム
17' 伊東 純也	1-0 0-0	
<b>GK</b> ⑫ 権田 修一 <b>DF</b> ② 山根 視来 ⑤ 長友 佑都 → 63' ⑩ 中山 雄太 ⑩ 富安 健洋 ⑫ 吉田 麻也 <b>MF</b> ⑥ 遠藤 航 ⑩ 南野 拓実 → 63' ⑮ 浅野 拓磨	<b>MF</b> ⑱ 守田 英正 → 88' ⑥ 原口 元氣 ⑭ 伊東 純也 ⑰ 田中 碧 → 75' ⑦ 柴崎 岳 <b>FW</b> ⑱ 大迫 勇也 → 75' ⑪ 古橋 亨梧	



オマーン戦で国際Aマッチ初出場を果たした三笥。得意のドリブルで日本の攻撃を活性化させ、決勝点をアシストした

### アジア最終予選 (Road to Qatar)

アジア2次予選を勝ち抜いた12チームが参加。6チームずつ2グループに分かれ、ホーム&アウェイの2回戦総当たりを行う。各グループ上位2チームの計4チームが本大会出場権獲得。3位同士によるプレーオフ勝者が大陸間プレーオフへ進み、その勝者が本大会に出場する。

グループA: イラン、韓国、UAE、イラク、シリア、レバノン  
 グループB: 日本、オーストラリア、サウジアラビア、中国、オマーン、ベトナム

積極的にゴールに向かう姿勢を見せた植木理子



NADESHIKO JAPAN

なでしこジャパン 国際親善試合

# 新体制で挑んだ 2連戦は 1分け1敗

なでしこジャパン(日本女子代表)は11月22日から12月1日にかけてオランダに遠征し、11月25日にアイスランド女子代表、同29日にオランダ女子代表と国際親善試合を行った。池田太監督が就任して初の国際Aマッチは、1分け1敗の結果となった。

※なでしこジャパンメンバーおよび公式記録は44ページに掲載  
※選手の所属は試合時

## vs Iceland 新体制での初陣は黒星発進 攻撃の連係に課題も

なでしこジャパン(日本女子代表)は、10月1日に池田太監督の就任が発表された。新体制の下、10月下旬に国内でプレーする選手23人を招集し、高円宮記念JFA夢フィールドで7日間のトレーニングキャンプを実施。11月19日には今回のオランダ遠征に参加する23人を発表した。10月のキャンプにも招集された清水梨紗(東京NB)や菅澤優衣香(浦和)、成宮唯(神戸)、宮澤ひなた(マイ仙台)らWリーグで好調な選手のほか、海外でプレーする熊谷紗希(FCバイエルン)、岩渕真奈(アーセナル)、長谷川唯(ウエストハム)、宝田沙織(ワシントン)、林穂之香(AIK)が名を連ねた。

チームは11月22日にオランダに到着し、2日間の練習を経てアイスランド戦を迎えた。新生なでしこジャパンの初陣は、GK池田咲紀子(浦和)がゲームキャプテンを務め、宝田、長野風花(マイ仙台)、植木理子(東京NB)は国際Aマッチ初先発、成宮は国際Aマッチデビューの一戦となった。

日本は序盤からチームコンセプトに掲げる積極的にボールを奪うプレーで前に出る。6分、長谷川がボールを奪うと右サイドの清水へ、清水がゴール前にクロスを送るも中央の成宮には合わなかった。積極的な姿勢で相手押し込む日本だったが、14分、アイスランドのスペインディス・ジェーン・ヨンスドッティルに左サイドをドリブルで突破され、そのまま強烈なシュートを決められてしまう。攻勢に出ようとしたところで出鼻をくじかれた。20分には長谷川のパスから植木が反転してシュートを放ったが相手GKにキャッチされる。その10分後にはアイスランドのシュートがクロ



アイスランド戦で国際Aマッチデビューとなった成宮唯。中盤でプレーし、世界レベルを肌で実感した

スパーに直撃するピンチも。チャンスをつくりつつも気の抜けない展開が続く。前半の終わりには、相手ゴールに迫り何度もボールを奪って波状攻撃を仕掛けたが得点には至らず、1点ビハインドで後半を迎えた。

アイスランド戦の先発メンバー



池田監督は57分に隅田凜(マイ仙台)と宮澤を投入し、中盤に変化を与えるが、次にゴールを決めたのもアイスランドだった。71分、またも左サイドから、ゴール前へクロスを入れられてほぼフリーで押し込まれた。日本は田中美南(神戸)、林、高橋はな(浦和)とカードを切って攻撃の手を強めたが、アイスランドの守備は固く、最後までゴールを割ることはできなかった。新生なでしこジャパンの初陣は、相手ボールを奪うという一つのテーマを体

現できた一方で、攻撃は実らず0-2の黒星を喫した。

デビュー戦を終えた成宮は「一つの質をもっと上げないと通用しない」と課題を実感した様子で、長谷川は「オフサイドもあったが、それはもう少しタイミングを合わせるなど、出す側と受ける側の工夫次第でなくなるはず」と、コンビネーションの向上を求めた。2失点を許したDFの南萌華（浦和）は「チャレンジして出たエラーをプラスに捉えながらオランダ戦に向かう」と、中3日で迎える次戦を前向きに見据えた。

vs Netherlands

### アイスランド戦から修正も ゴールは奪えず

強豪オランダとの一戦は、アイスランド戦から先発メンバーを7人入れ替えて挑む。この試合でGK

■国際親善試合  
2021年11月25日 19:40 (現地時間)  
アルメレ(オランダ) / Yanmar Stadion

日本 **0-2** アイスランド  
0-1  
0-1

14' スペインディス・ジュン・ヨンスドッティル  
71' ベルグランド・ビョルグ・ソルバルズドッティル

GK ① 池田咲紀子 MF ⑩ 小林里歌子  
DF ② 清水梨紗 → 77' ⑩ 田中美南  
③ 南萌華 ⑭ 長谷川唯  
⑤ 三宅史織 → 77' ⑩ 林穂之香  
⑥ 宝田沙織 ⑮ 長野風花  
→ 90+2' ⑩ 高橋はな ⑯ 成宮唯  
MF ⑧ 猶本光 → 57' ⑩ 宮澤ひなた  
→ 57' ⑦ 隅田凜 FW ⑰ 植木理子

■国際親善試合  
2021年11月29日 19:40 (現地時間)  
ハーグ(オランダ) / Cars Jeans Stadion

日本 **0-0** オランダ  
0-0  
0-0

GK ① 田中桃子 MF ⑩ 林穂之香  
DF ② 清水梨紗 ⑫ 宮澤ひなた  
③ 南萌華 ⑬ 菅澤優衣香  
④ 熊谷紗希 → 83' ⑩ 小林里歌子  
⑤ 宮川麻都 → 66' ⑫ 兼松瑠華 → 39' ⑩ 岩淵真奈  
MF ⑭ 長谷川唯 ⑰ 田中美南  
⑮ 長野風花 → 66' ⑦ 隅田凜



なでしこジャパンで初めて先発メンバーに入った宮澤ひなた。積極的にゴールを目指すなどチャンスをつくった

欠くオランダに対し、日本は素早い攻守の切り替えでペーసుをつかむ。19分には宮川麻都(東京NB)の左クロスに清水が合わせようとするなどダイナミックな攻撃も見られ、代表初先発の宮澤もドリブルで仕掛けて相手の脅威となった。35分に相手に倒された田中美が負傷して交代を余儀なくされ、代わって岩淵がピッチへ。

田中桃子(東京NB)が国際Aマッチデビューを飾った。菅澤と田中美を最前線に据え、中盤には池田監督の下でFIFA U-20女子ワールドカップを制した林と長野を配置、センターバックにはキャプテンの熊谷が入った。

前半、エースストライカーのVivianne Miedemaが岩淵がシュートを放ったが、これは相手DFにカットされた。ホームのオランダも終盤までドリブル

持った宮澤から岩淵にボールが渡るが、オランダの守備の前にブロックされる。なかなかゴールをこじ開けられずにいた66分、池田監督は隅田と兼松瑠華(大宮V)をピッチに送り出す。73分には攻撃をけん引する岩淵のスルーパスから菅澤がシュートを放ったが、これは相手DFにカットされた。ホームのオランダも終盤までドリブル



約3年ぶりの国際Aマッチ出場となった長野風花は2試合に先発出場。世界レベルの強さやスピードを体感し課題を持ち返った

や速いパスで攻めたが、ここは熊谷と南がラインコントロールしてチャンスを与えず、GK田中桃も好セーブでゴールを守った。

結局、互いに最後まで得点することはできず、スコアレスドロー。池田監督体制での初遠征は1分け1敗となった。この結果に熊谷は「今日のオランダ戦は勝たなければいけない相手。日本はポテンシャルのある選手が多いが、それでも世界で戦うにはまだまだ足りない部分もあった」と悔しさをにじませつつ、「前から積極的に行く意識と守備はアイスランド戦から改善できた」と収穫も手にした。中盤を担った長野も「チームコンセプトを体現してボールに連続してプレッシャーを掛け、奪ったら前を見る、という部分は浸透している。攻撃の部分でもっとみんなのアイデアや意思を出していきたい」とさらなる成長を目指した。

なでしこジャパンは、来年1月、FIFA女子ワールドカップオーストラリア&ニュージールランド2023のアジア予選を兼ねたAFC女子アジアカップインド2022に出場する。アジア女王として3連覇も見据え、チームとしても、個々としても強化を進めていく。

### 池田監督 試合後コメント(要約)

#### ●アイスランド戦

結果は非常に残念だが、短い準備期間の中、共有してきたことにトライする選手の取り組みはピッチで見られた。そこは一つ収穫だと思う。自陣から相手陣内に入るまではできたが、アタッキングサードでの停滞感、フィニッシュにつながる部分の共有はまだまだというのが正直なところ。もっとプレーを合わせていくことが必要であり、それが可能な選手たちだと思っている。単純なミスも多いため、その精度を求めている。

#### ●オランダ戦

選手同士が関わりを持って前に進むトライはあったが、コンビネーションや回数、タイミングをつかって突破する形をもっと高めていかなければならない。守備は規律とコンパクトさを保って、ラインコントロールも集中できていたと思う。今回の遠征メンバーだけでなく、さまざまな選手で(チームとして)何ができるかを常に考えている。海外で2試合を中3日でこなすことはアジアカップでも考えられる日程。有意義な2試合となり、守備や攻撃での共通理解を共有することができた。

# 「特別企画」池田太なでしこジャパン監督インタビュー

## 選手と共にトライし、学びながら力をつける

10月1日、なでしこジャパン(日本女子代表)の新監督が決定した。

新たにチームを指揮することになった池田太監督に就任の決意、欧州遠征での収穫、

そして、今後に向けての話を聞いた。

○オンライン取材日：2021年12月3日

### もう一度 世界を獲りにいく

——なでしこジャパンの監督に就任することが決まったときの率直な思いを教えてください。

**池田** 日本の女子サッカーを代表するチームを率いるという、非常に責任のある仕事ですので、その話をいただいたときは身が引き締まる思いでした。それと同時に周囲への感謝が湧き出てきました。私自身、選手として指導者としてサッカーに育てられた身ですし、なでしこジャパンの監督に就任することでサッカー界に恩返しする機会をいただいたと捉えています。

——就任発表会見では、「世界一を目指しながら、皆さんに応援されるチームに」と目標を掲げました。

**池田** 諦めずにゴールに向かって挑戦する気持ちを大切にしていきたい。選手たちが深刺(はつらつ)とプレーしている姿を皆さんに見てもらいたい。

のひたむきさが伝われば、応援されるチームに近づき、その応援がまた選手たちを後押しするはずだ。

——会見では「いろんなアイデアを聞いてみたい」とも仰っていました。

**池田** 最終的な決断や方向性を決めるのは監督である私の仕事ですが、それに至るまでの過程では、さまざまな立場で専門的な知識を持った方々の声を聞いていきたいという意味です。例えば、高田宮記念JFA夢フィールドにはサムライブルー(日本代表)の森保一監督をはじめ、さまざまなカテゴリーのコーチングスタッフがいますので、そうした方と意見交換してアイデアを探っています。審判員の方からはAFC(アジアサッカー連盟)の動向を聞くなど情報収集する機会もありました。あらゆる方向からなでしこジャパン強化や女子サッカーの発展に還元できる材料を探っています。

——10月下旬には、なでしこジャパ

ン候補のトレーニングキャンプを行いました。

**池田** WEリーグでハードワークして自分の力を発揮している選手、周りにも良い影響を与えていると感じた選手を中心に選出しました。初めてのキャンプですので、選手の現状やグループの力を見極めることが大きな目的です。なでしこジャパンは日本代表でもトップカテゴリーにあたり、選手たちとの全体ミーティングではその存在意義や社会貢献の必要性なども再確認しました。そして、サッカーファミリーの皆さんに喜びを伝えられる、強いなでしこジャパンであり続けること、もう一度世界一を獲りにいくという目標を立てました。

——どのようなことを念頭に置いてキャンプを行ったのでしょうか。

**池田** 世界一になるためにどのようなサッカーをしていくのか、大枠となるコンセプトを選手たちに話し、練習ではそれを少しずつ、細かく落とし込んでいきました。なでしこジャパンの







10月下旬には新体制発足後、初のトレーニングキャンプを実施。チームコンセプトを浸透させるため、ミーティングや練習を通じて細かくその意図を説明した

長所の二つとして、細かくボールを動かしながら、たくさんの選手が攻撃に関わるところが挙げられます。ボールを動かすときは、その(攻撃の)矢印をできる限り、相手のゴールに向けようという話もしました。キャンプ終盤の練習試合では、時間の経過とともに内容が良くなり、ゴールに向かう姿勢を見せてくれました。

## 各年代で培った 適応力こそ財産

——11月22日から12月1日にはオランダ遠征も実施しました。

**池田** まずは、コロナ禍の影響もあって欧州各国と現地での試合を組むことが難しい中、遠征が実現できた

ことに深く感謝しています。海外での試合経験の重要性はかねてから感じていましたが、今回の遠征は非常に意義深いものでした。遠征では中3日で2試合を戦いましたが、これはAFC女子アジアカップインド2022の日程と同じ間隔です。チームとして、スケジュール感とリカバリーの具合を体感しながらシミュレーションしたいという思いもありました。

——アイスランドとの初戦は0-2、続くオランダ戦は0-0という結果でした。

**池田** 練習では、ボールを動かしながら前進し、ペナルティーエリアの付近まで運ぶことに力を注いでいたが、この2試合を通じて、ゴール前のフィニッシュの精度をさらに磨かなければと感じました。サイドチェンジなどで相手を揺さぶるプレーをうまく織り交せてゴールに向かっていく部分も、今後の課題です。一方、選手が互いの距離をコンパクトに保って守るという成功体験も生まれたので、そこは自信になります。自分たちが世界一になるためにはやるべきことが多いと実感すると同時に、成果も見えた遠征でした。

——新型コロナウイルスのオミクロン株の流行によって、オランダ遠征から帰国後14日間は選手とスタッフが隔離生活に入りました。

**池田** 関係各所にさまざまな影響が出てしまいました。ただ、このような

状況ですから十分あり得ることと捉え、選手たちには、「どんな状況にも適応する力が勝負を分ける」と伝えられています。女子アジアカップも状況によって大会形式が変わる可能性は捨て切れません。ただし、開催が迫っていることも事実ですので、私たちが持っている最大限の力を女子アジアカップで発揮できるよう、工夫を重ねていくつもりです。

——現在のなでしこジャパンには、年代別の世界大会を経験した選手が多数います。

**池田** そうした世界大会を通じて、想定外の出来事を経験した選手もいます。例えば過去には、現地情勢の関係で選手もスタッフもホテルからほとんど出られない状況で大会を戦ったこともあると聞きました。それ以外にも選手たちは、これまでにさまざまな大会を通して、日本とは異なる環境で練習や試合をしてきました。そこで培った適応力こそ、日本女子サッカーの財産です。環境や文化の違いを知っているという点においては、選手たちも経験を積んでいると思います。

## 女性指導者には 発信力がある

——女子アジアカップでは、上位5チームにFIFA女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド2023への出場権が与えられ

ます(5位以内にオーストラリアが入った際は6位にも出場権)。

**池田** 近年、アジアの各国が女子サッカーに力を入れていきます。1試合目から厳しい試合が続くだろうと予想しています。なでしこジャパンと対戦する相手は「日本に勝つてやろう」と、高いモチベーションでぶつかってくるはず。劣勢に陥ったらどうするか、ゴール前を固められて試合がこう着いたらどうするかなど、事前の準備は欠かせません。過酷な状況に追い詰められたときというのは、チームとして成長するチャンスのときでもあります。われわれは3連覇を目指す立場ですが、選手たちと共にトライし、多くのことを学びながら力をつけていきたい。この貴重な経験を必ずプラスに変えようと考えています。

——今後の女子サッカー発展のためには、女性指導者の活躍も欠かせません。なでしこジャパンの宮本ともみコーチは、どのような役割を担いますか。

**池田** 宮本コーチは心強い指導者の一人です。私の考えをくんで練習をリードしてもらおう一方、私と選手の間に入ってもらい、クッション役となって選手に話を聞いてもらおうときもあります。選手とのミーティングでは、宮本コーチに選手時代の経験を話してもらおう時間をつくったこともあります。宮本コーチをはじめ、女性指導者には女子選手に対する発信力が

あると感じていますし、選手たちの成長を間近で見られる喜びは何ものにも代えがたいものです。女性指導者の皆さんが現場で活躍する機会がより増えてほしいと思います。

——最後に、なでしこジャパンの今後に向けて抱負をお願いします。

**池田** なでしこジャパンの持ち味でもある組織力を最大限に発揮するためには、「個の力」を高めていく必要があります。独力で相手を抑え込む、競り勝つ、相手をかわしてシュートを決めるといった力を伸ばすことで、チームとしての長所がさらに際立つと思っています。選手の日々のハードワークがなでしこジャパンの躍進につながるよう、全身全霊を注ぎます。なでしこジャパンの応援をよろしくお願いたします。



11月22日から12月1日には欧州に遠征した。アイスランドとオランダから勝利を挙げることができなかったが、収穫と課題を得る貴重な機会になった



2021 明治安田生命 J1 LEAGUE

KAWASAKI FRONTALE

2021 明治安田生命 J.LEAGUE

## CHAMPIONS

### 圧倒的な強さで

# 川崎フロンターレが二連覇!!

昨シーズンに引き続き、明治安田生命 J1 リーグの主役は前年王者の川崎フロンターレだった。開幕から25試合連続負けなしのリーグ新記録を樹立。シーズンを通して首位をひた走り、4試合を残して2年連続4度目の優勝を決めた。終わってみれば、2位の横浜F・マリノスに勝点13差をつけるなど、他を寄せ付けなかった。

しかし、その道は平坦ではなかった。東京オリンピックに出場した三苫薫と田中碧が夏にヨーロッパへ移籍。主力が同時に2人も抜けたことで一時は停滞した。それでも、鬼木達監督が辣腕を振るって軌道修正。緊急補強したブラジル人のマルシーニョと大卒ルーキー橋田健人の抜擢などで立て直し、シーズン後半も勝点を重ねた。

エースの働きも出色だった。レアンドロ・ダミアンは23ゴールを記録し、J1の得点王とMVPのダブル受賞。そのほかにも攻守両面で個の能力が際立ち、リーグ最多の7人が年間ベストイレブンに選出された。

王者には及ばなかった横浜F・Mも3位以下とは力の差を示した。35節には来季のAFCチャンピオンズリーグ(ACL)出場が確定。リーグ最多の82得点をマークした攻撃陣の爆発力は目を見張るばかりで、35節のFC東京戦ではクラブ最多の8ゴールを稼いだ。アンジェ・ポステコグルー監督が途中退任し、ケヴィン・マスカット新監督となっても、攻め勝つスタイルを貫いた。FW陣の軸となった前田大然は23点を挙げ、自身初となる得点王のタイトルを獲得した。ACL出場権が懸かった3位争いは37節までもつれた。結果的に勝点の貯金を持っていたヴィッセル神戸がクラブ史上最高順位の3位を死守し、4位には鹿島アントラーズが続いた。5位の名古屋グランパスは3位と勝点7差をつけられたが、リーグ指折りの堅陣は記録に残った。守護神のミチエール・ランゲラックが9戦連続無失点を含む、リーグ新記録の21試合でクリーンシートを達成している。

20チームで争われた今シーズンのJ1は、下位4チームが自動降格した。38節を待たずして肩を落としたのは横浜FC、ベガルタ仙台、大分トリニータ。最終節は湘南ベルマーレ、清水エスパルス、そして徳島ヴォルティスで残留を争い、最後はJ1の経験値が乏しいクラブが涙をのんだ。徳島は1年でJ2へ戻ることになった。

#### J1年間順位表

順位	チーム名	勝点	得失点差
1	川崎フロンターレ	92	53
2	横浜F・マリノス	79	47
3	ヴィッセル神戸	73	26
4	鹿島アントラーズ	69	26
5	名古屋グランパス	66	14
6	浦和レッズ	63	7
7	サガン鳥栖	59	8
8	アビスパ福岡	54	5
9	FC東京	53	-4
10	北海道コンサドーレ札幌	51	-2
11	サンフレッチェ広島	49	2
12	セレッソ大阪	48	-4
13	ガンバ大阪	44	-16
14	清水エスパルス	42	-17
15	柏レイソル	41	-19
16	湘南ベルマーレ	37	-5
17	徳島ヴォルティス	36	-21
18	大分トリニータ	35	-24
19	ベガルタ仙台	28	-31
20	横浜FC	27	-45

※戦績表は51ページに掲載

#### J1得点ランキング

順位	選手名	チーム名	得点
1	レアンドロ・ダミアン	川崎フロンターレ	23
1	前田大然	横浜F・マリノス	23
3	古橋亨梧	ヴィッセル神戸	15
4	上田綺世	鹿島アントラーズ	14
5	ディエゴ・オリヴェイラ	FC東京	13
5	チアゴ・サンタナ	清水エスパルス	13
7	パトリック	ガンバ大阪	13



川崎Fのエース、レアンドロ・ダミアンはMVPと得点王をダブル受賞した



# 2021 明治安田生命 J2 LEAGUE CHAMPIONS

## ジュビロ磐田がJ2優勝に輝く！

### 京都サンガF.C.もJ1へ

#### ■J2年間順位表

順位	チーム名	勝点	得失点差	順位	チーム名	勝点	得失点差
1	ジュビロ磐田	91	33	12	東京ヴェルディ	58	-4
2	京都サンガF.C.	84	28	13	ブラウブリッツ秋田	47	-12
3	ヴァンフォーレ甲府	80	27	14	栃木SC	45	-14
4	V・ファーレン長崎	78	25	15	レノファ山口FC	43	-14
5	FC町田ゼルビア	72	26	16	大宮アルディージャ	42	-5
6	アルビレックス新潟	68	21	17	ツエーゲン金沢	41	-21
7	モンテディオ山形	68	12	18	ザスパクサツ群馬	41	-21
8	ジェフユナイテッド千葉	66	12	19	SC相模原	38	-21
9	FC琉球	65	10	20	愛媛FC	35	-29
10	水戸ホーリーホック	59	9	21	ギラヴァンツ北九州	35	-31
11	ファジアーノ岡山	59	4	22	松本山雅FC	34	-35

#### ■J2得点ランキング

順位	選手名	チーム名	得点
1	ルキアン	ジュビロ磐田	22
2	ピーター・ウタカ	京都サンガF.C.	21
3	小池純輝	東京ヴェルディ	17
4	エジガル・ジュニオ	V・ファーレン長崎	15
5	ヴィニシウス・アラウージョ	モンテディオ山形	14
5	見木友哉	ジェフユナイテッド千葉	14

※戦績表は51～52ページに掲載

明治安田生命J2リーグでは、例年以上にシビアな戦いが繰り広げられた。コロナ禍の影響もあり、変則的なレギュレーションを採用。3位以下の昇格プレーオフは実施されず、2位以内の自動昇格2チームのみがJ1行きの切符をつかむ。

全22クラブで争われた長丁場の戦いを制したのは、圧倒的な攻撃力を見せたジュビロ磐田だ。22ゴールで得点王となったルキアンが前線で大暴れすれば、中盤では経験豊富な遠藤保仁らが躍動。18節で昇格圏内に浮上すると、そこから最終節まで一度も2位以下に落ちることはなかった。また、シーズン

途中で鈴木政一監督が体調不良で療養するという不測の事態に陥っても、服部年宏ヘッドコーチの下で一丸となって戦った。3試合を残して2位以内を確定させ、3シーズンぶりのJ1復帰を決めた。チームは、リーグ最多の75ゴールを記録したほか、19試合負けなしのクラブ記録を更新。最高の形でシーズンを締めくくった。

2位でフィニッシュした京都サンガF.C.も安定したパフォーマンスを発揮した。シーズンを通して連敗は一度もなし。15節以降は2位以内をキープし、最終節前の41節にJ1昇格が決定した。就任1年目の青貴監督に率いられたチームは、攻守両面でハードワークに徹するなど見違えるような変貌を遂げた。昨シーズンは8位と苦しんだが、12シーズンぶりのJ1復帰となった。

ラストで驚異の追い上げを見せたヴァンフォーレ甲府は、あと一歩及ばなかった。前半戦に勝点を稼げなかったことが響いた。だが、3シーズンを迎えた伊藤彰監督が浸透させた攻撃的なパスサッカーは目を引くものだった。

シーズン序盤に話題を

さらったのは、アルビレックス新潟だ。スペイン人のアルベルト監督はスベクタクルなフットボールを体現し、開幕から14節まで負けなしで首位を快走。だが、徐々に勢いを失い、秋頃には昇格争いに絡めなくなる。勝負どころで勝点をもぎ取る強さに欠けた。

そして、し烈を極めたのは残留争い。昇格組のSC相模原は1年でJ3に降格し、愛媛FCと松本山雅FCが初めてJ2から下のカテゴリーへ。ギラヴァンツ北九州は3年ぶり2度目の降格となり、過去最多の4チームがJ2を後にすることとなった。



京都サンガは昨年8位からの大躍進で12シーズンぶりのJ1復帰を果たした



## ロアッソ熊本が逆転優勝し、J2復帰！ いわてグルージャ盛岡も初のJ2へ

2021年明治安田生命J3リーグは最後までJ2昇格争いが続き、最終戦の30節に劇的なドラマが待っていた。

29節まで3位だったロアッソ熊本は、大きなプレッシャーがかかる中で最終節に勝点3を重ねて首位を奪取。大混戦となったリーグを制覇し、4シーズンぶりのJ2復帰を決めた。2シーズン目となる大木武監督に率いられたチームは、攻守両面でアグレッシブなサッカーを披露。シーズン前半こそ苦しいが、後半から徐々に追い上げ、クラブ新記録の7連勝をマークするなど底力を発揮した。キャプテンの河原創は「全員で諦めずに戦った結果が優勝につながった」と喜びを口にした。

いわてグルージャ盛岡は、シーズンを通して粘り強さを見せる。最後は1-1のドローで勝点1を手繰り寄せ、J2初昇格を果たした。東日本大震災から10年となる節目で成果を収め、「選手たちを褒めてあげたい」と秋田豊監督。手堅い守備をベースにコンスタントに勝点を重ねて、悲願を成し遂げた。

リーグを盛り上げたのはJ3初参入のテゲバジャーロ宮崎だ。J2ライセンスを持っていないため、2位以内に入っても昇格はできないが、29節終了時点でトップ

に躍り出る。最終節で熊本と岩手に抜かれて3位に後退したものの、1年目から大健闘したと言っていだらう。前年までJFLでプレーしていたエースの藤岡浩介が得点ランキング2位となる10ゴールを挙げるなど、選手個人の活躍も目立った。

昨シーズン、あと一歩でJ2昇格を逃した長野バルセイロは不本意な9位でフィニッシュ。シーズン序盤から波に乗れず、10月には横山雄次監督が途中で退任するなど厳しい1年となった。

J1の浦和レッズから日本代表経験のある柏木陽介らを獲得して注目されたFC岐阜は、シーズン前半は首位を走るなど好調を維持していたが、夏以降に失速。最終的に6位まで順位を下げて閉幕を迎えた。だが、背番号10を背負う川西翔太は孤軍奮闘して13ゴールをマーク、リーグ得点王を獲得。プロ11年目にして、初めて個人タイトルを手にした。

全15クラブで争われた今シーズンは、最後の最後まで目が離せない戦いが繰り返された。

■J3年間順位表

順位	チーム名	勝点	得失差	順位	チーム名	勝点	得失差
1	ロアッソ熊本	54	19	9	AC長野パルセイロ	36	7
2	いわてグルージャ盛岡	53	15	10	藤枝MYFC	32	0
3	テゲバジャーロ宮崎	53	13	11	FC今治	30	1
4	カタレ富山	46	6	12	ガイナレ鳥取	29	-17
5	福島ユナイテッドFC	45	9	13	ヴァンラーレ八戸	29	-20
6	FC岐阜	41	3	14	アスルクラロ沼津	27	-12
7	鹿児島ユナイテッドFC	40	-1	15	カマタマーレ讃岐	21	-21
8	Y.S.C.C.横浜	40	-2				

※戦績表は52ページに掲載

■J3得点ランキング

順位	選手名	チーム名	得点
1	川西翔太	FC岐阜	13
2	藤岡浩介	テゲバジャーロ宮崎	10
3	樋口寛規	福島ユナイテッドFC	9
3	三田尚希	AC長野パルセイロ	9
3	大野耀平	カタレ富山	9
3	田口裕也	ガイナレ鳥取	9
3	梅田魁人	テゲバジャーロ宮崎	9
3	米澤令衣	鹿児島ユナイテッドFC	9



チームが一致団結して戦い続け、初のJ2昇格を果たしたいわてグルージャ盛岡

# いわきFCが優勝を飾り、 J3昇格を決める!



## JFL優勝とJ3昇格 初の同年達成に

23年目となった日本フットボールリーグ(JFL)は、3月14日に開幕した。

昨シーズンはコロナ禍の影響で当初予定されていたリーグ戦の第1節〜第15節が中止となり、第16節以降の15試合1回戦総当たりに変更されたが、今シーズンはホーム&アウェイ方式で、予定通りに全34節を実施。地域リーグから新たに入会したFC Ti amo 枚方と12年ぶりのJFL復帰となったFC刈谷を迎え、全17チームで競い合った。節ごとに順位が変動する熱戦を繰り広げ、12月5日に幕を閉じた。

開幕戦ではF.C.大阪が2年連続の首位発進したものの、第6節にはHonda FCが首位に。その後を追って、勝点を取りこぼすことなく積み重ねていたいわきFCが首位に立ち、第15節にはソニー仙台FCに勝って2位のHondaとの勝点差を広げる。第22節には昨年王者のヴェルスパ大分が4位に浮上。第31節には、優勝争いがHondaといわきの2チームに絞られ、いわきは、J3入会条件の一つである2位以内を満たし、J3昇格が内定した(11月25日のJリーグ理事会で承認)。第32節には、首位のいわきが引き分け、2位のHondaが3位のV大分に敗れたため、次節のHondaの結果次

第で、いわきの優勝が決定することに。なお、J3参入争いに食らいついていたF.C.大阪と鈴鹿ポイントゲッターズは、V大分を勝点で上回れず、いわき以外のJリーグ百年構想クラブのJ3参入は来シーズン以降に持ち越しとなった。第33節には、いわきが勝利を収め、残り1節を残して優勝を決めた。激しい上位争いもこの節で終わり。Hondaが2位、V大分が3位という結果になった。いわきは、ホームのいわきグリーンフィールドで行われた最終節でF.C.大阪を3-0で下し、有終の美を飾った。

## FC刈谷とホンダロックが 入れ替え戦へ

いわきのみがJ3に昇格することが確定したことで、地域リーグとの入れ替え戦には最下位の刈谷と16位チームが参加することも決定した。16位を懸けた最終節、勝点29で15位の東京武蔵野ユナイテッドFCはアウェイでMIOびわこ滋賀と対戦し、先制を許したものの、前半に澤野康介の2ゴールで逆転。後半には追加点を奪って3-1で快勝した。一方、勝点27で16位のホンダロックSCは、松江シティFCに



今シーズンは感染症対策を講じながら全ての試合を実施。全17チームで白熱した戦いを繰り広げた

年間通算順位表

順位	チーム名	勝点	得失差
1	いわきFC	71	37
2	Honda FC	67	44
3	ヴェルスパ大分	62	22
4	鈴鹿ポイントゲッターズ	50	5
5	松江シティFC	50	1
6	ソニー仙台FC	48	13
7	F.C.大阪	48	2
8	FCティアモ枚方	48	1
9	ラインメール青森	45	-8
10	奈良クラブ	43	3
11	ヴィアティン三重	40	-3
12	MIOびわこ滋賀	37	-13
13	高知ユナイテッドSC	33	-19
14	FCマルヤス岡崎	33	-19
15	東京武蔵野ユナイテッドFC	32	-15
16	ホンダロックSC	27	-22
17	FC刈谷	18	-29

※戦績表は52〜53ページに掲載

先制され、一度は追いついたが1-2の惜敗。東京武蔵野のJFL残留ホンダロックの入れ替え戦出場が決まった。12月18日、刈谷は全国各地チャンピオンズリーグを制したCricacao Shinjukuとホンダロックは同2位のF.C. ISE、SHIMAと残留を懸けて今シーズン最後の試合を戦う。

## 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2021

### 【大会概要】

11月12日～14日に1次ラウンドを岩手県・三重県・広島県の3会場で、11月24日～28日には決勝ラウンドを味の素フィールド西が丘（東京都）で開催。9地域サッカーリーグから選出された12チームが参加し、4チームずつ3グループに分かれてリーグ戦（1次ラウンド）を行った後、各グループ1位チームと各グループの2位チームの中で成績上位1チームの計4チームが決勝ラウンドに進出。決勝ラウンドは4チームによるリーグ戦を行う。



©2021 Criacao

## 初出場のCriacao Shinjukuが大会制覇 FC.ISE-SHIMAと共にJFL入れ替え戦へ

今大会には、全国9地域サッカーリーグの王者と、輪番制で東海・中国・北信越リーグの2位チームの計12チームが参加した。その中で決勝ラウンドに勝ち進んだのは、各グループで首位に立ったFC徳島（四国／徳島県）とFC.ISE-SHIMA（東海2位／三重県）とおこしやす京都AC（関西／京都府）、そして、全グループ2位の中で最も勝点が多かったCriacao Shinjuku（関東／東京都）。例年は上位2チームが日本フットボール（JFL）に昇格となるが、今大会は上位2チームが、12月中旬に開催される予定のJFL下位チームとの入れ替え戦に出場することに。そういった背景からか、いずれのチームも守備の堅牢さを示し、どの試合も拮抗した展開となった。

決勝ラウンド第1節では、白星を挙げたCriacaoとISE-SHIMAが勝点3を積み上げて共に得失点1とし、第2節ではそのCriacaoとISE-SHIMAが直接対決で引き分けて勝点4に。一方、おこしやす京都がFC徳島に2-0で勝利して勝点3とすると、上位2枠は第3節が終わるまで分からない混戦となった。

第3節の第1試合では、FC徳島とCriacaoが対戦。FC徳島は秋月駿作のゴールで先制したものの、Criacaoが大谷真史と瀬川和樹の得点で逆転勝利し、2位以内を確定させた。第2試合では、上位2枠に入るためには勝利しかなくおこしやす京

都が猛攻を仕掛ける。しかし、ISE-SHIMAのゴールをこじ開けることはできず、スコアレスドロー。この結果、

Criacaoが優勝、ISE-SHIMAが2位となり、本大会初出場の2チームがJFLとの入れ替え戦の出場権を獲得した。

輪番制での出場から準優勝となったISE-SHIMAは、徹底した守備で全6試合を無失点を誇った。小倉隆史監督は「堅い守備とリスクを冒しすぎない攻守のバランス」を勝因に挙げたが、決勝ラウンドでは2試合で得点できずに引き分けたことから、「入れ替え戦に際して攻撃面に課題が残った」と、厳しい表情で語った。

優勝したCriacaoには30人の選手が所属しているが、本大会に登録できる選手は25人。成山一郎監督は「結果を勝ち取ってくれたのは出場した選手たちだが、ベンチやベンチ外の選手だけでなく、登録できなかった選手も出場選手をサポートして刺激を与え続けてくれた。これが勝因だった」と振り返り、選手ら全員に賛辞を送った。



©Kaori MAEDA

初出場同士の決勝ラウンド第2節はCriacaoとISE-SHIMAとも譲らずスコアレスに



©Kaori MAEDA

ISE-SHIMAは連携の取れた守備で6試合無失点を誇った（写真は決勝ラウンド第3節・おこしやす京都AC戦）



©Kaori MAEDA

決勝ラウンド第3節、FC徳島に先制される中、Criacaoは大谷真史（写真）の同点ゴールで勝機をつかむ



©Kaori MAEDA

FC徳島は決勝ラウンド第3節でCriacaoに先制するもリードを守り切れず、決勝ラウンド4位となった

# 新生リーグで 伊賀FCくノ一三重が初優勝！



なでしこリーグ1部最優秀選手を受賞した杉田亜未。得点ランキングでも3位に入った

2021シーズンのなでしこリーグ1部は3月に開幕し、10月17日に最終節を迎えた。今年WEリーグ(日本女子プロサッカーリーグ)の誕生に伴って、なでしこリーグは顔ぶれも大きく変わり、日本女子サッカーのアマチュアリーグ最高峰として新たなスタートの一年となった。

全22節の長い戦いを制したのは伊賀FCくノ一三重。伊賀FCは開幕6連勝で波に乗り、最優秀選手に選出された杉田亜未のゲームメイク、19得点で得点王に輝いた西川明花の決定力で他チームを圧倒し、3試合を残して優勝を決めた。杉田は「簡単な試合は(一つも)なく拮抗した試合が多かったが、みんなハードワークしたことが結果につながった」と優勝を振り返った。また、大嶽直人監督は「伊賀FCのスタイルであるハイプレス、ハイラインで常に前を向いてプレーしてくれた」と選手たちの健闘をたたえた。

昨シーズンのなでしこリーグ2部覇者のスフィーダ世田谷FCは、序盤で3連敗を喫したが、終盤に5連勝をマーク。得点王の西川に次ぐ14得点を記録した大竹麻友がチームをけん引するなど準優勝を収めた。シーズン前に多くの主力選手が退団したセレッソ大阪堺レディースは、シーズン途中にエースの浜野まいかがINAC神戸レオネッサ(WEリーグ)に移籍したが、若さ溢れるサッカーを發揮してホームで高い勝率を誇り、3位に入った。

日体大FIELDS横浜はリーグ前半で6連勝したが、キャプテンの李誠雅が第9節に負傷で戦線離脱し、リーグ中盤には3連敗。得点力不足が響いて4位となった。昨シーズンも1部を戦った愛媛FCレディースは、下位相手に勝点を取りこぼしたことが影響して5位に。5年ぶりに1部を戦ったコノミヤ・スベランツァ大阪高槻は10位でリーグ戦を終えた。

なお、2勝8分け12敗で12位となった大和シルフィードは、2部優勝のJFAアカデミー福島が1部加盟基準を満たして

賀FCのスタイルであるハイプレス、ハイラインで常に前を向いてプレーしてくれた」と選手たちの健闘をたたえた。

昨シーズンのなでしこリーグ2部覇者のスフィーダ世田谷FCは、序盤で3連敗を喫したが、終盤に5連勝をマーク。得点王の西川に次ぐ14得点を記録した大竹麻友がチームをけん引するなど準優勝を収めた。シーズン前に多くの主力選手が退団したセレッソ大阪堺レディースは、シーズン途中にエースの浜野まいかがINAC神戸レオネッサ(WEリーグ)に移籍したが、若さ溢れるサッカーを發揮してホームで高い勝率を誇り、3位に入った。

日体大FIELDS横浜はリーグ前半で6連勝したが、キャプテンの李誠雅が第9節に負傷で戦線離脱し、リーグ中盤には3連敗。得点力不足が響いて4位となった。昨シーズンも1部を戦った愛媛FCレディースは、下位相手に勝点を取りこぼしたことが影響して5位に。5年ぶりに1部を戦ったコノミヤ・スベランツァ大阪高槻は10位でリーグ戦を終えた。

なお、2勝8分け12敗で12位となった大和シルフィードは、2部優勝のJFAアカデミー福島が1部加盟基準を満たして

いなため、同2位のバニーズ群馬FCホワイトスターとの1部・2部入替戦へ。第1戦は小針舞夏のゴールで1-0と先勝した大和Sだったが、第2戦は0-2で敗れ、得失点差でバニーズを下回り、1年での2部降格が決まった。大和Sの藤巻藍子監督は「自分たちのサッカーを表現することが難しい試合になった」と入替戦を振り返りつつ、「皇后杯では積み重ねてきたことを發揮できるよう前を向いて次に進みたい」と意欲を示した。

■2021プレナスなでしこリーグ1部 順位表

順位	チーム名	勝点	得失点
1	伊賀FCくノ一三重	53	+36
2	スフィーダ世田谷FC	41	+21
3	セレッソ大阪堺レディース	38	+17
4	日体大FIELDS横浜	36	-3
5	愛媛FCレディース	32	-11
6	ニッパツ横浜FCシーガルズ	31	+6
7	ASハリマアルビオン	26	-2
8	NGUラブリッジ名古屋	26	-6
9	オルカ鴨川FC	22	-9
10	コノミヤ・スベランツァ大阪高槻	22	-10
11	アンジュヴィオレ広島	20	-21
12	大和シルフィード	14	-18

※戦績表は53ページに掲載



愛媛FCレディースに新加入した山田仁衣奈(中央)は新人賞に。攻守にチームに貢献した

WEリーグ参入を目指している伊賀FCくノ一三重が初優勝。ベストイレブンには6人が選出された



# 優勝争いは JFAアカデミー福島が制する



JFAアカデミー福島の松窪真心(中央)は13得点するなどチームの躍進を支え、2部の最優秀選手に選出

なでしこリーグ2部は10月10日の最終節まで優勝争いが繰り広げられた。首位のJFAアカデミー福島、暫定2位のパニース群馬FCホワイトスター、同3位の静岡SSUアスレジーナに優勝の可能性がある中、ac福島が岡山湯郷ベルに1-0で勝利して首位は譲らず、同じく勝利したパニースと静岡を退けて初優勝を飾った。

窪真心は2回のハットトリックを含む13得点を記録し、最優秀選手賞と得点王をダブル受賞して優勝に貢献。松窪は「今後も感謝の気持ちを忘れず、成長していきたい」と話した。また、ac福島は、GK服部茜汐香がシーズン途中に特別指定選手として1部所属の日体大FIELDS横浜でプレーすることになったが、ac福島は、全14試合でわずか9失点という高い守備力を示した。

昨シーズンまでチャレンジリーグに参加していたac福島にとつて、なでしこリーグ2部は初めて挑む全国リーグの舞台。第4節で静岡に敗れたものの、第13節ではパニースとの上位対決を5-0で制するなど終盤の4連勝で勝点を伸ばし、勝点で並んだパニースを得失点差で退けて栄冠を手にした。中でもU-19日本女子代表候補の松窪真心は2回のハットトリックを含む13得点を記録し、最優秀選手賞と得点王をダブル受賞して優勝に貢献。松窪は「今後も感謝の気持ちを忘れず、成長していきたい」と話した。また、ac福島は、GK服部茜汐香がシーズン途中に特別指定選手として1部所属の日体大FIELDS横浜でプレーすることになったが、ac福島は、全14試合でわずか9失点という高い守備力を示した。



2位となったパニース群馬FCホワイトスターは入替戦を制して1部昇格へ

り一年での1部昇格は達成できなかった。

2勝1分け11敗で8位となった湯郷ベルは、4チームで争われた2部入替戦に回り、2勝1敗の2位につけて2部残留が決定した。その入替戦で1位となったディアヴォロソ広島と3位のヴァイアティン三重レディースはなでしこリーグ2部昇格を決めた(12月の理事会で正式決定)。

順位	チーム名	勝点	得失点
1	JFAアカデミー福島	33	+33
2	パニース群馬FCホワイトスター	33	+24
3	静岡SSUアスレジーナ	30	+16
4	福岡J・アンクラス	20	-10
5	ノルディーア北海道	16	-1
6	つくばFCレディース	10	-16
7	吉備国際大学Charme岡山高梁	9	-22
8	岡山湯郷Belle	7	-24

※戦績表は53ページに掲載



拮抗したリーグ戦を制したJFAアカデミー福島。攻守に粘り強さを発揮した

## 2021プレナスなでしこリーグ2部 CHAMPIONS





# 皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会

## 43回目の皇后杯が開幕!

### 新時代の栄冠を目指して激闘が続く

女子サッカーチームの日本一を決める皇后杯 JFA 第43回全日本女子サッカー選手権大会が11月27日に開幕した。2回戦までの様子をレポートする。

#### WEリーグ開幕元年 優勝の行方は

女子チームの日本一を決める皇后杯がスタートした。43回目となる大会は、2021年9月に開幕したWEリーグが秋春制での実施のため、大会フォーマットも大幅に変更された。1回戦から3回戦はなでしこリーグ1部の12チームと地域代表の25チームが出場。序盤戦は4回戦から登場するWEリーグ所属の11チームへの挑戦権を懸けての戦いでもある。

また開催時期も変更があった。例年、12月下旬に行われていた決勝は年をまたぎ、2022年2月27日に開催される。WEリーグの折り返しにあたり、リーグ戦での巻き返しを自論むチームにとって皇后杯での戦いは勢いを付ける絶好の機会になる。

1回戦は11月27日と28日に5会場で行われた。なでしこリーグ1部のチームが力の差を見せる中、波乱も起きた。大会初出場のSEISA OSAレイア湘南FC(関東/神奈川県)は、日体大FIELDS横浜(なでしこ1部/神奈川県)を相手に、64分に遠藤彩暉がPKを決め、この一点を守り抜いて初勝利を挙げた。また、JFAアカデミー福島(東海/静岡県)も松窪真心の2



なでしこ1部を制した伊賀FCノース三重。皇后杯でも好調を維持できるか

ゴールを含めて300で愛媛FCレディース(なでしこ1部/愛媛県)を撃破した。

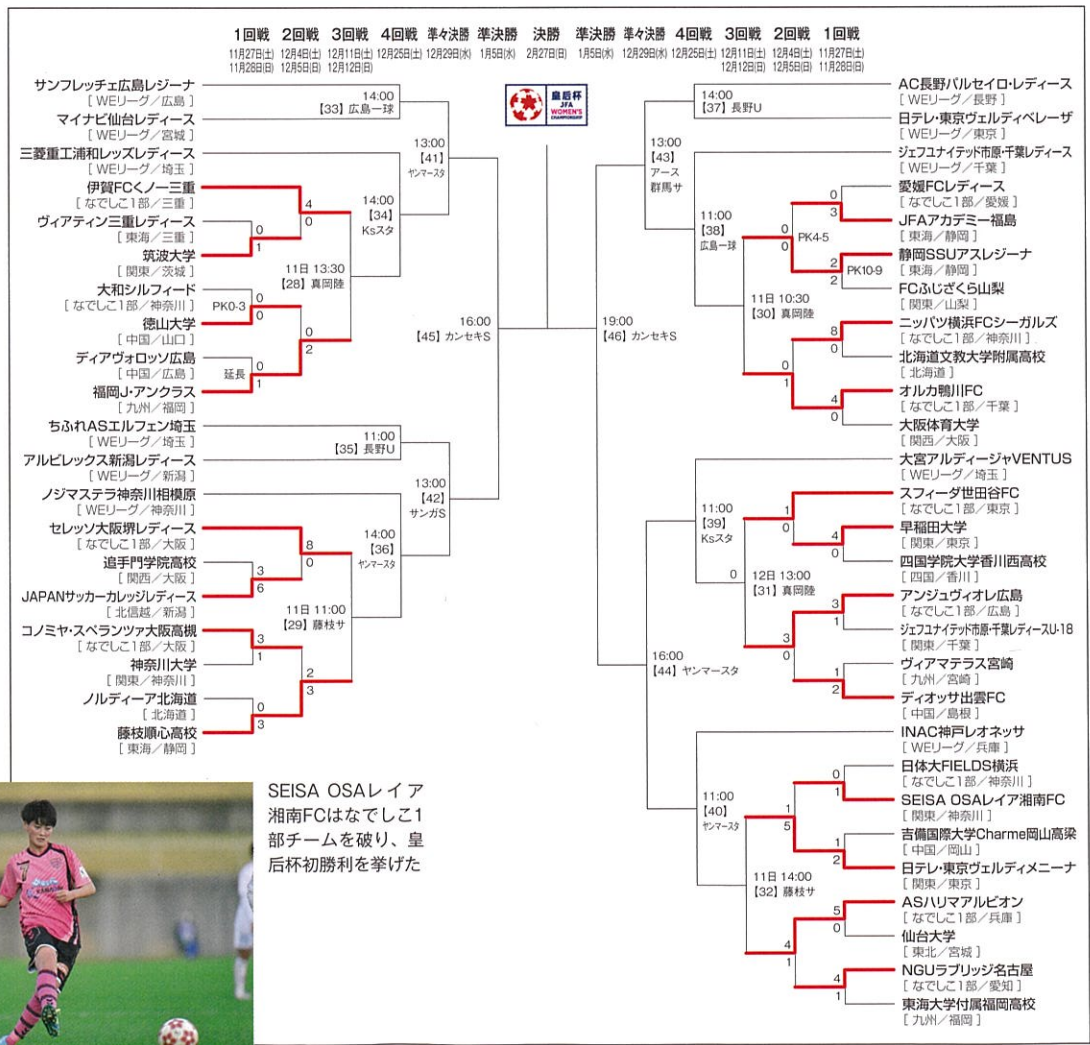
12月4日と5日に開催された2回戦にはなでしこリーグ上位3チームが登場。リーグ優勝した伊賀FCノース三重(なでしこ1部/三重県)は筑波大学(関東/茨城県)を4-0で、同2位のスフィード世田谷FC(なでしこ1部/東京都)は早稲田大学(関東/東京都)を1-0、同3位のセレッソ大阪堺レディース(関西/大阪府)はJAPANサッカーカレッジレディース(北信越/

新潟県)を8-0の大差で破り、好発進を切った。序盤戦の勢いに乗り、WEリーグチームとの挑戦権を得るのはどのチームか。サンガスタジアムby KYOCERAで開催される決勝にたどり着き、WEリーグ開幕元年

代初の栄冠を目指した戦いは始まったばかりだ。



SEISA OSAレイア湘南FCはなでしこ1部チームを破り、皇后杯初勝利を挙げた



## アディダス ジャパン(株) 提供

日本代表のオフィシャルサプライヤーであるアディダス ジャパン(株)より、「Condivo 20 トレーニング トップス(Lサイズ)」を1名様にプレゼント。



## JFA STORE 提供

「JFA STORE」は日本代表のグッズなどがそろったJFAのオフィシャルeコマースサイトです。さまざまなシーン、目的に合わせてグッズを確認できるページに加え、特集ページも用意しました。今号では「2022年サッカー日本代表カレンダー卓上タイプ」を1名様にプレゼント。

<https://official-store.jfa.jp/>

**JFA STORE**



### プレゼント応募方法

#### ■Web

URL : <https://forms.gle/qQiQz835voQyXrQe9>

上記URLもしくはQRコードよりアクセスして  
ご応募ください。



#### ■はがき

〒113-8311

東京都文京区サッカー通り(本郷3丁目10番15号) JFAハウス  
公益財団法人日本サッカー協会・広報部  
「JFAnews プレゼント応募」係

①名前、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望プレゼント名、⑤JFAnews  
のご感想・ご意見を明記の上、郵送でお送りください。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。発送は2022年1月下旬の予定ですが新型コロナウイルスの感染拡大対策の影響により、お届けに大幅な遅れが生じる場合があります。予めご了承ください。

※収集した個人情報は厳重に管理し、他の目的には使用いたしません。また、お送りいただいた葉書は返却いたしません。

## 公益財団法人日本サッカー協会 機関誌

# JFA news

発行人：須原清貴

発行所：公益財団法人日本サッカー協会

〒113-8311

東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15) JFAハウス

TEL.050-2018-1990(代) / FAX.03-3830-2005

URL <https://www.jfa.jp>

監修：公益財団法人日本サッカー協会 広報部

編集：編集長 加藤秀樹

JFAnews編集部 / (株)ウォールニクス

印刷：サンメッセ(株)

定価：600円/本体545円

日本サッカー協会(JFA)は現在、主にウェブ会議システム等を用いて会議や会見、取材等を実施しています。本誌の取材につきましてもウェブ会議システムや電話、書面による取材で皆さまに変わらぬ情報を届けてまいります。

JFAはこうした取り組みが新型コロナウイルス感染拡大を抑制し、一日も早い終息に寄与するとともに、働き方改革の推進などより良い社会の実現に向けた仕組みづくりの一助になればと考えております。

次号2022年1月情報号は、2022年1月24日発売予定

### [新年企画]

## 2022年の責務

※特集テーマ・内容は変更となる場合があります

### ご購入のお知らせ

#### ・インターネットからのご購入

日本サッカー協会 Official Online Shop

<https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※クレジットカード決済のみ。

上記サイトでは本誌のほかJFA関連発行物の

購入が可能です。

#### ・年間購読

JFAnewsの年間購読料は、送料・税込みで1年間(12冊)5,000円で、

年間2,200円お得です。

ご希望の方は上記インターネットよりお申し込みください。

#### ・チーム登録をされているご購入者さまへ

JFAnews発送における住所変更、名義変更を希望される場合は、JFA公式ウェブサイトの「JFAへの登録」よりJFA IDシステムにログインしていただき、変更をお願いします。



よろこびがつなぐ世界へ

**KIRIN**



**KIRIN**

新しい応援、ひろがる。

2021年9月7日 AFCアジア予選 対中国代表戦 先発メンバー © JFA

**#届けてキリン**



**SAMURAI BLUE**



定価600円(本体545円)